三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設
校舎棟　建築本体工事
実施設計図

三条市

図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺
A−000−1	図面リスト1	−	A−043	屋外階段（6） 詳細図	1:50	A−096	建具表−9	−	AD−ELV01	昇降機詳細図−1	図示
A−000−2	図面リスト2	−	A−044	屋外階段（7） 詳細図	1:50	A−097	建具表−10	−	AD−ELV02	昇降機詳細図−2	図示
			A−045	1階平面詳細図・展開図−1	1:100	A−098	建具表−11	−	AD−ELV03	昇降機詳細図−3	図示
SP−000	工事区分概念図		A−046	1階平面詳細図・展開図−2	1:100	A−099	建具表−12	−			
SP−001	共通特記仕様書−1	−	A−047	1階平面詳細図・展開図−3	1:100	A−100	建具表−13	−	AD−屋A01	屋根10,11,12 詳細図−1	図示
SP−002	共通特記仕様書−2	−	A−048	1階平面詳細図・展開図−4	1:100	A−101	建具姿図−1（校舎棟）	1:50	AD−屋A02	屋根10,11,12 詳細図−2	図示
SP−003	建築工事 特記仕様書−1	−	A−049	1階平面詳細図・展開図−5	1:100	A−102	建具姿図−2（校舎棟）	1:50	AD−屋A03	屋根10,11,12 詳細図−3	図示
SP−004	建築工事 特記仕様書−2	−	A−050	1階平面詳細図・展開図−6	1:100	A−103	建具姿図−3（校舎棟）	1:50	AD−屋A04	屋根10,11,12 詳細図−4（けらば詳細1）	図示
SP−005	建築工事 特記仕様書−3	−	A−051	1階平面詳細図・展開図−7	1:100	A−104	建具姿図−4（体育館棟）	1:50	AD−屋A05	屋根10,11,12 詳細図−5（けらば詳細2）	図示
SP−006	建築工事 特記仕様書−4	−	A−052	2階平面詳細図・展開図−1	1:100	A−105	建具姿図−5（体育館棟）	1:50	AD−屋A06	屋根10,11,12 詳細図−6（トップライト詳細1）	図示
			A−053	2階平面詳細図・展開図−2	1:100	A−106	仮設計画図	1:400	AD−屋A07	屋根10,11,12 詳細図−7（トップライト詳細2）	図示
A−001	配置図	1:400	A−054	2階平面詳細図・展開図−3	1:100	A−107	雑詳細リスト	−	AD−屋A08	屋根10,11,12 詳細図−8（トップライト詳細3）	図示
A−002	敷地現況図	1:500	A−055	2階平面詳細図・展開図−4	1:100	A−108	雑詳細図−1	図示			
A−003	敷地求積図	1:500	A−056	2階平面詳細図・展開図−5	1:100	A−109	雑詳細図−2	図示			
A−004	求積図・面積表−1	1:400	A−057	2階平面詳細図・展開図−6	1:100	A−110	雑詳細図−3	図示	AD−屋B01	屋根3 詳細図−1	図示
A−005	求積図・面積表−2	1:400	A−058	2階平面詳細図・展開図−7	1:100	A−111	雑詳細図−4	図示	AD−屋B02	屋根3 詳細図−2	図示
A−006	求積図・面積表−3	1:400	A−059	3階平面詳細図・展開図−1	1:100	A−112	雑詳細図−5	図示			
A−007	建築面積求積図・求積表	1:300	A−060	3階平面詳細図・展開図−2	1:100	A−113	雑詳細図−6	図示	AD−屋C01	屋根4 特記仕様書 工事区分表 屋根伏図	図示
A−008	仕上特記・外部仕上表（校舎棟）	−	A−061	3階平面詳細図・展開図−3	1:100	A−114	雑詳細図−7	図示	AD−屋C02	屋根4 断面図 立面図	図示
A−009	内部仕上表−1（校舎棟）	−	A−062	3階平面詳細図・展開図−4	1:100	A−115	雑詳細図−8	図示	AD−屋C03	屋根4 断面詳細図	図示
A−010	内部仕上表−2（校舎棟）	−	A−063	3階平面詳細図・展開図−5	1:100	A−116	雑詳細図−9	図示	AD−屋C04	屋根4 部分詳細図	図示
A−011	内部仕上表−3（校舎棟）	−	A−064	3階平面詳細図・展開図−6	1:100	A−117	雑詳細図−10（造作家具図−1）	図示	AD−屋C05	屋根4 電気図	図示
A−012	内部仕上表−4（校舎棟）	−	A−065	4階平面詳細図・展開図−1	1:100	A−118	雑詳細図−11（造作家具図−2）	図示	AD−屋C06	屋根4 駆動図	図示
A−013	仕上特記・外部仕上表（体育館棟）	−	A−066	4階平面詳細図・展開図−2	1:100	A−119	アプローチ庇詳細図	1:5,1:100	AD−屋C07	屋根4 構造標準・アンカー配置図	図示
A−014	内部仕上表−5（体育館棟）	−	A−067	4階平面詳細図・展開図−3	1:100	A−120	駐車場1･2，駐輪場1･2･3 詳細図−1	1:100	AD−屋C08	屋根4 軸組図	図示
A−015	内部仕上表−6（体育館棟）	−	A−068	4階平面詳細図・展開図−4	1:100	A−121	駐車場1･2，駐輪場1･2･3 詳細図−2	1:15	AD−屋C09	屋根4 鉄骨詳細図	図示
A−016	エレメント図−1	1:5	A−069	トイレ詳細図・展開図−1（WC−A・B 1～3，外部用）	1:50	A−122	駐車場1･2，駐輪場1･2･3 詳細図−3	1:15			
A−017	エレメント図−2	1:5	A−070	トイレ詳細図・展開図−2（WC−B4）	1:50	A−123	飼育小屋 意匠図・構造図	図示	AD−屋根壁01	軒先～水上詳細図（1）・（2）/外壁各部詳細図（1）・（2）	図示
A−018	ピット平面図	1:250	A−071	トイレ詳細図・展開図−3（WC−C1）	1:50				AD−屋根壁02	軒先～水上詳細図（3）～（5）/ECP取合い詳細図（1）	図示
A−019	1階平面図	1:250	A−072	トイレ詳細図・展開図−4（WC−D2）	1:50				AD−屋根壁03	ECP取合い詳細図（2）・（3）/外壁出隅・入隅詳細図/外壁RC取合い詳細図	図示
A−020	2階平面図	1:250	A−073	トイレ詳細図・展開図−5（WC−E1,EV脇多目的WC B，E）	1:50						
A−021	3階平面図	1:250	A−074	トイレ詳細図・展開図−6（WC−D2～3，E2～4）	1:50				AD−押01	押出成型セメント板外壁 詳細図	図示
A−022	4階平面図	1:250	A−075	トイレ詳細図・展開図−7（WC−F1）	1:50						
A−023	屋根伏図	1:250	A−076	トイレ詳細図・展開図−8（WC−特別支援学級 ケアルーム）	1:50				AD−EX01	エキスパンションジョイント 詳細図−1	図示
A−024	立面図−1	1:250	A−077	トイレ詳細図・展開図−9（WC−職員用）	1:50				AD−EX02	エキスパンションジョイント 詳細図−2	図示
A−025	立面図−2	1:250	A−078	1階天井伏図	1:300						
A−026	立面図−3	1:250	A−079	2階天井伏図	1:300				AD−AL01	アルミ製建具 詳細図−1	図示
A−027	断面図	1:250	A−080	3階天井伏図	1:300				AD−AL02	アルミ製建具 詳細図−2	図示
A−028	矩計図−1	1:50	A−081	4階天井伏図	1:300				AD−AL03	アルミ製建具 詳細図−3	図示
A−029	矩計図−2	1:50	A−082	建具特記仕様書	−				AD−AL04	アルミ製建具 詳細図−4	図示
A−030	矩計図−3	1:50	A−083	建具案内図−1階	1:250				AD−AL05	アルミ製建具 詳細図−5	図示
A−031	矩計図−4	1:50	A−084	建具案内図−2階	1:250				AD−AL06	アルミ製トップライト 詳細図	図示
A−032	矩計図−5	1:50	A−085	建具案内図−3階	1:250				AD−W01	木製建具 詳細図	図示
A−033	屋内階段（1） 詳細図	1:50	A−086	建具案内図−4階	1:250						
A−034	屋内階段（2） 詳細図	1:50	A−087	建具案内図−屋上階	1:250				AD−プール01	プール 詳細図−1	図示
A−035	屋内階段（3），(7） 詳細図	1:50	A−088	建具表−1	−		・・・工事対象外図面		AD−プール02	プール 詳細図−2	図示
A−036	屋内階段（4） 詳細図	1:50	A−089	建具表−2	−				AD−プール03	プール 詳細図−3	図示
A−037	屋内階段（5） 詳細図	1:50	A−090	建具表−3	−				AD−プール04	プール 詳細図−4	図示
A−038	屋内階段（6） 詳細図	1:50	A−091	建具表−4	−				AD−プール05	プール 詳細図−5	図示
A−039	屋内階段（8） 詳細図	1:50	A−092	建具表−5	−				AD−プール06	プール 詳細図−6	図示
A−040	屋内階段（9） 詳細図	1:50	A−093	建具表−6	−						
A−041	屋内階段（10） 詳細図	1:50	A−094	建具表−7	−						
A−042	屋外階段（3），(4），(5） 詳細図	1:50	A−095	建具表−8	−						

発注者 三条市

株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design

履歴
version.090527

完成図作成（施工者名） 日付 ○○.○○.○○ 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○

完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○

法適合確認欄 構造設計一級建築士 楠川 和人 証交付番号 第1145号 本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

製作日 11.09.30

代表設計者 一級建築士 大臣登録第281536号 長野 聖 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司 担当者 小野寺 伸一

業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事

業務契約コード 104859−02

図面名称 図面リスト1

縮尺

図面番号 A−000−1

管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進

図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺
AD－可床01	プール可動床　詳細図－1	図示	AD－体器01	器具コード配置図	図示						
AD－可床02	プール可動床　詳細図－2	図示	AD－体器02	基礎配置図	図示						
AD－可床03	プール可動床　詳細図－3	図示	AD－体器03	体育器具姿図－1	図示						
AD－可床04	プール可動床　詳細図－4	図示	AD－体器04	体育器具姿図－2	図示						
AD－可床05	プール可動床　詳細図－5	図示	AD－体器05	体育器具姿図－3	図示						
			AD－体器06	ランニングキューブ詳細図－1	図示						
AD－体育床01	体育アリーナ（小中）　床伏図・断面詳細図	図示	AD－体器07	ランニングキューブ詳細図－2	図示						
AD－体育床02	武道場床　床伏図・断面詳細図	図示									
			A－L01	居室求積図・面積表－1	図示						
AD－舞01	体育館舞台機構　詳細図－1	図示	A－L02	居室求積図・面積表－2	図示						
AD－舞02	体育館舞台機構　詳細図－2	図示	A－L03	居室求積図・面積表－3	図示						
AD－舞03	体育館舞台機構　詳細図－3	図示	A－L04	居室求積図・面積表－4	図示						
AD－舞04	体育館舞台機構　詳細図－4	図示									
AD－ステ収01	体育館舞台下椅子収納詳細図	図示									
AD－厨01	厨房機器配置平面図	図示									
AD－厨02	厨房機器リスト表	図示									
AD－サイン01	サインキープラン外構・リスト	図示									
AD－サイン02	サインキープラン1～2F	図示									
AD－サイン03	サインキープラン3～4F	図示									
AD－サイン04	サイン意匠図 1	図示									
AD－サイン05	サイン意匠図 2	図示									
AD－サイン06	サイン意匠図 3	図示									
AD－家具01	共通仕様・家具リスト（校舎棟）	図示									
AD－家具02	共通仕様・家具リスト（体育・地域開放棟）	図示									
AD－家具03	1階　家具キープラン	図示									
AD－家具04	2階　家具キープラン	図示									
AD－家具05	3階　家具キープラン	図示									
AD－家具06	4階　家具キープラン	図示									
AD－家具07	家具図－1（校舎棟）	図示									
AD－家具08	家具図－2（校舎棟）	図示									
AD－家具09	家具図－3（校舎棟）	図示									
AD－家具10	家具図－4（校舎棟）	図示									
AD－家具11	家具図－5（校舎棟）	図示									
AD－家具12	家具図－6（校舎棟）	図示									
AD－家具13	家具図－7（校舎棟）	図示									
AD－家具14	家具図－8（校舎棟）	図示									
AD－家具15	家具図－9（校舎棟）	図示									
AD－家具16	家具図－10（校舎棟）	図示									
AD－家具17	家具図－11（校舎棟）	図示									
AD－家具18	家具図－1（体育・地域開放棟）	図示									
AD－家具19	家具図－2（体育・地域開放棟）	図示									
AD－家具20	家具図－3（体育・地域開放棟）	図示									
AD－図家01	メディアセンター家具　共通仕様書・家具リスト	図示									
AD－図家02	家具図－1	図示									
AD－図家03	家具図－2	図示									
AD－黒板01	黒板・白板・掲示板　詳細図－1	図示									
AD－黒板02	黒板・白板・掲示板　詳細図－2	図示									

▨▨▨ ・・・工事対象外図面

発注者
三条市

株式会社 石本建築事務所
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.
by Design

履歴
version.090527

完成図作成（施工者名）
日付 ○○.○○.○○
管理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士
証交付番号 第1145号
本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄
設備設計一級建築士 松尾 和彦
証交付番号 第1394号
本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

製作日 11.09.30

代表設計者
一級建築士 大臣登録第28153号 長野 豊
日付 11.09.30
設計者
一級建築士 大臣登録第260704号 羽崎 實司
担当者 小野寺 伸一

業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟　建築本体工事
業務契約コード 104859－02
図面名称 図面リスト2
縮尺

図面番号 A－000－2

管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進

発注者 三条市	株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design	履歴 version.090527	完成図作成（施工者名） 日付 ○○.○○.○○ 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 橋川 和人 証交付番号 第1145号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 11.09.30	代表設計者 一級建築士 大臣登録第28153号 長野 豊 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第26070号 羽崎 雪司 担当者 小野寺 侑一	業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟　建築本体工事 業務契約コード 104859-02 図面名称 工事区分概念図 縮尺 A1 S=1:500 A3 S=1:1000	図面番号 SP-000	管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進

共通特記仕様書

00. 特記仕様書（共通・各工事）における各章の取り扱い及び適用項目の取り扱い

a. 0章：共通特記事項及び1章：一般共通事項は各工事（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）の標準仕様書に示される事項について建築工事編を中心にまとめたもので表示番号は建築工事編を採用している。
　また、文中の一部について、建築工事標準仕様書のみに記載されている事項、電気設備工事及び機械設備工事標準仕様書のみに記載されている事項も記載している。
b. 各章は章名の右側に「本章は本工事に適用せず」と明記されていない限り適用する。
c. 各節は節名の右側に「本節は本工事に適用せず」と明記されていない限り適用する。
d. 節中の番号「01.」は番号の左側に×印が明記されていない限り適用する。
f. a. b. c. ／1）／：印は事項を表わし、事項中の項目は※印または◎印の付いた項目（両方に印のある場合は◎を優先とする。）及び仕様を適用し、「×」印又は「・」は適用しない。
g. 各節及び番号に記載の（ ）内の表示番号は各工事標準仕様書の項目、表、図を示す。
h. 品質性能上、製造所名を記入する場合は「株式会社」等の記載は省略する。（ ）内は製品名を示す。
i. 特記仕様書中に示す数字の単位は数字の後に特記がない限り「mm（ミリメートル）」とする。

0章：共通特記事項

01. 工事概要

a. 発注者	三条市長　國定　勇人	
b. 工事名称	三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設　校舎棟　建築本体工事	
c. 工事場所	三条市南四日町一丁目	
d. 工事種目	◎ 新築　・ 増築　・ 改築　・ その他（ ）	
e. 工事期間	:着工　年　月　日	:完成　年　月　日
f. 工事範囲及び工事項目	◎ 建築工事	
	◎ 昇降機設備工事	
	◎ 家具工事（一部を除く造作据付家具一式）	
	◎ カーテンブラインド工事（一部の暗幕、シャワー・アコーディオンカーテン等のみ）	
	◎ 近接する外構施設（駐車・駐輪場、オイルタンク、アプローチ庇、飼育小屋）	

g. 別途工事	◎ 建築本体工事（体育館棟）	◎ 情報設備工事（一部）
	◎ 空調設備工事（校舎棟）	◎ 空調設備工事（体育館棟）
	◎ 衛生設備工事（校舎棟）	◎ 衛生設備工事（厨房設備工事・体育館棟）
	◎ 電力設備工事（校舎棟）	◎ 電力設備工事（体育館棟）
	◎ 通信設備工事（校舎棟）	◎ 通信設備工事（体育館棟）
	◎ 外構工事	◎ 防犯設備工事
	◎ 外構照明工事	◎ 消火器設置工事
	◎ 外構散水設備工事	◎ 残存施設撤去工事（工事済）
	◎ 外構消雪設備工事	◎ 可動家具・什器・備品工事
		◎ カーテン・ブラインド工事

02. 敷地概要

a. 用途地域	第一種住居地域
b. 面積	35717.26㎡（35075.78㎡+飛地641.48㎡）
c. 容積率	200 %（指定容積率200%）
d. 建蔽率	70 %（指定建蔽率60%）
e. 防火地域	準防火地域
f. 日影規制	:該当の有無　◎ 有　・ 無
	:測定面　4 m
	:時間　◎ 10m ＝　5 時間　◎ 5m ＝　3 時間
g. その他の地域	高度地区：なし
h. 道路	:前面道路幅員　7.0m～9.0m　（西側：市道三高西堀通り線（法42条1項1号））
	:その他の道路幅員　5.6m～5.8m　（東側：市道三高東堀通り線（法42条1項1号））
	4.0 m　（南側：自転車歩行者道（法42条1項1号））
i. 駐車附置義務	なし
j. 本工事に適用する風圧力と積雪荷重	屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁に対する風圧力は、建築基準法施行令第82条の4、および平12年建告1458号による数値を採用し安全上支障のないこと。積雪荷重についても同様とする。
風圧力	:地表面粗度区分　・ Ⅰ　・ Ⅱ　◎ Ⅲ　・ Ⅳ
	:建物高さと軒高の平均　・ H＝　m　・ H＝　m（がけ地等考慮）
	:国土交通省が定めるその地域の風速　V0＝　30 m/s
k. 許認可関係	:申請種類　都市計画法第34条の2の規定による開発協議
	:許認可日　平成23 年　6 月　21 日　:許認可番号　三都（開発）第8号の2
	:申請種類　計画通知
	:許認可日　年　月　日　:許認可番号

03. 建物概要

a. 主要用途	:主要用途及び付属用途　小学校・中学校					
	:消防法防火対象区分　7項					
b. 面積	:建築面積	10,840.34	㎡			
	:延床面積	28,509.27	㎡			
	:容積対象面積	28,182.40	㎡			
	:建蔽率	30.91	%			
	:容積率	80.35	%			
	:棟別面積表	本棟		校舎棟	体育館棟	計
		PH		50.22 ㎡	0.00 ㎡	50.22 ㎡
		4階		2,653.99 ㎡	0.00 ㎡	2,653.99 ㎡
		3階		5,108.04 ㎡	2,122.40 ㎡	7,230.44 ㎡
		2階		5,412.18 ㎡	3,006.22 ㎡	8,418.40 ㎡
		1階		6,159.70 ㎡	3,656.69 ㎡	9,816.39 ㎡
		合計		19,384.13 ㎡	8,785.31 ㎡	28,169.44 ㎡
		駐車場棟1		69.03 ㎡		
		駐車場棟2		73.04 ㎡		
		駐輪場棟1～3		184.80 ㎡	（駐輪場1・2：63.8㎡、駐輪場3：57.20㎡）	
		飼育小屋（2棟）		12.96 ㎡	（飼育小屋1・2とも6.48㎡）	

c. 高さ	:軒高	18.321 m
	:最高高さ	21.321 m
d. 構造・規模	:地上　4 階　:地下　0 階	
	:　RC 造　一部S造	
e. 基礎形式	:　既成コンクリート杭基礎（プレボーリング拡大根固め工法）	
f. 荷重	:積雪荷重　6,000 N/m²	
	◎ 多雪地域　・ 指定なし	
g. 仕上	:屋根仕上　コンクリート直均しの上アスファルト防水断熱工法の上押えコンクリート	
	:外壁仕上　コンクリート打放しの上　塗装	

h.電気設備	:受変電	・ 特別高圧	◎ 高圧	・ 低圧	（ 1850 ）kVA
	:自家発電	・ ディーゼル	・ ガスタービン	（ ）kVA	
i.空調換気設備	:熱源	◎ 電気	◎ 都市ガス	・ 油	・ 地域冷暖房
	:蓄熱槽	◎ 無	・ 有 （ m³）		
	:熱源方式	◎ 無			
	:空調方式	◎ 空冷ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ（電気及び都市ガス）、灯油FFヒーター			
j.給排水衛生設備	:給水	・ 高架水槽方式	・ 水道直結方式	◎ 受水槽＋加圧方式	
	:雨水利用	◎ 便器洗浄水	・ 散水		
	:給湯	◎ 局所式給湯	・ 中央式給湯		
	:ガス	◎ 都市ガス	・ プロパン		
	:排水	◎ 公共下水道	・ 浄化槽（ 人槽） BOD ppm		
			・ 現場施工型	・ ユニット型	
	:雨水流出抑制	・ 浸透式	◎ 貯留式	・ 併用式	
	:消火	◎ 屋内消火栓	◎ 屋外消火栓	・ スプリンクラー	
		・ 泡消火	・ 不燃性ガス消火	・ 水噴霧消火	
		・ 連結散水	・ 連結送水管	◎ 消火器（別途）	
		・ 粉末消火	・ ダクトフード消火		
k. 昇降機	:エレベーター	乗用	2 台		
		荷物用	0 台		

04. 主要データ

:学校	a. 普通教室数	45 教室（他多目的教室9教室）
	b. 特別教室数	21 教室
	c. 特別支援学級教室数	9 教室
:体育館（学校も含む）	a. 体育アリーナ	1838 ㎡
	b. 武道場	474 ㎡
:プール（学校も含む）	a. メインプール	25 m　8 コース　公認の有無　無
	b. 屋内外区別	屋内 冷水プール
	c. その他設備	可動床、開閉式ガラス屋根
:駐車場	a. 駐車台数（附置義務なし）	126 台　（内、身障者用　5台）
	e. 駐輪台数	230 台

05. 発注方式

a. 発注方式　◎ 分離発注　・ 一括発注　・ 随意契約

b. 発注区分

◎ 校舎棟　建築本体工事	◎ 可動家具・什器・備品工事
◎ 体育館棟　建築本体工事	◎ カーテン・ブラインド工事
◎ 空調設備工事（校舎棟）	◎ 空調設備工事（体育館棟）
◎ 衛生設備工事（校舎棟）	◎ 衛生設備工事（厨房設備工事・体育館棟）
◎ 電力設備工事（校舎棟）	◎ 電力設備工事（体育館棟）
◎ 通信設備工事（校舎棟）	◎ 通信設備工事（体育館棟）
◎ 外構工事	◎ 残存施設撤去工事
◎ 外構照明工事	◎ 情報設備工事（一部）
◎ 外構散水設備工事	◎ 防犯設備工事
◎ 外構消雪設備工事	◎ 消火器設置工事

c. コストオン工事　:コストオン工事の有無　◎ 無　・ 有
　:工事種類
　:発注区分

d. 工事期間内に行われる別途工事
　:別途工事の有無　・ 無　◎ 有
　:工事種類　:残存施設撤去工事以外の上記発注区分内容による.

06.その他

設計用標準震度　（Ks）

場所	《A類》　機能の停止が許されない室　災害対策等に必要な施設	《B類》　一般室　一般官庁施設
上層階、屋上及び塔屋	1.0	1.0
中間階	1.0	0.6
地階及び1階	0.6	0.4

a. 構造体の耐震安全性　・ Ⅰ類　◎ Ⅱ類　・ Ⅲ類　・ Ⅰ類同等（免震）
b. 建築用非構造部材　耐震安全性の分類　◎ A類　◎ B類　・ 基準法・標準仕様書
d. 設計用標準震度表の「場所」設定基準：　建設大臣官房官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」平成8年版表4.3（注）による。

・ **軽微な変更**　現場の納まり、取合いなどの関係で材料の寸法、仕様、工法、取付け位置又は取付け方法の変更等の軽微な変更については監理者の指示により行う。この場合、請負代金額の増減はしない。

・ **工事範囲及び工事費に含まれる費用**
（右記の工事及び費用は本工事に含まれる。）
その他は0章.06.工事区分による

イ）施工、材料及び製品の試験、見本等の作成、製品検査等に要する費用。
ロ）工事施工に必要な敷地周辺の障害となるものの移設と復旧。
ハ）工事用機器、材料などの取入れに必要な搬入口及び通路の設置とこれに伴う補強、養生、後片づけ。

・ **第三者、近隣住民への対策**
イ）請負者は危険防止対策、騒音振動対策、工事用車両による交通障害対策、塵埃対策、地下水への影響に伴う対策など工事の進行によって予想される障害に対しては事前に万全の工事計画を立て、実行し、その費用を負担する。

ロ）これらの計画に際しては事前に近隣住民の十分なご解を得ることにより、工事の進捗に支障の無いよう責任を持って処置する。必要な場合は近隣住民と工事協定書を取り交わす。

・ **別契約の関連工事（1.1.7）**
a. 工事を完成するために密接に関連する別契約の工事について請負者は、別契約工事の施工に協力するとともに円滑な工事進捗が行われるように調整する。
b. 別契約工事との調整にあたって監理者から指示がある場合はこれに従う。
c. 建築工事請負者は発注形式に関わらず、電気設備工事、機械設備工事等の別契約の関連工事を含めた全体工程管理の中心となり、工事工期を厳守すべく各工事を含めて調整を行う。また、別契約の請負者はこれに協力する。

・ **施工計画書（1.2.2）は標準仕様書による共に、監理方針及び妥当性確認計画に定める。**
a. 施工計画においては、建物の安全性及び耐久性・機能性が十分確保されるよう請負者の責任において材料・工法の検討を行い、施工計画書を作成する事。また、上記性能を確保する上で、設計図書に記載されている材料・仕様・工法に質疑がある場合は、その旨を監理者に報告し、協議の上、施工計画書を定めること。
b. 非構造部材の受け材に関して、目的とする性能が確保可能であることを、請負者において検討確認を行うこと。

・ **施工図等（1.2.3）は標準仕様書によるとともに監理方針書に定める。**
a. 施工図においては、建物の安全性及び耐久性・機能性が十分確保されるよう、請負者の責任において施工図を作成すること。また、上記性能を確保する上で、設計図書に記載されている材料・仕様・工法に質疑がある場合は、その旨を監理者に報告し、協議の上、施工図を作成すること。
b. 施工図等の作成、承諾手順は監理方針書に定める。
c. 総合図　1）各工事の施工に先立ち、各施工図の基準となる総合図を作成する。
　2）総合図は施工図作成に先立ち、建築、設備、その他、別途発注工事請負者の情報をすべて盛り込み、それらの接点の細部調整 を行うためのものとする。
　3）監理者の指示により、建築工事請負者が元図（平面図、展開図、天井伏図等）を作成し、その他の各関連工事の請負者は協力して各工事の機器類等を元図に記載し、相互調整を行う。
d. 模型、型板、見本　1）模型製作の有無　◎ 無し　・ 有り　仕様：
　サイズ／スケール／部位等：
　2）工事完成に必要な型板、見本などは施工に先立ち、監理者の指示により、製作して承諾を受ける。
　3）承諾を受けた見本は使用箇所、承認日時を付けて整理し、完成引渡し時まで保管する。

・ **製造所・専門工事業者の選定**
a. 主要材料、製品、機器及び、それらの製造所・専門工事業者は監理者の承諾を受ける。
b. 指定のない場合又は同等品と記載がある場合は判定に必要な資料を提出して監理者の承諾を受ける。
c. 請負者は請負者の総括のもとに各製造所及び専門工事業者の作業分担及び責任範囲を明らかにした選定届を監理者に提出する.
d. 選定届の書式及び記載事項は1章-2：監理方針及び妥当性確認計画に定める。

・ **完成調書**
a. 請負者は工事関連事項を完成調書としてまとめ、発注者及び工事監理受託者に提出する。
b. 完成調書は発注形式に関わらず建築工事請負者がまとめ、その他の請負者はこれに協力する。
c. 完成調書に明記する事項、書式、要領及び部数は1章-2：監理方針及び妥当性確認計画による。

・ **鍵の整理及び提出**
a. 各所の鍵は鍵合せを行う。
b. 鍵は整理札をつけて建具配置図及び鍵目録とともにスチール製の鍵箱に収納して提出する。
c. 鍵箱には関連工事の鍵をまとめて収納する。鍵箱の負担は各請負者間で協議する。
d. 鍵数はマスターキーを含め、各々3本を原則とする。

・ **手直し**
工事中いかなる時、いかなる場所でも不完全な施工、図面又は、仕様との食い違い、位置、寸法、その他の間違い、水平垂直の狂いが発見されたならば請負者はその理由の如何を問わず、また工事の難易を問わず、監理責任者の指示通りにやり直す。また仕上り程度が悪く監督員に不満足を与えた場合も工事の進捗に支障をきたさないよう速やかに手直しを行う。これらによる請負金額の増額、これらに対する支払いは、行われない。

・ **設備工事との取り合い**
施工範囲は貫通箇所、開口部の補強及びその他の壁、天井のボード類の切り込み下地の補強などであり、設備機器の位置の取り合いなどの検討できる施工図を提出して監理責任者の承諾を受ける。

・ **工事図面の発行**
工事契約時に、4部発行する。なおその後の発生で焼付に要した費用は施工業者の負担とする。
（A１版2部及びA3縮小版を4部）

法適合確認結果等	法適合確認結果等
確認した範囲等	確認した範囲等
本工事に適用する風圧力と積雪荷重	

発注者
三条市

株式会社 石本建築事務所 by Design
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.

履歴	完成図作成（施工者）	完成図承認	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	業務名称	業務契約ｺｰﾄﾞ	図面番号	管理建築士
	日付	日付	構造設計一級建築士	設備設計一級建築士	11.09.30	長野　豊	三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事	104859-02	SP－ 1	1級建築士
	○○○○○	○○○○○	○○○○	○○○○		日付				登録第164447号
	管理技術者	監理者	証交付番号	証交付番号	ファイル名	11.09.30	図面名称	縮尺		藤井　進
	○○○○○	○○○○○	第○○○○号	第○○○○号		設計者	共通特記仕様書-1			
	担当者	担当者	本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合する事を確認した。	本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合する事を確認した。		野崎　寛司				
	○○○○○	○○○○○				担当者				
						小野寺　伸一				

07. 工事区分

※本工事の工事区分は設計図面によるほか、下記のとおりとする。

a. 項目番号「01」は工事区分項目を示し、番号の左側に×印が明記されていない限り適用する
b. 項目番号中の数字「01」は工事内容を示し、数字の左側に×印が明記されていない限り適用する。
c. 工事内容の区分は※印を適用する。
d. 工事区分で示す名称の定義は次のとおりとする。 1)工事別 :各工事別請負者の負担
2)建築 :各建築工事請負者の負担
3)電気 :各電気設備工事請負者の負担
4)空調 :空調換気設備工事請負者の負担
5)衛生 :各給排水衛生設備工事請負者の負担
6)別途 :本工事に含まない別途の負担
7)発注者 :発注者の負担

※ 各建築工事とは、校舎棟・体育館棟工事を示す。
各電気工事とは、電力設備・通信設備・外構照明工事を示す。
各衛生工事とは、衛生設備・外構消雪設備・外構散水設備工事を示す。
なお、詳細は設計書を参照のこと。

01)共通項目

01:工事上の各種申請届出費用	※ 工事別		
02:工事用電力、上下水道、ガス引込工事	※ 建築		
03:工事用電力、上下水道、ガス料金(引込負担金、基本料金を含む)	※ 工事別協議		
04:本設電力引込工事	※ 電気	※ 引込負担金は別途	
05:本設電話引込工事(配管のみ)	※ 電気	※ 引込負担金は別途	
06:本設上水引込工事	※ 衛生	※ 引込負担金は別途	
07:本設下水引込工事	※ 衛生	※ 引込負担金は別途	
08:本設ガス引込工事	※ 衛生	※ 引込負担金は別途	
09:本設後、引渡しまでの電力、上下水道、ガス基本料金	・工事別	※ 発注者	
10:本設後、引渡しまでの電力、上下水道、ガス使用料金	※ 工事別協議	※ 試運転用含む	
11:既存上下水道、ガス管撤去、手続き	※ 衛生	・別途	・発注者
12:電波障害調査	※ 発注者		
13:電波障害対策工事	※ 発注者		
14:建物管理のための各技術者の設定及び費用	※ 発注者		
× 15:本設後、引渡しまでの電気室等の管理(特高設備)	・工事別	・発注者	
16:工事監理受託者現場事務所	※ 工事別		
17:同上 備品一式	※ 工事別		
18:請負者現場事務所	※ 工事別		
19:化学物質濃度測定	・工事別	※ 建築	

02)スリーブ

01:鉄骨部の貫通スリーブ、開口及び補強	※ 建築		
02:鉄筋コンクリート部(梁、床、壁)スリーブ、開口、箱入れ及び墨出し	※ 工事別		
03:鉄筋コンクリート部(梁、床、壁)スリーブ開口の鉄筋補強	※ 建築		
04:地中梁の連通管、通気管、人通孔	※ 建築		
05:配管ダクト類の防水貫通部の補修	※ 建築		

03)天井・壁・床・開口

01:一般間仕切り壁開口の墨出し	※ 工事別		
02:一般間仕切り壁開口穴開け、開口補強	※ 建築		
03:特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴開け加工(石、金属パネル等)	※ 建築		
04:天井開口の墨出し	※ 工事別		
05:天井開口の穴開け及び開口補強	※ 建築		

04)点検口・マンホール

01:床・壁・天井の点検口	※ 建築		
02:屋内マンホール	※ 建築		
03:屋外マンホール躯体及び鋳鉄蓋	※ 工事別		
04:屋外マンホール化粧蓋	※ 建築		
05:防火防煙ダンパー用点検口	※ 建築		

× 05)トレンチ・ダクト

01:トレンチ躯体、排水溝、かま場、内部仕上	・建築		
02:コンクリートダクト及び内部仕上	・建築		
03:トレンチ内配管類架台及び支持金物	・電気	・空調	・衛生

06)ピット

01:設備配管用ピット及び蓋	※ 建築		
× 02:電気室、発電機室ピット及び蓋	・建築		
03:機械室排水用ピット及び蓋	※ 建築		
04:厨房排水用ピット及び蓋	※ 建築		

07) 各種水槽

01：水槽等の躯体、防水、タラップ	※ 建築		
02：各種水槽用電極（保持器とも）及び一般水槽用フロートスイッチ	・空調	※ 衛生	
03：同上用制御装置及び配管、配線、接続	・空調	※ 衛生	・電気
× 04：発電機水槽用電極（保持器とも）制御装置及び配管,配線,接続	・電気		
05：水中ポンプ（水位制御装置とも）より制御盤までのケーブル供給	※ 衛生		
06：同上用配線、接続、接地	※ 電気		

× 08) 浄化槽

01：浄化槽の躯体,防水,仕上（既製品を除く）	・建築		
02：浄化槽の防水検査及び清掃	・建築		
03：浄化槽の支持杭	・建築		
04：既製品浄化槽	・衛生		
05：浄化槽制御盤及び二次側配管、配線、接続	・衛生		
06：同上一次側配管、配線、接続	・電気		
07：浄化槽の水張り試験	・衛生		

09) オイルタンク

× 01：地下埋設オイルタンクの躯体、支持杭、焼砂	・建築		
02：オイルタンク本体及び付属品	※ 空調	・電気	

10) 設備基礎

01：屋内機器の基礎	※ 建築		
02：屋外機器の基礎	※ 建築		
03：屋内外盤の基礎	※ 建築		
04：屋外機器の基礎支持杭	※ 建築		

× 11) 煙突・煙道

01：煙突本体、点検口、掃除口、排水口	・建築		
02：発電機用の煙道及び受金物	・電気		
03：その他の煙道及び受金物	・空調	・衛生	
04：煙道の煙突への接続部	・建築		

12) 給排気

01：外壁の給排気ガラリ（ダクト接続枠を含む）	※ 建築		
02：同上用接続ダクト、チャンバー、配管	※ 空調	※ 建築(一部)	
03：同上用接続アングル、防虫ネット	※ 建築		
04：特殊仕上（石、金属）天井、内壁、床の給排気ガラリ	※ 建築		
05：厨房用排気フード	※ 空調		
06：厨房用フードの化粧工事	・建築	※ 空調	
07：湯沸器用換気フード及びフードの化粧工事	※ 建築		
08：ドアガラリ	※ 建築		
09：防雪フード	※ 空調	・建築	

13) 排煙

01：機械排煙口（手動開放装置及びリミットスイッチを含む）	※ 空調		
02：同上用煙感知器、配管、配線、接続、制御盤、遠方操作盤	※ 電気		
03：自然排煙窓及び手動開放装置	※ 建築		

× 14) 防煙

01：可動防煙垂壁及びリミットスイッチ	・建築		
02：同上用煙感知器及び配管、配線、接続、遠方操作盤	・電気		
03：煙感知器連動の防煙ダンパー（ＳＦＤ、リミットスイッチとも）	・空調		
04：同上用煙感知器及び配管、配線、接続、遠方操作盤	・電気		

15) 防火戸等

01：煙感知器連動防火戸等の自動閉鎖装置	※ 電気		
02：同上用煙感知器及び配管、配線、接続	※ 電気		
03：煙感知器連動防火シャッター・垂壁の自動閉鎖装置	※ 建築		
04：同上用煙感知器及び配管、配線、接続	※ 電気		
05：防火戸、防火シャッター、垂壁本体	※ 建築		
06：防火防煙用ダンパー点検口	※ 建築		

16) 消火

01：消火栓箱	※ 衛生		
02：消火栓箱の特殊仕上げ（ダイノックシート、石張り等）	※ 建築		
03：消火栓箱廻り補修	※ 建築	・衛生	
04：同上起動用発信機、表示灯、非常電話機	※ 電気		
05：同上用配管、配線、接続	※ 電気		
06：消火栓ポンプ起動装置（現場、遠方とも）	※ 電気		
07：消火栓ポンプ制御盤	※ 衛生		
08：消火栓ポンプ起動リレー	※ 衛生		
09：制御盤までの一次配管、配線、接続	※ 電気		
10：制御盤の二次配管、配線、接続	※ 衛生		
11：消火栓送水口、送水口パネル	※ 衛生		
× 12：連結送水設備ブースタポンプ起動釦（遠方）及び起動装置	・電気		
× 13：同上用配管、配線、接続	・電気		
× 14：連結送水設備格納箱組込非常用コンセント盤	・電気		
× 15：同上用配管、配線、接続	・電気		
16：ガス漏検知機	※ 電気		
17：同上用制御盤及び一次、二次配管、配線、接続	※ 電気		
18：ガス漏れ緊急遮断弁（リミットスイッチ、感知器とも）	※ 衛生		
19：同上用遠方操作箱及び一次、二次配管、配線、接続	※ 衛生		
20：緊急遮断弁の電源、配管、配線、接続	※ 電気		

17) 電動建具

01：電動扉、シャッターの電動装置、検知装置、制御盤	※ 建築		
02：同上用一次配管、配線、接続	※ 電気		
03：同上用二次配管、配線、接続	※ 建築		

18) 電気錠

01：電気錠	※ 建築	※ 外構	
02：電源装置、制御盤	・建築	※ 電気	
03：同上機器間配管、配線	※ 電気		
04：電源用及び制御用一次側配管、配線、接続	※ 電気		

19) 便所・洗面

01：（一般便所）既製品化粧鏡	※ 建築		
02：（一般便所）特注サイズ化粧鏡	※ 建築		
03：（一般便所）照明ボックス	※ 建築		
04：（一般便所）同上用器具、配管、配線、接続	※ 電気		
× 05：（一般便所）ペーパータオル	・建築	・衛生	
× 06：（一般便所）エアタオル本体及び取付	・建築	・衛生	
× 07：（一般便所）同上用電源、配管、配線、接続	・電気		
08：（一般便所）小便器用個別感知洗浄システム	※ 衛生		
09：（一般便所）同上用装置への電源送り	※ 電気		
10：（一般便所）衛生器具類	※ 衛生		
11：（一般便所）ブース内紙巻器	※ 衛生		
12：（一般便所）ベビーベッド及びベビーシート	※ 建築		
13：（洗面）既製品洗面化粧台（照明器具を含む）	※ 建築		
14：（洗面）同上への配管、配線、接続	※ 電気		
15：（洗面）自動水洗電源送り	※ 電気		

20) 浴室（ユニットシャワー）

01：（ユニットバス）バス、洗面、便所、シャワー	※ 建築		
02：（ユニットバス）同上用配管接続	※ 衛生		
03：（ユニットバス）同上換気ダクト接続	※ 空調		
04：（ユニットバス）同上電源接続及び外部スイッチ	※ 電気		

21) 湯沸室

01：流し台、調理台、コンロ台、吊戸棚	※ 建築		
02：配管接続	※ 衛生		
03：電気湯沸器までの電源配管、配線、接続	※ 電気		
04：湯沸器	※ 衛生		
05：コンロ	・建築	※ 発注者	

22) 給食調理場

01：厨房器具（据付とも）	※ 衛生	・発注者	
02：厨房器具への配管接続	※ 衛生		
03：ダクト内特殊消火設備	※ 衛生		
04：厨房用電源の配管、配線、接続	※ 電気		
05：職員用什器・備品（机・ロッカー・下足入れ等）	・建築	※ 発注者	

23) 各種設備

01：制御盤及び二次側配管、配線、接続	※ 電気		
02：自動制御盤及び二次側配管、配線、接続	※ 空調	※ 衛生	
03：中央監視盤（各工事で図示）	※ 電気	※ 空調	
04：同上用制御配管、配線、接続（各工事で図示）	※ 電気	※ 空調	
05：パッケージ空調機と屋外機器間の配管、配線、接続	※ 空調		
06：空調用インバータ制御器（各工事で図示）	※ 電気	※ 空調	
07：同上用二次側配管、配線、接続	※ 電気		
08：動力盤、空調用機器間のインターロック配線、配管、接続	※ 空調	※ 電気	
09：受変電設備、自家発電設備、蓄電池設備の遠方操作（図示）	※ 空調	※ 電気	
10：同上の各表示計測（各工事で図示）	※ 電気	※ 空調	
11：同上装置の継電器、交換器	※ 電気		
12：設備機器付属の制御盤以後の二次側配管、配線、接続	※ 空調	※ 衛生	
13：設備機器付属の制御盤以後の一次側配管、配線、接続	※ 電気		
14：天井吊りＦＣＵの操作スイッチ	※ 空調		
15：同上用渡り配管、配線、接続	※ 電気	※ 空調	
16：天井吊りパッケージ空調機、操作スイッチ間渡り配管、配線、接続	※ 空調		
17：全熱交換ユニットの操作スイッチ間渡り配管、配線、接続及び接地	※ 電気	※ 空調	
18：空調機マリンランプへの電源、配管、配線、接続	※ 電気		
19：ＶＡＶ、ＣＡＶへの電源送り	※ 空調	※ 電気	

24) 電話関連

01：電話交換機設備用配管	※ 電気		
02：電話交換機室の通信用、保安用接地	※ 電気		
03：端子盤の供給取付	※ 電気		
04：端子盤の電話用端子取付	※ 電気		
05：電話交換設備（電話交換機、電話機）	・電気	※ 発注者	
06：同上の配線（幹線、分岐）	・電気	※ 発注者	

25) 避雷設備

01：避雷針、引下導線、接地板、補助電極、試験端子盤	※ 電気		
02：受電部として使用する笠木の取付	※ 建築		
03：同上用の相互接続（笠木間の接続も含む）	※ 電気		

26) 雨水排水

01：ルーフドレイン	※ 建築		
02：雨水排水管の同上への接続から第一桝まで	※ 建築		
03：第一桝及び蓋	※ 建築	・外構	
04：同上以降敷地内の雨水排水管及び桝、蓋	・建築	※ 外構	
05：化粧蓋	※ 建築	※ 外構	
06：敷地外本管への接続	・建築	※ 外構	
07：雨水側溝及び桝	※ 建築	※ 外構	

27) 給排水

× 01：発電機用給水及び排水（発電機室まで）	・衛生		
× 02：玄関マット下の排水管	・衛生		
03：地流し	※ 建築(一部)	※ 外構	
04：同上用の給排水（目皿を含む）	※ 衛生		
× 05：ガソリントラップの桝及び蓋	・建築		
× 06：既製品ガソリントラップ	・建築	・衛生	
07：グリストラップの桝及び蓋	※ 建築		
08：既製品グリストラップ	・建築	※ 衛生	

28) 外構

01：外灯	・建築	※ 電気	
02：同上までの電源配管、配線、接続	※ 電気		
03：植栽用自動潅水装置	・建築	※ 外構	
04：植栽下部のドレイン	※ 建築		
05：同上用排水管及び接続	・建築	※ 外構	
04：同上以降敷地内の雨水排水管及び桝、蓋	・建築	※ 外構	
05：化粧蓋	※ 建築	※ 外構	
06：敷地外本管への接続	・建築	※ 外構	
07：雨水側溝及び桝	※ 建築	※ 外構	

29) サイン

01：施設サイン（照明器具入りとも）	※ 建築		
02：同上への電源供給、配管、配線、接続	※ 電気		
× 03：広告塔本体（下地鉄骨とも）	・建築	・別途	・発注者
× 04：同上用照明器具	・建築	・別途	・発注者
× 05：同上への電源供給、配管、配線、接続	・建築	・別途	・発注者
× 06：懸垂幕及び装置	・建築	・別途	・発注者
× 07：外壁部テント	・建築	・別途	・発注者
× 08：サイン工作物に関する申請	・建築	・別途	・発注者

30) 雑工事

01：マシンハッチ及び搬入フック	※ 建築			
× 02：隠蔽型ファンコイルユニット化粧カバー	・建築			
× 03：同上用吹出口、吸込口、スイッチ類	・建築			
04：電動カーテン、電動暗幕、電動スクリーン	※ 建築			
05：同上 制御盤及び二次配管、配線、接続	※ 建築			
06：同上 一次側配管、配線、接続	※ 電気			
07：消火器本体	・衛生	※ 発注者		
08：消火器ボックス（移動型）	・建築	・衛生	※ 発注者	
09：消火器ボックス（埋込型）	※ 建築			
10：避難器具	※ 建築	・発注者		

31) エレベーター（ＥＬＶ）

01：ＥＬＶ本体	※ 建築(昇降機)		
× 02：機械室のロープ、電源ダクト、ガバナー等の穴開け補強	・建築		
× 03：機械室の機械台支持梁	・建築		
× 04：機械室のＩビーム取付及びフック	・建築		
× 05：機械室の非常用照明	・電気		
× 06：昇降路内セパレータフェンス取付	・建築		
07：乗場敷居取付用ブラケット	※ 建築(昇降機)		
08：昇降路のレール取付用中間ビーム	※ 建築(昇降機)		
09：昇降路内のガイドレール受梁	※ 建築(昇降機)		
× 10：Ｓ造のファスナー取付用中間ビーム	・建築		
× 11：Ｓ造部分の三方枠取付鉄骨	・建築		
× 12：Ｓ造部分の敷居受、レールブラケット、取付用プレート	・建築		
13：Ｓ、ＳＲＣ造三方枠廻りＲ口詰め	※ 建築		
× 14：Ｓ造部分のバックアングル取付（速度120m／分以上の場合）	・建築		
× 15：Ｓ造昇降路、三方枠廻り耐火被覆材吹付け	・建築		
16：ＥＬＶホールの壁、押釦の穴開け	※ 建築		
17：ＥＬＶピットのタラップ	※ 建築		
× 18：ELVピットの釣合重り及びかご用基礎ボルト（速度240m/分以上の場合）	・建築(昇降機)		
× 19：機械室床配管後のコンクリート打設及び仕上	・建築		
20：保守用コンセント100ｖ（ピット・機室）	※ 電気		
× 21：ＥＬＶ機械室換気設備	・空調		
× 22：かご内冷房装置及び昇降路ドレインシステム	・建築(昇降機)		
× 23：ＥＬＶシャフトとＥＬＶ機械室内制御盤間の配管、配線、接続	・建築(昇降機)		
24：ＥＬＶシャフトと遠方監視盤間の配管、配線	※ 電気		
25：ＥＬＶシャフトと遠方監視盤間の配線接続	※ 建築(昇降機)		
26：インターホン	※ 建築(昇降機)		
27：昇降路外遠方監視盤までのインターホン配管、配線	※ 電気		
28：昇降路外遠方監視盤までのインターホン配線接続	※ 建築(昇降機)		
29：昇降路内インターホン配管、配線、接続	※ 建築(昇降機)		
30：ＥＬＶシャフトからＭＤＦまでの電話配管、配線	※ 電気		
31：監視盤本体及び取付	※ 建築(昇降機)		
32：かご用非常用照明	※ 建築(昇降機)		
× 33：非常用ＥＬＶ避難経路案内板	・建築		
34：ＥＬＶピット内防水工事	※ 建築		
35：ＥＬＶシャフト内感知器の点検用建具	※ 建築		

32) その他工事

01：固定家具（教室のロッカー、配管接続のある実験台、書架、下足箱等）	※ 建築	・発注者		
02：可動家具（教室、職員室の机・椅子、棚等）、ブラインド（手動）	・建築	※ 発注者		
03：シャワーカーテン、アコーディオンカーテン、間仕切りカーテン、暗幕	※ 建築	・発注者		
04：体育館緞帳	・建築	※ 発注者		
× 05：製氷機	・衛生	※ 発注者		
× 06：ステージ下椅子収納台車	※ 建築	・発注者		
× 07：同　台車に収納するパイプいす	・建築	※ 発注者		
08：音響設備（スピーカー、アンプ等）	※ 電気	・発注者		
09：映像設備（プロジェクター、スクリーン）	・電気	※ 発注者		
10：ＬＡＮ用機器（サーバー、ハブ等）	・電気	※ 発注者		
11：ＰＣ本体	・電気	※ 発注者		
× 12：屋内体育備品（支柱、防球ネット）	※ 建築	・発注者		
× 13：屋内体育備品（競技用ネット、移動式バスケットゴール）	※ 建築	・発注者		
× 14：屋外体育備品（サッカーゴール、ラインカー、ブラシなど）	・建築	※ 発注者		
× 15：プール備品（時計他）	・建築	※ 発注者		
× 16：プール関係その他備品	・建築	※ 発注者		
17：防犯センサー、配線	・電気	※ 発注者		

発注者
三条市

株式会社 石本建築事務所 by Design
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.

履歴

完成図作成（施工者）	完成図承認	製作日	代表設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号	管理建築士
日付 ○○○○○	日付 ○○○○○	11.09.30	長野 豊	三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事	104859-02	SP－ 2	1級建築士
管理技術者 ○○○○○	監理者 ○○○○○	ファイル名	日付 11.09.30	図面名称	縮尺		登録第164447号
担当者 ○○○○○	担当者 ○○○○○		設計者 野崎 寛司	共通特記仕様書-2			藤井 進
			担当者 小野寺 伸一				

仕　様　書

1、共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されてない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
   (1)「契約書」を「三条市財務規則(平成17年5月1日規則第40号)別記(第190条関係)建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。
   (2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
   (3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。
   (4)18章塗装工事7節耐候性塗料塗り（ＤＰ）を2-ＦＵＥに読み替える。
3. 次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
   (1)　1章　1.1.2用語の定義の(1)、(12)及び(19)
   (2)　〃　1.4.2材料の品質の(a)及び(b)
   (3)　〃　1.4.4材料の検査等の(a)
   (4)　〃　1.6.1工事検査の(b)及び(d)

4. 次に掲げる標仕の規定は、適用しない。
   1章　1.1.2　用語の定義の(20)
   〃　1.6.2　技術検査

別　表（建築工事）

号	項　目	置き換え後の標仕の規定
	1章　一般共通事項	
(1)	1.1.2　用語の定義	(1)「監督員」とは、約款第10条の規定により請負者に通知された者をいう。
		(12)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は捺印した文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう
		(19)「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 （ただし、2.に係る検査を除く。） 1. 工事の完成(約款第32条) 2. 部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) 3. 部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) 4. 契約の解除時における出来形部分(約款第47条) 5. 必要があると認めたときの臨時検査(約款第48条)
(2)	1.4.2　材料の品質等	(a) 工事に使用する材料は「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する材料は、新品でなくてもよい。
		(b) 使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、ＪＩＳ又は　ＪＡＳのマーク表示のある材料を使用する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（次の(1)から(3)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、資料の提出を省略することができる。 (1)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (2)建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (3)特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4　材料の検査等	(a) 現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(1)若しくは(2)に該当する場合またはあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (1)工事完成検査時または工事写真で、ＪＩＳ若しくは　ＪＡＳのマークを確認できる場合 (2)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時または工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.6.1　工事検査	**(b) 約款に規定する部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来**形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (d) (a)から(c)の通知に基づく検査及び約款に規定する臨時検査、契約が解除された場合の検査は、発注者から通知された検査日に検査を受ける。

2、特記仕様

1. 項目は、番号に　◯印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
   ◯印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
   ◯印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の(　．．　)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
   なお、(別　・　・　)は標仕の別図「各部配筋」の当該番号ををを表し、別図２は標仕の別図２「ボルト間隔等及び溶接継手の開先形状」を表す。
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

1　一般共通事項

項　目	特　記　事　項
① 工事実績情報の登録	※請負工事費2,500万円以上の場合は登録する。　(1.1.4)
② 概成工期	※無し　・有(工期　平成　　年　　月　　日)　(1.2.1)
③ 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件　(1.2.2) ・地区の区分に応じた風速（Vo（m／sec））⊙３０　・３２ ・地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ ・多雪地域の指定　積雪区分　建告示第１４５５号　別表（　）
④ 監理技術者の要件	※次に掲げる基準を全て満たす監理技術者を専任で配置できること。 1　建築工事の施工に関し、１０年以上の実務経験を有すること。 2　建築工事に係る監理技術者証を有するものであること。
５ 電気保安技術者	・要(　　)　・不要　(1.3.3)
⑥ 発生材の処理等	２４追加特記　８「発生材の処理等」による。　(1.3.8)
⑦ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。
⑧ 技　能　士	(1.5.2)

適用工事種別	技　能　検　定　の　職　種
鉄筋工事	⊙鉄筋施工(鉄筋組立て作業)
コンクリート工事	⊙型枠施工
鉄骨工事	⊙とび
ﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ工事	・ブロック建築　⊙ＡＬＣパネル施工
防水工事	⊙アスファルト防水工事作業　⊙塗膜防水工事作業
	⊙合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業
石工事	⊙石材施工（石張り施工）
タイル工事	⊙タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	⊙建築板金（内外装板金作業）　・スレート施工
金属工事	⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	⊙左官
建具工事	⊙サッシ施工　⊙　ガラス施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工（ＰＣ）⊙サッシ施工　⊙ガラス施工
塗装工事	⊙塗装（建築塗装作業）
内装工事	⊙ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業
	⊙ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業）
植栽工事	⊙造園

⑨ 見本施工	※実施しない　・実施する(　　)　(1.5.5)
⑩ 化学物質の濃度測定	２４追加特記　９「化学物質の濃度測定」による。　(1.5.9)
⑪ 完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は、監督員の指示による。 ◯案内図及び配置図　◯平面図　⊙立面図　⊙断面図　(1.7.1～1.7.3) ◯仕上表　⊙建物の保全に関する説明書（取扱説明書を含む。） ※原図　⊙陽画複写図　１部　⊙ＣＡＤデータ ・下記図面をＣＡＤデータ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。 案内図、配置図、各階平面図、立面図、断面図、矩計図、杭・基礎関係図、各伏せ図、各リスト、その他監督員が指示した図面
⑫ 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
⑬ 工事完成写真	工事完了後整理のうえ監督員に提出する。　※提出部数　３部
⑭ 特別完成写真	写真専門業者の撮影した外観カラー写真　１部提出する。（ネガ共） 大きさ　※キャビネ　・半紙　・電子データ（２００dpi/inch）
⑮ 工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「建設大臣官房官庁営繕部監修　工事写真の撮り方 改訂第２版 建築編」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる ※提出部数　１部
⑯ 設備工事との取合い	２４追加特記　７「工事区分表」による。

2　仮設工事

① 監督員事務所等	⊙監督員事務所　・10　・20　⊙5　・65　・　m2程度を設ける。　(2.3.1) ・仮設事務所の中に監督員用空間を　m2程度確保する。 ・上記に要する費用は維持、運用費を含め請負者の負担とする。
② 監督員用備品等	監督員用備品として、下記のものを工事期間中常備する。　(2.3.1) ◯保護帽　8ケ　⊙電話、机、椅子、書棚、見本棚、ホワイトボード、ロッカー ◯雨具　8着　⊙長靴　8足　⊙安全帯　8組 ⊙事務用品一式、冷暖房設備、冷蔵庫、防寒着、懐中時計 ⊙公共建築工事標準仕様書(最新版)、建築工事監理指針上下(最新版) ⊙パソコン、プリンタ、インターネット接続環境
③ 工　事　用　水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
④ 工 事 用 電 力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
⑤ 仮 設 建 物 等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。

2　仮設工事

⑥ 足　場	外部足場は枠組足場とする。 足場を設置する場合は、「手すり先行工法に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ(厚生労働省 基発第0424001号 平成21年4月24日)」の「手すり先行工法等に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。

3　土工事

1 埋戻し及び盛土	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土　(3.2.3)(表3.2.1)
2 建設発生土の処理	・構内指示の場所（・数さ均し　・堆積）　(3.2.5) ・構外搬出適切処理(指定場所：　　) ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする

4　地業工事

1 試験	杭の載荷試験　・鉛直載荷試験　・水平載荷試験　(4.2.3)(4.2.4) 試験位置　※図示　載荷荷重　N/mm² 地盤の載荷試験　※平板載荷試験　・ 試験位置　※図示　載荷荷重　N/mm²
2 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	種類　(4.3.1)(4.3.2) ・遠心力高強度プレストレストコンクリートくい（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリートくい（ＳＣ杭） ・プレストレスト鉄筋コンクリートくい（ＰＲＣ杭） ・

	杭径（mm）	杭長(m)及び種別	継手箇所数	長期設計支持力(kN/本)	ｾｯﾄ数等
試験杭					位置は図示
本　杭					

杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.7)
先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　(4.3.2)
杭の継手　※アーク溶接（　　）　・無溶接継手　(4.3.6)
施工法　(4.3.3～4.3.5)
・特定埋込み杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの)
・打込み工法
・セメントミルク工法

2 場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度　(4.5.3)(表4.5.1) （　　）種かつ（　　）N/mm²以上 セメントの種類　※高炉セメントＢ種　・　(4.5.3) 掘削工法　・アースドリル工法(※安定液使用　・無水掘削)　(4.5.4) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張　※行う　・行わない) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　(4.5.5) ・拡底杭工法　(※安定液使用　・　　) 孔壁測定　・行う　・　行わない　(4.5.4～4.5.5)
3 砂利地業	※再生クラッシャラン　・　切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.2)
4 床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間ｽﾗﾌﾞ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下（ﾋﾟｯﾄ下を除く）　(4.6.6) ・図示による

5　鉄筋工事

1 鉄筋の種別	(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼　び　径　(mm)	備　考
・ＳＤ３４５		異形鉄筋
・ＳＤ２９５Ａ		異形鉄筋
・		

2 鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　(5.3.4)
3 鉄筋の最少かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する　(5.3.5) ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による

施　工　箇　所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※１０　・

4 既成ｺﾝｸﾘｰﾄ杭の杭頭補強	・Ａ形　・Ｂ形　※図示　(別1.1)
5 帯　筋	※Ｈ形(□は除く)　・　(別2.2)
6 最上階柱頭補強	※行う　・行わない　(別2.1)
7 壁開口部の補強	一般壁　※Ａ形　・Ｂ形　・図示　(別4.2)(別表4.3)(別表4.4) 耐震壁　※図示
8 梁貫通孔の補強形式	※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形　(別7.1)(別表7.1～別表7.3) ・既製品(建築基準法による指定又は認定を受けたもの)
9 機械吊上げ用フック	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　(別 7.3) 箇所数　（　　ヶ所）
10 圧接完了後の抜取試験	※超音波探傷試験　・引張試験　(5.4.9)

6　コンクリート工事

1 普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度	(6.1.4)

設計基準強度 Fc(N/m2)	施　工　箇　所	スランプ
※２１	・建物躯体	・
・２４	・	・
・１８	・	・
	・	・

※構造体ｺﾝｸﾘｰﾄ：発注強度=設計基準強度（Ｆｃ）+割増し（ΔＦ）+温度補正（Ｔ）

2 ﾚﾃﾞｨｰﾐｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの類別	※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.1.5)(表6.1.1)
3 セメントの種類	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.2)(6.13.2)(表6.3.1) ・高炉セメントＢ種（　　） 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱	7ｄ	352 J/g以下
	28ｄ	402 J/g以下

4 骨材の品質	アルカリシリカ反応性による区分　(6.3.3)(6.5.4) ・Ａ ・Ｂ(※コンクリート中のアルカリ総量Ｒｔ=3.0kg/m³以下)
5 混和材料の種別	※混和剤　・　混和材　(6.3.5)(6.4.8)
6 無筋コンクリート	※下記のコンクリートは無筋コンクリートとして扱う。 ・建物内土間コンクリート、ポーチ、犬走り、機械架台　・
7 ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体表面の処理	外装ﾀｲﾙ後張り面の躯体表面の処理　(6.9.3)(11.3.3)(15.2.4) ＭＣＲ工法又は15.2.4(C)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を、1.2.2「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督員の承諾を受ける。 適用範囲は１１章タイル工事　３コンクリート素地面の処理による。 コンクリートの増打ち厚さ　※２０mm　・
8 コンクリート打放し仕上げ	厚さは合板の厚さとする。　(表6.2.3)

種　別	コーン穴の仕上げ面	厚さ	施　工　箇　所
・Ａ種	・面うち　・面と同一	※12mm　・15mm	
・Ｂ種	・面うち　・面と同一	※12mm　・15mm	
・Ｃ種	・	・12mm	

9 寒中コンクリート	・適用する　※適用しない　(6.12.1)

7　鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場	・監督員の承諾する製作工場　(7.1.3) ・建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(財)日本鉄骨評価センター又は（社）全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
2 施工管理技術者	※適用する　・適用しない　(7.1.3)(7.1.4)
3 鋼　材	鋼材の材質　(7.2.1)(表7.2.1)

種類の記号	使　用　箇　所	規格等
		※JIS規格による
		※JIS規格による

4 高力ボルト	※ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ・ＪＩＳ形高力ﾎﾞﾙﾄ・溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ　(7.2.2)
5 工作図	高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　(7.3.2) ※別図２　・図示
6 開先形状	※別図２　・図示　(7.6.4)
7 スカラップ	※図示による　・監督員の指示による　(7.6.7)
8 溶接部の試験	ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％　(7.6.11) 検査水準　※第６水準　・　図示　(7.6.11)(表7.6.2)

試験の種別	試験箇所	試験方法
・超音波探傷試験		※標仕7.6.11(b)による
		・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

9 耐火被覆	(7.9.2～7.9.6)

種　別		所要性能及び適用構造区分
・耐火材吹付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・湿式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り		

10 アンカーボルトの保持及び埋込み工法	※構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(形状、寸法は図示による。)　(7.10.3) ・建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種)　(表7.10.1)
11 敷底均しモルタル	※Ａ種　・Ｂ種　(表7.10.2)
12 錆止め塗料塗り	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　(表18.3.1)

8　コンクリート補強ブロック・ALCパネル工事

1 建築用コンクリートブロック	補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造　(8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分	厚さ(mm)	適　用　箇　所
※空洞ﾌﾞﾛｯｸ16		
・空洞ﾌﾞﾛｯｸ16-Ｗ		

② ＡＬＣパネル	(8.4.2～8.4.5)(表8.4.2)(表8.4.3)

種　類	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	取付け工法種別等
⊙外壁パネル	・1180　・1960	⊙100	・A種　・B種　⊙C種
※平パネル		・120	
・意匠パネル		・	
⊙間仕切パネル		・80　⊙100	・B種　⊙C種　・D種　・E種
※平パネル		・	
・屋根パネル	・980	・100	※標仕8.4.5による
・床パネル	・2350　・3530	・100　・150	耐火性能・有り(・1時間・2時間)

3章～7章は、別紙構造特記による。

発注者 三条市	株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design	履歴 version.090527	完成図作成（施工者名） 日付 ○○.○○.○○ 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 横川 和人 証交付番号 第1145号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 11.09.30	代表設計者 一級建築士 大臣登録第281536号 長野 豊 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司 担当者 小野寺 伸一	業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟　建築本体工事	業務契約コード 104859-02	図面名称 建築工事　特記仕様書－1	縮尺 －	図面番号 SP－003	管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井　進

8 押出成形ｾﾒﾝﾄ板（ＥＣＰ）

⑤ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板（ＥＣＰ）　(8.5.2～8.5.4)（表8.5.1）(表8.5.2)

施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法	耐火性能
⊙外壁ﾊﾟﾈﾙ	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ	60	600	⊙A種	※有り（　）
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ			・B種	・無し
	・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ				
・間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ			・B種	※無し
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ			・C種	・有り（　）
	・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ				

9 防水工事

① アスファルト防水　(9.2.2) (9.2.3)（表9.2.3）～(表9.2.8)

種別	施工箇所
・ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
⊙ＢＩ－２	図示による
⊙Ｄ－１	ＰＨ屋根
⊙Ｅ－１	図示による
⊙Ｅ－２	図示による

アスファルト　※４種　・３種　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※ 25mm　・ 30mm　⊙50mm　(9.2.2)
材質　※A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種b
乾式保護材の材料　(9.2.2)

種類		寸法(mm)：厚さ×幅	適用
⊙押出成形ｾﾒﾝﾄ板（窯業系ﾊﾟﾈﾙ）	※Ⅰ類 ・Ⅱ類	※１５ × ・ ×	※無石綿に限る
・金属複合板		※１２ ×	

② 改質アスファルトシート防水　(9.3.2) (9.3.3)（表9.3.1）

種別	施工箇所
・ＡＳ－１	
・ＡＳ－２	

③ 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　(9.4.2) (9.4.3)（表9.3.1）

種別	厚さ	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
・			・シルバー	・非歩行
・			・カラー	・軽歩行

ＰＣコンクリート部材下地　(9.4.4)
目地処理(接着工法)　※図示
入隅部の増張り(S-F1、S-F2工法の場合)　※行わない　・行う(幅　mm程度)
(9.5.2) (9.5.3)（表9.5.1）(表9.5.2)

④ 塗膜防水

種別	施工箇所	備考
・Ｘ－１		仕上塗料塗り
・Ｘ－２	・側溝他	・シルバー　⊙カラー
	・テラス、屋外階段1・2	超速硬化ｳﾚﾀﾝ複合防水
	・各種ピット層	セメント系塗膜防水
	・図示（塗膜防水1～3）	自閉性ｱｾﾁﾝ酢酸ﾋﾞﾆﾙ系共重合樹脂塗膜防水

種別　Ｘ－１の脱気装置
・設ける　材質　※製造所標準仕様　・(　)
設置数量　※製造所指定数量　・(　㎡当たり１箇所)
下表以外は標仕表9.6.1による　(9.6.2)（表9.6.1）

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

⑤ シーリング
接着性試験　(9.6.5)
・行う　※簡易接着性試験　・引張接着性試験(施工部位　)
・行わない
⑥ 防水の保証等　※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、請負者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、三条市が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、請負者と施工者との連名の保証書とする

工法種別	施工箇所	保証期間
・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水BI-1,D-1工法	各所RC陸屋根部	１０年間
・シート防水・塗膜防水	各所	１０年間
・シーリング材	各所	５年間

⑦ 防水の水張り試験　⊙行う（４８時間）　設置ヶ所⊙ドレン廻り　防水の種類⊙アスファルト防水

10 石工事

① 天然石張り　(10.2.1)
床用石材　※２等品　・１等品（施工場所　図示　）
壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工場所　）
石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)（表10.2.1）(表10.2.2)

施工箇所	種類	産地・名称	厚さ(mm)	仕上げの種類
ＷＣ	御影石	中国産（中級品）	20	本磨き
各部雑笠木	御影石	中国産（中級品）	20	本磨き
巾木・上框	御影石	中国産（中級品）	20	本磨き

② テラゾ張り　種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)
表面仕上げ　※本磨き　・　(表10.2.2)
③ 床及び階段の石張り　床石張りの石裏面処理　⊙ 行う　(10.6.2)
屋内のワックス掛け　⊙ 行う　(10.1.5)

11 タイル工事

① 陶磁器質タイル　(11.2.1)

施工場所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	備考
室内壁	100角	・	・	⊙	⊙	・	・	⊙	⊙	・	タイルA
室内壁	50角	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	タイルB
各部床	150角	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	タイルC
各部床	150角	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	タイルD
各部床	300角	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	タイルE
各部床	100角	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	タイルF
階段段先	150×60	⊙	・	・	・	⊙	・	⊙	⊙	・	階段段先用

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（※外装タイル　・　）

11 タイル工事

② 壁タイル張り工法　内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り　(11.3.3)（表11.3.2）
外装タイル　・ 密着張り　・マスク張り
下地モルタル塗り　※標仕15.2.2～15.2.5
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外装タイル　・　）
3 コンクリート素地面の処理　※ＭＣＲ工法又は目荒らし工法(ポリマーセメントモルタル下地)　(11.3.3)
施工範囲　※ 図示
4 陶磁器質タイル型枠先付け工法　(11.2.2) (11.4.2)（表11.4.1）

適用タイル	種別	タイル型枠先付面のせき板
・小口タイル	※タイルシート法	※標仕6.9.3[材料](b)(2)又は金属製
・二丁掛タイル	・目地桟工法	タイル先付け用パネル
・大形タイル	・桟木法	・

12 木工事

① 木材の品質　※標仕12.2.1による　(12.2.1)
保存処理木材の適用箇所　※12.5.1(b)による
② 樹　種　・標仕表12.2.3による　(12.2.1)
⊙標仕表12.2.3によるほか、樹種のうち杉は「越後杉ブランド」を使用する
・代用樹種を適用しない箇所（　）
③ 集 成 材　(12.2.2)

品名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	※たも・なら・しおじ	
・構造用集成材	※１級 ・２級	・	
⊙造作用集成材	※１級 ・２級	⊙たも・杉	
・化粧ばり造作用集成材	※１級 ・２級	・	

④ 接着剤　接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12.2.6)
⑤ 防腐・防蟻処理　防腐処理　※行う(適用範囲　※標仕12.2.8(c)による　・図示)　(12.2.8)
防蟻処理　・行う(適用範囲　)　(12.2.9)
防腐・防蟻処理は、ｸﾛﾙﾋﾟﾘｽ等を含有しない非有機ﾘﾝ系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺　※各項とも詳細図参照　(13.2.2) (13.2.3)（表13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)
特殊嵌合瓦棒葺き（体育館・特殊嵌合瓦棒葺屋根）	⊙電解2次着色アルミ押出し型材	⊙1.2
屋根・天井一体型特殊立はぜ葺き（ﾌﾗｯﾄﾛｰﾙ庇・吊り屋根）	⊙溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板（カラーガルバリウム鋼板）	⊙0.6
特殊平滑葺き（校舎・体育館・金属平葺屋根）	⊙ふっ素樹脂塗装 溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板	⊙0.6

② 折 板 葺　(13.3.2) (13.3.3)（表13.2.1）

□部位：屋根10～12（折板屋根Ａ）

形　式	※重ね形　⊙はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高（ 165 ）山ﾋﾟｯﾁ（ 333 ）　板厚　※ 0.6　⊙1.0
材　料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板（カラーガルバリウム鋼板）
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別 無機質高充填ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾌｫｰﾑ材　厚　4mm）　・ 無し
耐火性能	※30分耐火　・ 無し

□部位：駐車場棟（折板屋根Ｂ）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高（ 150 ）山ﾋﾟｯﾁ（ 250 ）　板厚　※ 0.6　⊙1.0
材　料（規格等）	※溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別　）　⊙ 無し
耐火性能	※30分耐火　・ 無し

□部位：駐輪場棟（折板屋根Ｃ）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高（ 88 ）山ﾋﾟｯﾁ（ 200 ）　板厚　※ 0.6　⊙1.0
材　料（規格等）	※溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別　）　⊙ 無し
耐火性能	※30分耐火　・ 無し

③ と　い　材　種　※配管用鋼管　⊙硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　(13.5.2)（表13.5.1）
・ﾘﾊｲﾙﾑ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管　⊙ｱﾙﾐ製既製品　⊙SUS管
鋼管製といの防露　※ 標仕表13.5.5による
掃除口　・有り　⊙無し

14 金属工事

① あと施工アンカーの引抜き耐力試験　※ 適用する。　(14.1.3)
② ステンレスの表面仕上げ　(14.2.1)

種類	施工箇所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・No２Ｂ程度	製作流し台シンク部
・鏡面仕上げ	
・	

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2)（表14.2.1）

種別	色合い	施工箇所
⊙Ｂ－１種	無着色	図示による
⊙Ｂ－２種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ⊙ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ	図示による
⊙Ｄ種	⊙図示	⊙着色・ｸﾘｱ

④ 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.3)（表14.2.2）

表面処理法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・Ａ種(板厚6.0mm以上)	
	・Ｂ種(板厚3.2mm以上)	
	⊙Ｃ種(板厚1.6mm以上)	手摺他
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	⊙Ｅ種	
	・Ｆ種	

⑤ 軽量鉄骨天井下地　屋外の場合の形式及び寸法　(14.4.3)（表14.4.2）
※下記以外は、標仕14.4.3及び表14.4.2による

下地材の間隔(mm) 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 中央部	下地材の間隔(mm) 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 周辺部	野縁	施工箇所

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を、標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。
天井ふところ1．5m以上の補強は 14．4．4（h）による補強 とする。
⑥ 金属成形板張り　(14.6.2)（表14.2.1）

形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	色合い
⊙ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	⊙押出し・ロール	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・			⊙B-1種	無着色
					・B-2種 ・	・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ
・ﾊﾞﾈﾙ形	※ﾌﾞﾚｽ ・			⊙2.0	⊙D種	⊙着色・ｸﾘｱ
⊙長尺金属板（屋根材平葺）	・はぜ加工	⊙溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板		⊙0.6	⊙D種（ふっ素）	⊙着色・ｸﾘｱ

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)
⑦ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木　オープン形式アルミニウム製笠木の種類　(14.7.2～3)（表14.2.1）(表14.7.1)

種類	呼称肉厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・100形	1.5以上	※A-1又はB-1種(無着色)	建築基準法に基づき指定する条件により定める
⊙250形	1.6以上	・B-2種 ・ﾌﾞﾗｳﾝ系	
・300形	1.8以上	・ﾌﾞﾗｯｸ	
・350形	2.0以上	・ｽﾃﾝｶﾗｰ	

コーナー部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。
⑧ 手すり及びタラップ　(14.2.1) (14.8.2～3)（表14.2.2）

種類	材料の種別	表面処理
⊙手すり	※ｽﾃﾝﾚｽsus304	※ＨＬ程度　・鏡面程度　・
	⊙鉄	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種　⊙2-FUE 内部　※Ｅ種　・
⊙タラップ	※ｽﾃﾝﾚｽsus304	※研磨なし　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種　・

15 左官工事

① 床コンクリートの直均し仕上げ　下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による　(表6.2.4)（15.3.1）(15.3.2)

施工箇所	平たんさ(mm)	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（ﾊﾟﾈﾙ構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（溝構法）範囲	3mにつき 7以下	

② 仕上塗材仕上げ　(15.5.2)（表15.5.1）

種類	呼び名	仕上げの形状等
⊙薄付け仕上塗材	⊙外装薄塗材Ｅ	⊙砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ ・	砂壁状じゅらく
⊙複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・複層塗材ＲＳ	⊙ゆず肌(ｽﾀﾝﾌﾟ)・凸部処理　※凹凸模様 耐候性　※３種　・２種　・１種 上塗材　ふっ素樹脂塗装 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※ｱｸﾘﾙ系　⊙ふっ素系 ・ｼﾘｺﾝ系 外観　※つやあり　・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ
	⊙防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＳ ・ ・ ・	防水形の増塗材　※行う

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　(15.5.2)

16 建具工事

1 見本の製作等　・特殊な建具の仮組等（建具番号　）　(16.1.4)
② 防犯建物部品　※適用する（建具部品及び適用位置は図示による）　(16.1.6)
③ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具　外部に面する建具の性能値等　(16.2.2) (16.2.4)（表16.2.1）

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０	
※Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００	

表面処理　(16.2.4)（表14.2.1）

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※Ｂ－１種	無着色
	⊙Ｂ－２種	標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系 ⊙ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	・
内部建具	※Ｃ－１種又はＢ－１種	無着色
	・Ｃ－２種又はＢ－２種	標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

4 網　戸　防虫網　(16.2.3)
網の種別　※合成樹脂製　・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS316)製
形　式　・外部可動式　・固定式　・図示
⑤ 鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.3.2) (16.3.6)（表16.3.1）
※適用する(適用箇所は建具表による)　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　(16.3.2)（表16.2.1）
・ Ｓ－４　⊙ Ｓ－５　・ Ｓ－６
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効間口幅950mm又は有効高さ2,100mmを超える場合）
※下表以外は表16.3.2による　(16.3.4)（表16.3.2）

区分		使用箇所	厚さ(mm)
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

・図示
⑥ 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.4.2) (16.4.6)（表16.3.1）
⊙適用する（適用箇所は建具表による）
⑦ ステンレス製建具　簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.5.2)（表16.3.1）
⊙適用する（適用箇所は建具表による）
外部に面する建具の耐風圧性　(16.5.2)（表16.2.1）
・ Ｓ－４　⊙ Ｓ－５　・ Ｓ－６
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　(16.5.4)
曲げ加工　※普通曲げ　⊙角出し曲げ　(16.5.5)
⑧ 木製建具　かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　）　(16.6.2)
ふすまの上張り　※新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度　・鳥の子　(表16.6.3)
⑨ 建具用金物　マスターキー　※製作する（3本）　・製作しない　(16.7.4)
鍵札数量　・錠前１組に２枚とする　・錠前１組に　枚とする
工事完成時に鍵ごと窓名又は建具位置を示す札を付け、且つ番号及び総小扉平面図による鍵の種別図を添え、鍵箱に収納し、提出する。鍵箱は鍵の個数に応じた鋼板の既製品とする。
⑩ 自動ﾄﾞｱ開閉装置　(16.8.2) (16.8.3) (表16.8.3)

開閉方法	センサーの種類	
※ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ・ｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ	・ﾏｯﾄｽｲｯﾁ ・音波ｽｲｯﾁ ・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ	・電子ﾏｯﾄｽｲｯﾁ ・ﾍﾟﾀﾞﾙｽｲｯﾁ ・多機能便所ｽｲｯﾁ	・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ ・熱線ｽｲｯﾁ	※光線ｽｲｯﾁ ・光電ｽｲｯﾁ

凍結防止措置　※ 行わない　・ 行う（　）　(16.8.3)
⑪ 自閉式上吊り引戸装置　※適用する（適用建具及び適用位置は図示による）　(16.9.1)
⑫ 重量シャッター　外部に面するシャッターの耐風圧強度（　）N/㎡　(16.10.2)
開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.10.2)（表16.10.1）
危害防止装置　※ 障害物感知装置（自動開鎖型）　(16.10.2)
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(16.10.2)
13 軽量シャッター　開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　(16.11.2)
外部に面するシャッターの耐風圧強度（　）N/㎡　(16.11.2)
スラット　厚さ(mm)　・0.5　・0.6　・0.8　・1.0　(表16.11.2)
材質　※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯　・　(16.11.3)
形状　※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾌﾟ形　(16.11.4)
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等　※鋼板製　・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304(厚さ1.5mm)　(表16.11.2)
ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　厚さ(mm)　・0.4　・0.8　・　(表16.11.2)
14 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ　(16.12.2) (16.12.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・チェーン式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	・溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)

耐風圧性能による区分　・５０　・７５　・１００　・１２５　(16.12.2)
⑮ ガラス　下記以外は、建具表による　(16.13.2)
・合わせガラス
特性による種類　※ Ⅱ-1類
⊙強化ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類
⊙ﾌﾛｰﾄ強化ｶﾞﾗｽ ・型板ｶﾞﾗｽ	Ⅲ類（曲面はⅠ類）

強化ガラスを使用する場合は全て下記による
1) 全てヒートソーク処理を行う
2) 完成後、原因不明又は異物混入などにより自然破損した場合には、無償で交換する
保証期限10年
3)小口の保護を行うこと
⊙複層ガラス

品質	断熱性、日射遮へい性による区分
⊙断熱複層ｶﾞﾗｽ	※Ｕ３－１　・Ｕ３－２　⊙Ｕ１
・日射熱遮へい複層ｶﾞﾗｽ	・Ｅ４　・Ｅ５

・熱線反射板ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ｶﾞﾗｽの種類	映像調整
※熱線反射ｶﾞﾗｽ ・高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ	※内面　・外面 ・内面	・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・強化ｶﾞﾗｽ ・倍強度ｶﾞﾗｽ	※行わない ・行う

・倍強度ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類の名称	色調
※ﾌﾛｰﾄ倍強度ｶﾞﾗｽ	
・熱線吸収倍強度ｶﾞﾗｽ	・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾙｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・

⑯ ガラス留め材　ガラス留め材　(16.13.2)（表9.6.1）

建具の種類	材種
アルミニウム製	⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ材　※ｶﾞｽｹｯﾄ（FIX部はｼｰﾘﾝｸﾞ材）
鋼製及び軽量鋼製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材
ステンレス製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。

発注者　三条市

株式会社 石本建築事務所　Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.　by Design

履歴
version.090527

完成図作成（施工者名）　日付 ○○.○○.○○　管理技術者 ○○ ○○　担当者 ○○ ○○

完成図承認　日付 ○○.○○.○○　監理者 ○○ ○○　担当者 ○○ ○○

法適合確認欄　構造設計一級建築士　橋川 和人　証交付番号 第1145号　本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄　設備設計一級建築士　松尾 和彦　証交付番号 第1394号　本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

製作日　11.09.30

代表設計者　一級建築士 大臣登録第281536号 長野 豊　日付 11.09.30
設計者　一級建築士 大臣登録第260704号 前崎 賢司　担当者 小野寺 伸一

業務名称　三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設　校舎棟　建築本体工事
業務契約コード　104859-02
図面名称　建築工事　特記仕様書－2
縮尺　－

図面番号　SP－004

管理建築士　一級建築士　登録第164447号　藤井 進

16 建具工事

17 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み　(16.13.5)

寸法(mm)		表面形状		性能等	
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア ・		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製	・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による
・	・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　・

シーリング材料

下記以外は標仕表9.6.1による　(16.13.5)(9.6.2)(表9.6.1)

被着体の組合せ	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は、認定を受けた条件による。

⑱ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　Ｄ１
・			

品質　JIS A 5759による

18 塗装工事

① 材料

※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。　(18.1.3)

② 素地ごしらえ

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びその他のﾎﾞｰﾄﾞ面の継ぎ目処理工法の場合　(18.2.7)(表18.2.7)

種別　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

３ ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｸﾘｱ塗り

適用範囲　ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板素地面

工法	塗料その他	塗付け量(Kg/㎡)
１ 素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去	
２ 下塗り(1回目)	浸透性吸水防水材(ｼﾗﾝ系)	0.08
３ 下塗り(2回目)	浸透性吸水防水材(ｼﾗﾝ系)	0.08
４ 中塗り	ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｳﾚｰｽ	0.10
５ 上塗り	ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｳﾚｰｽ	0.10

④ 塗装業者

※日本塗装工業会の会員　・監督員の承諾する業者

19 内装工事

① 接着剤

※接着剤に含まれる可塑材は、難揮発性とする。　(19.2.2)(19.3.3)(19.5.6)(19.7.2)(19.8.2)

② ビニル床シート張り　(19.2.2)

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＮＣ　・	※無地　・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	※2.5 ⊙2.0 ⊙2.8
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・防滑タイプ	⊙ＦＳ　・	※柄物　・無地	⊙2.9

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所　図示による　）　(19.2.3)

３ ビニル床タイル張り　(19.2.2)

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(半硬質)	ＣＴ	※2.0	
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(軟　質)	ＣＴＳ	・	
・ﾎﾓｼﾞｪﾆｱｽﾋﾟﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＨＴ	・	
・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＨＴＬ	・	

④ 誘導用、注意喚起用床材　(19.2.2)

視覚障害者用ﾀｲﾙ

適用箇所	種類	寸法(mm)	形状
屋内	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系	※300×300　・	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ JIS T 9251 による色彩は黄色とする
	・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300　・	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	
屋外	・ｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300×60　・300×300×30	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	

⑤ ビニル幅木　(19.2.2)

高さ(mm)　※６０　・７５　・１００

６ 帯電防止床ﾀｲﾙ張り　(19.2.2)

種類	厚さ(mm)	性能
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※2.0　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ﾎﾓｼﾞｪﾆｱｽﾋﾟﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※4.0又は4.5	1.0×10^{9} Ω以下、又は、
・	・	漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
・	・	1.0×10^{10} Ω未満

⑦ カーペット敷き

防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、消防庁長官の防炎表示の登録を受けたものとする。　(19.3.2)

・織じゅうたん　(19.3.4)(表19.3.1)

種別	織り方	ﾊﾟｲﾙ形状	帯電性	色・柄等
・Ａ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	人体帯電圧	※単一色(無地)
・Ｂ種	・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ	・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※3kV以下	・柄物(標準品)
・Ｃ種	・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・	

・タフテッドカーペット　(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長(mm)	工法	帯電性
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※5.0～7.0　・	※全面接着工法	人体帯電圧
・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※4.0～6.0　・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	※3kv以下
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※4.0		・
・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・		

⊙タイルカーペット　(19.3.3)

種別	ﾊﾟｲﾙ形状	電気抵抗値(Ω)	施工箇所
※第一種	※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※適用しない	図示による
・	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・10^{8}Ω以下	

⑧ 合成樹脂塗り床　(19.4.2)(表19.4.1～表19.4.7)

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上　・防滑仕上　・つや消し仕上げ
⊙エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ
	・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑）
	・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑）
	・防滑仕上げ

⑨ 床用塗料塗り

材　質　ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗料　（※標準色　・　　）

仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ

塗布量　ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5Kg/㎡以上とする。

⑩ 防塵用塗料塗り

材　質　水性ｱｸﾘﾙ系塗料　（※標準色　・　　）

仕上種別　ｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ﾛｰﾗｰ刷毛塗り）

塗布量　主剤2回りとし、総塗布量は0.25Kg/㎡以上とする。

⑪ フローリング張り　(19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

品名	樹種	等級	板厚	工法	仕上塗装
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ	・なら ・	・1等 ・	※15 ・	・釘留め工法 ・接着工法	・塗装品 ・無塗装品
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	・なら ・	・1等 ・	※15 ・	・ﾓﾙﾀﾙ埋込工法 ・接着工法	・ ・
⊙天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	⊙ かば ⊙ なら	※Ｃ種 ・	⊙15 ⊙18	※釘留め工法 ⊙接着工法	※塗装品 ・無塗装品
・	・	・	・	・	・

⑫ 畳敷き　(19.6.2)(表19.6.1)

適用箇所	畳の種別
標仕表12.5.1による床組	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種(※KT-Ⅲ・　)
ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地	・Ｃ種　・Ｄ種(※KT-Ⅲ・　)
武道場	⊙柔道畳

⑬ せっこうボード その他のボード張り　(19.7.2)(表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)・規格等
⊙硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板	ＨＷ	・15　⊙18　・20　・25
・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	ＮＷ	・15　・20　・25
⊙けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	０．８ＦＫ	⊙6.0　⊙8.0　ﾀｲﾌﾟ2(無石綿)
⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	ＤＲ	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9.0　⊙12.0　・　） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※12.0　・15.0）（(個)不燃）
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｒ	⊙9.5（準不燃）　⊙12.5（不燃）
⊙不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－ＮＣ	9.5(不燃)　化粧無(下地張り用) 化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｓ	⊙9.5（準不燃）　・12.5（準不燃）
⊙強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｒ	・12.5（不燃）　⊙15.0（不燃）
・難燃合板		
・		

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音ｼｰﾙ材　(19.7.2)(表9.6.1)

※適用する　・適用しない

⊙せっこうボードの目地処理　(表19.7.5)

目地処理の処理	施工箇所
・継目処理工法	図示による
・突付け工法	図示による
・目透し工法	

⑭ 吸音材　(表19.7.1)

種類	記号	厚さ(mm)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	ＲＷ－Ｂ	※25　・
※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ2号32K	ＧＷ－Ｂ	※25　⊙50

15 壁紙張り　(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備考
	紙製	織物	ﾋﾞﾆﾙ	化学繊維	無機質		
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　(19.8.3)(表18.2.4)(表18.25)(表18.2.7)

ﾓﾙﾀﾙ､ｺﾝｸﾘｰﾄ面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

⑯ 断熱材

発泡剤による種別　※Ａ種（現場発泡の場合はＡ種１）　(19.9.2)(19.9.3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	※2種b	※一般部	※25 ・	
	※3種b（ｽｷﾝ層付け）	※接地部分 ・	※25 ⊙50	
⊙現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	―	難燃性を有するもの
		⊙一般部 ・	※15 ⊙25	
・断熱材兼用型枠		・壁(図示の範囲) ・	※40以下 ・	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上 (t・㎡・k/W)
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

20 ユニット及びその他工事

① 基本要求品質　(20.1.2)

特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

② 耐震スリット

方向	表面仕上げ	耐火性能	防水性能
⊙垂直方向 ⊙水平方向	※完全(全貫通型)ｽﾘｯﾄ	⊙耐火型	⊙有り ・無し

	目地材	目地寸法(mm)
内壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かりのみ）	※20×10、25、30、35、40
外壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（内外とも）	※20×10、25、30、35、40

③ ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ　(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能 注(1)	表面仕上げ材 注(2)
校舎センター	⊙ﾊﾟﾈﾙ構法	⊙ 100	⊙1.0G	⊙3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
PC教室	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	⊙ｶｰﾍﾟｯﾄ
メディアセンター	⊙ﾊﾟﾈﾙ構法	⊙ 100	⊙1.0G	・3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	⊙5,000N	⊙ｶｰﾍﾟｯﾄ

注1：耐荷重性能5，000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。

注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。

ｽﾛｰﾌﾟ及びﾎﾞｰﾀﾞｰ

※製造所の標準仕様（ただし、構成材は標仕20.2.2(a)(2)による）

・図示

ｺﾝｾﾝﾄ等の取付け対応

仕様　※製造所の標準仕様（ｺﾝｾﾝﾄ本体は別途設備工事）

ｺﾝｾﾝﾄの箇所数　※10～15㎡に1箇所程度

配線用取出しﾊﾟﾈﾙ

ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※20～30%

配線取り出し開口　※40mm×80mm程度の開口

空調用吹き出しﾊﾟﾈﾙ

※無し

・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

4 可動間仕切り　(20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	仕上げ	遮音性(JISによる記号)
※ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・	※鋼板 (※0.6　・0.8) ・	※ﾒﾗﾐﾝ樹脂又はｱｸﾘﾙ樹脂焼き付け ・	・有り

不燃材料の認定　・有り

⑤ 移動間仕切り　(20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般ﾀｲﾌﾟ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式 ・部分電動式
⊙遮音ﾀｲﾌﾟ(注1)	80	※鋼板	⊙化粧シート張	⊙手動式　・電動式 ・部分電動式

注1：JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。

注2：表面仕上げの壁紙張りの品質は１９章内装工事　１５壁紙張りによる。

パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様　・

⑥ トイレブース

表面仕上げ材　⊙ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板（標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き）　(20.2.5)

・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板

パネル芯材　⊙ﾌｧﾝﾊﾟｰｺｱ　・ﾌﾗｯｼｭ

脚部　※幅木ﾀｲﾌﾟ　・支柱ﾀｲﾌﾟ

ﾄﾞｱｴｯｼﾞ　※ﾌﾗｯﾄ形　⊙曲面形

⑦ 階段滑止め　(20.2.6)

材　種　※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)　・ｱﾙﾐ

形　状　※ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入り

両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ　※有り（ｽﾃﾝﾚｽ製　※ﾋﾞﾆﾙ製）　・無し

・ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ無し

幅(mm)　・30　⊙35　・40　・

取付け方法　※接着工法　⊙埋め込み工法　ナカエ業「ﾊｲｽﾃｯﾌﾟｱｰﾄ」SUS同等

⑧ 階段手すり

種別	施工箇所
※集成材ｸﾘｱﾗｯｶｰ仕上げ(市販品)	図示による
径　⊙38mm　・45mm　・60mm	
⊙ビニル製手すり(幅　約35mm)	図示による

⑨ 黒板及びホワイトボード　(20.2.8)

種類	寸法(mm)	備考
⊙黒板　※ほうろう	図示による	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
⊙ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ　※ほうろう	図示による	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分

詳細は図示。

10 ブラインド　(20.2.12)

形式	種類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄの幅(mm)
※横形	※ﾁｪｰﾝ式　・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・	※25
・縦形	・1本操作ｺｰﾄﾞ ※2本操作ｺｰﾄﾞ	・ｱﾙﾐﾗｯﾄ ・ｸﾛｽﾗｯﾄ	・80 ・100

※市販品（ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　押出し型材）

使用区分	溝幅×深さ(mm)
・横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※90×150　・120×150　・
・縦形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※120×80　・150×80　・
・ｶｰﾃﾝ（又はﾚｰｽ共）	※150×80　・180×80　・
・ｶｰﾃﾝ＋横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※180×150　・

色彩　・Ｂ－１　・Ｂ－２（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

⊙図示

⑪ ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

12 ロールスクリーン　(20.2.13)

操作方法	ｽｸﾘｰﾝの種類	品質等
・ﾌﾟﾙｺｰﾄﾞ式(ｽﾄｯﾊﾟｰ付き)	・無地	
・ﾜﾝﾀｯﾁﾁｪｰﾝ式	・柄物	
・ﾁｪｰﾝ式	・遮光ﾀｲﾌﾟ	
・電動式	・	

13 カーテン及びカーテンレール

カーテン　(20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 ひも引	装置 手引	名称・品質	ひだの種類	備考
小中保健室	⊙	・	・	・	⊙	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝﾀｲﾌﾟ		
ｹｱﾙｰﾑｼｬﾜｰ室	⊙	・	・	・	⊙	ｼｬﾜｰｶｰﾃﾝ		
ｹｱﾙｰﾑ脱衣	⊙	・	・	・	⊙	間仕切ｶｰﾃﾝ		
授乳室(児ｽ)	⊙	・	・	・	⊙	間仕切ｶｰﾃﾝ		
給食調理場	⊙	・	・	・	⊙	間仕切ｶｰﾃﾝ		ﾋﾞﾆﾙ糸入
ﾌﾟｰﾙ更衣室	⊙	・	・	・	⊙	ｼｬﾜｰｶｰﾃﾝ		
体育ｱﾘｰﾅ	⊙	⊙	・	⊙	⊙	暗幕		
体育放送室	⊙	・	・	・	⊙	暗幕		
ﾌﾟｰﾙ更衣室	⊙	・	・	・	⊙	ｼｬﾜｰｶｰﾃﾝ		
	・	・	・	・	・			

カーテンレール　(20.2.14)

材種　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　・ｽﾃﾝﾚｽ製

形式　⊙片引き　⊙引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする）

1組の本数　⊙ｼﾝｸﾞﾙ　・ﾀﾞﾌﾞﾙ　・図示

⑭ ピクチャーレール

レール　材質　ｱﾙﾐﾆｳﾑ製(ｼﾙﾊﾞｰ)　形式　先付け天井埋込型(見切線兼用)

ﾗﾝﾅｰ　材質　本体：真鍮製　ﾌｯｸ：ｽﾃﾝﾚｽ製(可動式)　耐荷重　25kg程度／個　個数　２個／ﾚｰﾙ１m

⑮ 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法(mm)
⊙額縁ﾀｲﾌﾟ	下記以外全て	※450×450
⊙目地ﾀｲﾌﾟ	※図示 ・天井仕上げ材がDRの範囲	⊙600×600

⑯ 床点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法(mm)
※ｱﾙﾐ製	※ｱﾙﾐ　・ｽﾃﾝﾚｽ　・黄銅		※600×600
⊙ｽﾃﾝﾚｽ製	・ｱﾙﾐ　⊙ｽﾃﾝﾚｽ　・黄銅	上記以外全て	※600×600

⑰ 積雪表示板

※塩化ﾋﾞﾆﾙ製（白）、ｽﾃﾝﾚｽﾈｯﾄ(10mm)４本詰め、文字入れ共　・

取付け場所（・図示　⊙監督員の指示による　）10ヶ所

寸法　１８０×１６０×５

18 室名札

材種　※塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製　・ｱｸﾘﾙ樹脂製　・

寸法　※260×80×5　・

受金具　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)　・

形式　・突出型　ケ所　・面付型　ケ所　※文字書込み　・文字彫込み

詳細は図示。

⑲ かぎ箱

市販品

形　式　・30組用　・60組用　⊙20組用　・

20 くつふきマット

市販品

材　質　・塩化ﾋﾞﾆﾙ製(ｺｲﾙ状　ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)

・ﾋﾞﾆﾙ製(ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)

・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ製（受枠とも）

・ｽﾃﾝﾚｽ製（受枠とも）

㉑ 流し台ユニット

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※規制対象外　・第三種

種類	寸法(L=mm)	適用内容	規格・品質等
⊙流し台	※1200⊙350・1500・1800	ﾄﾗｯﾌﾟ付き	・優良住宅部品(ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝⅠ型)
・ｺﾝﾛ台	※600　・700　・	ﾊﾟｯｶﾞｰﾄﾞ　※有り	
⊙つり戸棚	※1200⊙350・900・600		⊙市販品
⊙水切り棚	※1200　⊙900	ｽﾃﾝﾚｽ製　※1段式	※市販品

㉒ 屋内掲示板

枠の材質　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　⊙木製

表面の材質　※特殊発砲ﾋﾞﾆｰﾙ張り　⊙OSB

㉓ 洗面カウンター

材　種　・ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板張り（芯材：集成材）⊙人工大理石（品質　※図示）

奥行き(mm)　・約450　⊙約600

㉔ 敷地境界石標

・かこう岩（文字記号等入り）

※ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製の市販品程度

㉕ 定礎

材　種　⊙花崗岩　450×350×30　１か所（SUS製定礎箱付）

21 排水工事

① 排水管　(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

排水管用材料

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	※外圧管（※１種　・２種）	Ｂ形（ｺﾞﾑ接合）
⊙硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	※ＶＰ　・ＶＵ ・ＲＳ－ＶＰ　・ＲＳ－ＶＵ	
・		

発注者　三条市

株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design

履歴　version.090527

完成図作成（施工者名）　日付 ○○.○○.○○　管理技術者 ○○　担当者 ○○

完成図承諾　日付 ○○.○○.○○　監理者 ○○　担当者 ○○

法適合確認 構造設計一級建築士　横川 和人　証交付番号 第1145号　本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認 設備設計一級建築士　松尾 和彦　証交付番号 第1394号　本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

製作日　11.09.30

代表設計者 一級建築士 大臣登録第28153号 長野 豊　日付 11.09.30　設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司　担当者 小野寺 伸一

業務名称　三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設　校舎棟　建築本体工事

業務契約コード　104859-02

図面名称　建築工事　特記仕様書－3

縮尺　－

図面番号　SP－005

管理建築士　一級建築士　登録第164447号　藤井 進

21 排水工事

2 排水桝及びふた

鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙふた (21.2.2)

種類	適用荷重
・水封形　・密閉形(ﾃｰﾊﾞｰ・ﾊﾞｯｷﾝ式)	・T－2用
・簡易気密形(ﾊﾞｯｷﾝ式)　・中ふた付密閉形	・T－6用
	・T－20用

ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・ﾎﾞﾙﾄ固定	・桝ふた用	・T- 2用	※普通目	※平形
	※無し	・かさ上げ用	・T- 6用		
	・図示	・U字溝用	・T-14用	※細目	・凹凸形
			・T-20用		

3 埋戻し土

※B種　・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.3)

22 舗装工事

1 盛土に用いる材料

・A種　・B種　・C種　・D種 (22.2.3)(表3.2.1)

2 凍上抑制層の材料

※再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　・ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　切り込み砂利 (22.2.3)

3 路床安定処理

※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)
種類　・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種
・高炉ｾﾒﾝﾄB種　・生石灰(　　)　・消石灰(　　)
添加量　kg／m3(目標ＣＢＲ　※5　・　)
・ｼﾞｵｷｼｽﾀｲﾙによる安定処理
ｼﾞｵｷｼｽﾀｲﾙの品質
単位面積質量　60g/㎡以上　厚さ(mm)　0.5～1.0
引張り強さ　98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水計数　0.15cm/sec以上

4 路床の試験

・支持力試験を行う（※乱した土　・　乱さない土） (22.2.5)
・路床締固め度の試験を行う
・砂の粒度試験を行う

5 路盤材料

※再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC－40) (22.3.3)(表22.3.3)
・ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(Ｃ－40)又はｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ(ＣＳ－40)
・粒度調整砕石

6 路盤の締固め度試験

※行う (22.3.5)

7 アスファルト舗装

(22.4.2)(表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	ｶﾗｰ舗装の種類
※ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	※無し　・有り	※顔料混入加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
・ｶﾗｰ舗装	※無し　・有り	・

ｶﾗｰ舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆）

ｱｽﾌｧﾙﾄ　※再生ｱｽﾌｧﾙﾄ　・ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ (22.4.3)

加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

区分	・一般地域	※寒冷地域
表層	※密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)	※密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
	・粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)	・細粒度ｷﾞｬｯﾌﾟｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
基層	・粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20)	

ｼｰﾙｺｰﾄ　※行わない　・行う(施工範囲：　　) (22.4.5)
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

8 コンクリート舗装

早強ｾﾒﾝﾄ　※使用しない　・使用する (22.5.3)
注入材料　※低弾性ﾀｲﾌﾟ　・高弾性ﾀｲﾌﾟ (22.5.3)(表22.5.3)
溶接金網　※有り　・無し (22.5.3)(22.5.4)

9 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.6.6)
厚さ試験　※行わない　・行う (22.5.6)

10 排水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

排水性舗装用ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (22.7.3)(表22.7.2)
※改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ種　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ種
ﾀｯｸｺｰﾄ用ｺﾞﾑ入りｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤の種類 (22.7.3)(表22．7.3)

適用時期	種類
下記以外	ＰＫＲ－Ｔ１
冬期	ＰＫＲ－Ｔ２

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験　※行わない　・行う (22.7.6)

11 ブロック系舗装

・ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※普通平板(Ｎ)　・ｶﾗｰ平板（Ｃ）	※300角	※60	※砂
・洗出平板（Ｗ）　・擬石平板（Ｓ）			・ﾓﾙﾀﾙ

・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等
※普通ﾀｲﾌﾟ	5.0N/mm2以上	車道部 ※80　・	※標準ﾀｲﾌﾟ
・誘導、注意喚起用ﾀｲﾌﾟ		歩道部 ※60　・	・表面化粧ﾀｲﾌﾟ
・透水性ﾀｲﾌﾟ	3.0N/mm2以上		誘導、注意喚起用
・植生ﾀｲﾌﾟ	4.0N/mm2以上	※80　・　100	は黄色とする

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	厚さ(mm)	施工方法	基層
※小舗石（花崗岩）	※80～100	※うろこ張り	※ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
・	・	・	・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

12 区画線

路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用
JIS K 5665	・1種	常温	液状	幅　※150　・	※白
	・2種	加熱			・黄
	※3種1号	溶融	粉体状	厚さ　※1.0	

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。

23 植栽工事

1 土壌の酸度、水溶性塩類(EC)の試験

※行う (23.1.3)

2 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲
※行う　・行わない	※300　・	※B種　・	※植栽範囲　・図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・12以上	※100　・	※A種	※葉張りの範囲
・7以上～12未満	※80　・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3以上～7未満	※70　・	・C種	・図示
・3未満	※70　・	・D種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

3 植込み用土

※現場発生土の良質土　⊙客土（※畑土　・黒土） (23.3.2)
地披類t300　中低木t=700　(23.3.2)

4 土壌改良材

※適用する (23.2.3)(23.2.4)
施工箇所　※植栽範囲　・図示

5 支柱材

※防腐処理杉丸太　・杉の焼き丸太　・竹 (23.3.2)

6 幹巻き用材料

※幹巻き用ﾃｰﾌﾟ　・わら及びこも (23.3.2)

7 芝張り

種類　※こうらい芝　・野芝 (23.4.2)

8 枯補償及び枯損処理

期間　※引渡しの日から１年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)
・　年間　・　年　月　日迄

9 屋上緑化システム

土壌層　※改良土　・人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3)
厚さ　mm
保水･排水層　・軽量骨材層（厚さ　mm）　・板状成形品 (23.5.3)

※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付け 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める

24 追加特記

① 公共事業労務費調査への協力

※協力する

② 工事監理方式

共同監理　・ 有り　・ 無し

③ 適用基準等

・営繕工事電子納品要領（案）（国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕計画課監修）
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）
・

④ 総合図

※作成する

⑤ 工事施工等の申出について

※請負者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

⑥ 排出ｶﾞｽ対策型等建設機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ｶﾞｽ対策型建設機械指定要領（平成３年１０月８日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ｶﾞｽ対策型建設機械を使用するものとする。排出ｶﾞｽ対策型建設機械を使用できない場合は、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ｶﾞｽ浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ｶﾞｽ浄化装置を装着(黒煙浄化装置付)することで、排出ｶﾞｽ対策型建設機械と同等とみなす。
ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機種	備考
一般工事用建設機械	
・バックホウ	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ
・トラクタショベル（車輪式）	ｴﾝｼﾞﾝ
・ブルドーザ	(ｴﾝｼﾞﾝ
・発動発電機（可搬式）	出力7.5KW
・空気圧縮機（可搬式）	以上260KW
・油圧ユニット類	以下)を
(以下に示す基礎工事用機械のうち､ﾍﾞｰｽﾏｼﾝとは別に独立したﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動の油圧ﾕﾆｯﾄを搭載するもの 油圧ﾊﾝﾏ･ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ･油圧式鋼管圧入･引抜機、油圧式杭圧入引抜機､ｱｰｽｵｰｶﾞ､ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機､ﾘﾊﾞｰｽﾘｰﾊﾞｰｾｺﾝﾄﾞﾘﾙ､ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ､地下連続壁施工機、全回転型ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機)	搭載した建設機械に限る。
・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ	
・ホイールクレーン	
※上記建設機械は、低騒音・低振動型とする。	

24 追加特記

7 発生材の処理等

1 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称	
工事場所／施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

4 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	
処理施設名称	
施設所在地	
連絡先	
備考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第１８条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

⑧ 化学物質の濃度測定

1)測定時期
・測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。
・測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時と工事完了時に、それぞれ行う。
※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、６）の措置を講じる時間を見込むこと。
2)測定対象物質
※ホルムアルデヒド　（指定値0.08ppm以下）
※トルエン　（指定値0.07ppm以下）
※キシレン　（指定値0.2ppm以下）
※エチルベンゼン　（指定値0.88ppm以下）
※スチレン　（指定値0.05ppm以下）
・パラジクロロベンゼン　（指定値0.04ppm以下）
3)測定室
・各学年普通教室２室及び附属室２室　計36室
・小・中 各特別教室　小9、中12室　計21室
・多目的ホール，体育館，武道場，室内プール，更衣室（2室）　計6室
・小・中保健室，カウンセリング室，メディアセンター　計6室
・職員用諸室（職員室，会議室，校長室，応接室）　計4室
・特別支援学級教室，特別支援交流室　計5室
・地域児童クラブ　計5室
・給食調理場　計5室
（校舎棟　計70室，体育館棟　計18室）
4)測定方法
測定機器
※パッシブ型採取機器
・監督員の承諾する機器
測定要領
※測定前の措置
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、３０分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※ 測定は次のイ～ハによる。
イ 上記測定前の措置の状態のままで測定する。
ロ 測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう１０時３０分から１８時３０分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。
※その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。
5)測定結果の分析
※測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。
6)測定結果が指針値を超えた場合の措置
※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度４）、５）により、測定を行う。
7)報告書の提出
※完了検査日までに報告書を提出する。

⑨ CALS/EC

本工事は、新潟県CALS/EC整備行動計画（アクションプログラム）に基づく電子納品対象工事であり、以下の各項により履行するものとする。
１ 請負者は、契約期間中に監督員と協議を行う場合、新潟県CALSシステム（以下「CALSシステム」という。）を利用して電子協議(注1)を行わなければならない。
２ 請負者は、CALSシステムを利用して、監督員との協議に従い工事完成図書の一部について、電子納品(注2)を行わなければならない。
３ 工事完成図書の提出方法および提出部数については、電子成果品としてＣＤ－Ｒ２部（枚）および紙による成果品として１部納品するものとする。なお、電子成果品のうち、「新潟県CALSシステムで交換された書類（打合せ簿等）」、「写真」、「参考図」については、電子成果物のみの納品とするが、それ以外の書類を電子成果品にて納品した場合は、紙による納品も追加するものとする。
４ 請負者は、CALSシステムを利用して電子協議および電子納品を行うため、インターネットが利用できる機器および電子納品のデータを作成するための機器を用意しなければならない。
５ 監督員が請負者に口頭・電話・電子メール等で指示等を行った場合、請負者は後日電子協議システムを通じ監督員の確認を得なければならない。
６ 請負者は、CALSシステムの利用料を、新潟県よりCALSシステム運営業務を受託している者（以下「運営者」という）に支払うこと。なお、新潟県CALSシステムの利用料として、設計書内に積上げ計上している。
７ CALSシステムの利用料を支払った時は、すみやかに監督員に支払の事実を報告し確認を受けること。また、支払いの事実を証明する書類（銀行振り込み控えの写し等）を工事完了時に提出すること。
８ 上記以外の電子協議および電子納品に関する詳細な事項については、受発注者協議にて定めるものとする。

電子検査　※実施する　・実施しない
電子検査に係わる詳細な事項については、別途県が公表する(注3)平成２２年度電子検査実施要領」による。

（注１）電子協議とは、指示・承諾・協議・提出・提示・報告・通知等を、電子化された書面及びその他資料（図書類）にて行うことをいう。
（注２）電子納品とは、工事完成図書等の最終成果を電子成果品として納品することをいう。ここでいう電子成果品とは、別途県が公表する(注4)新潟県土木部策定の「平成２２年度新潟県電子納品実施要領」に基づいて作成された電子データを指す。
（注３）新潟県CALS/ECホームページにて公表する。

10 中間技術検査

・本工事は、中間技術検査を１回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。
・低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を１回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

11 工事成績評定

請負者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。

⑫ 家屋調査

請負者は、発注者の提供する事前調査所を基に、
工事竣工後配置図に表記する家屋について、事後調査を行う。

⑬ 軽量鉄骨壁下地設計仕様

・ランナー材とスタッドの取付は、標準仕様書及び建築工事監理指針に規定する仕様とする。
建築工事監理指針に規定する上部ランナーとスタッド天端の隙間は10mm以下とする。

⑭ 軽量鉄骨天井下地設計仕様

設計用標準震度(Go)	天井内スペース 1.5m未満	1.5以上～2.5m未満	2.5m以上
1.0を超える	耐震天井1.5G仕様	耐震天井1.5G仕様	耐震天井1.5G仕様
※1		水平補強付き2段	鉄骨ぶどう棚(図9)
0.6を超え1.0以下	耐震天井1.0G仕様	耐震天井1.0G仕様	耐震天井1.0G仕様
		水平補強付き2段	鉄骨ぶどう棚(図9)
0.6以下	JIS規格品	JIS規格品	JIS規格品
		水平補強・斜の補強	水平補強・斜の補強

・耐震天井×Ｇ仕様については、天井仕上材の重量を考慮した仕様とする。
・耐震天井の斜め材補強（ブレース）設置数は、各下地メーカーの仕様により算定する。
・天井に設ける各スリット開口は、決定メーカーの仕様（変形角）により調整する。取扱いは最強な変更とする。
・天井内に設置する設備機器及び配管・配線等と天井下地材との大地震動時の干渉（振突）をなくす。
・天井下地が設備機器等の影響で、所定のピッチに吊ることが出来ない場合は監督員の指示による。
・天井面に凹凸、段差がある場合の天井下地は標準仕様書型軽量鉄骨天井下地による補強を行う。

⑮ 構造スリット部分仕上材取合い

・鉄筋コンクリート壁の構造スリットが内装材の下地になる部分の内装仕様は下記による。
・ＬＧＳを用い、構造スリットによる層間変位の影響がない仕様とする。
・石膏ボード等ＧＬ工法にて仕上げる部分には、壁、巾木、天井廻り縁に目地を設ける。
また、入隅部分にも、変形追従性を考慮した目地等を設ける。

発注者　三条市

株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design

履歴
version.090527

完成図作成（施工者名）　日付 ○○.○○.○○　管理技術者 ○○　担当者 ○○

完成図承諾　日付 ○○.○○.○○　監理者 ○○　担当者 ○○

法適合確認欄 構造設計一級建築士　横川 和人　証交付番号 第1145号　本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄 設備設計一級建築士　松尾 和彦　証交付番号 第1394号　本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

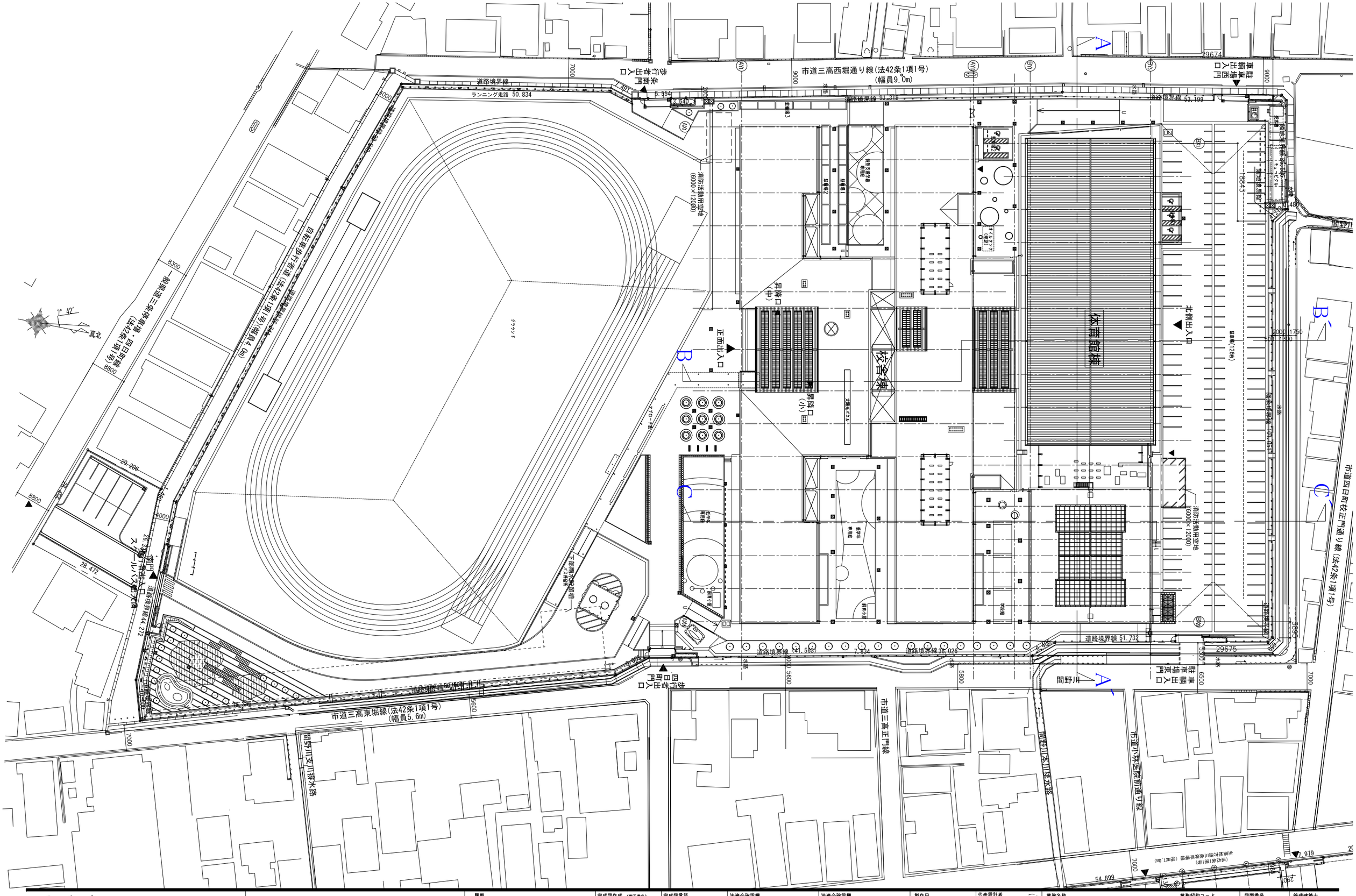
製作日 11.09.30

代表設計者 一級建築士 大臣登録第28153(6)号 長野 豊　日付 11.09.30
設計者 一級建築士 大臣登録第26070(4)号 野崎 寛司　担当者 小野寺 伸一

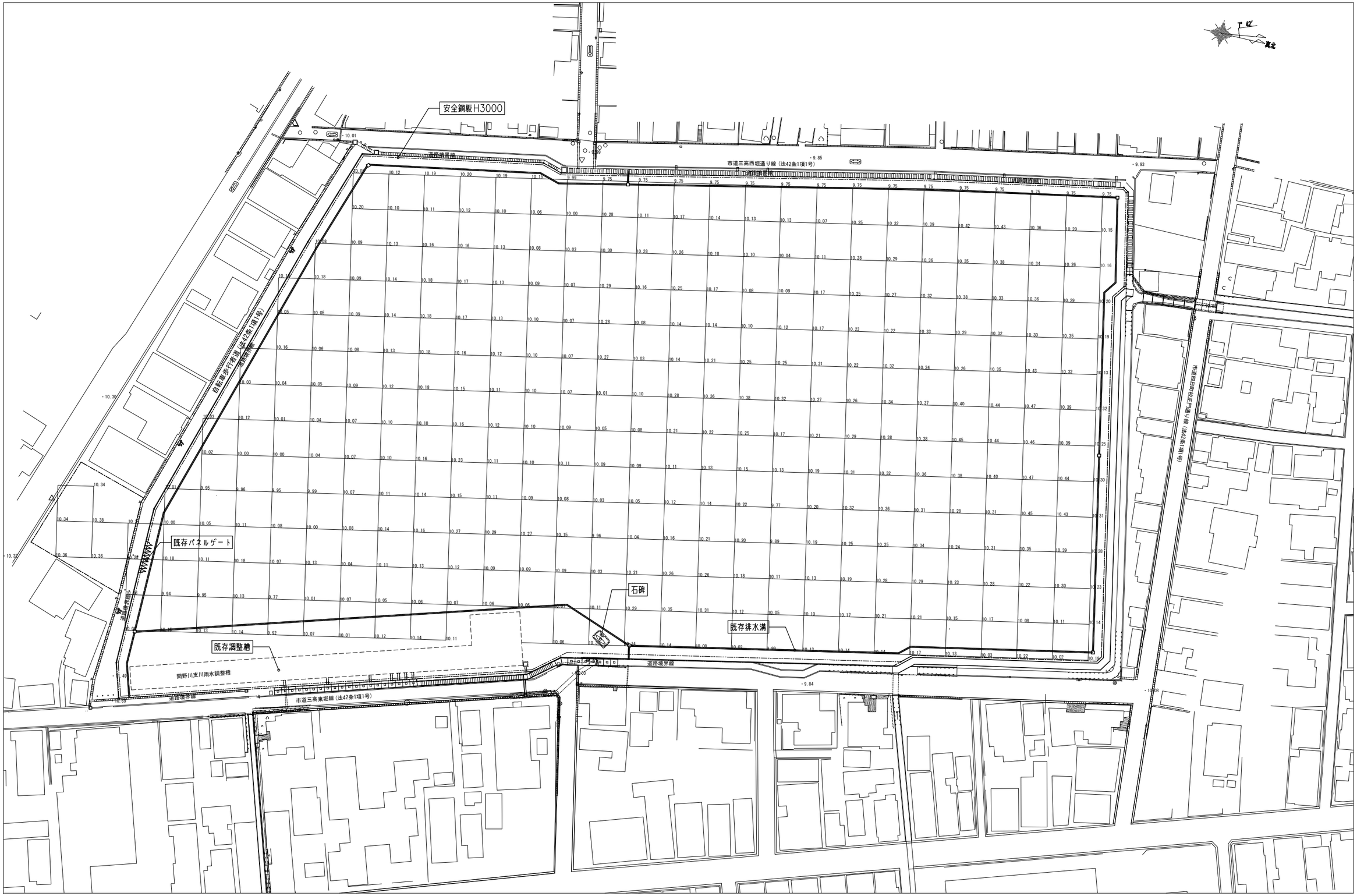
業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 体育館棟 建築本体工事
業務契約コード 104859-02
図面名称 建築工事　特記仕様書－4
縮尺 －

図面番号 SP－006

管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進



発注者 三条市	株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design	履歴 version.090527	完成図作成（施工者名） 日付 ○○.○○.○○ 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 橋川 和人 証交付番号 第1145号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 11.09.30	代表設計者 一級建築士 大臣登録第28536号 長野 豊 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第26070号 羽崎 雪司 担当者 小野寺 寿一	業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事 業務契約コード 104859-02 図面名称 配置図 縮尺 A1 S=1:400 A3 S=1:800	図面番号 A-001	管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進



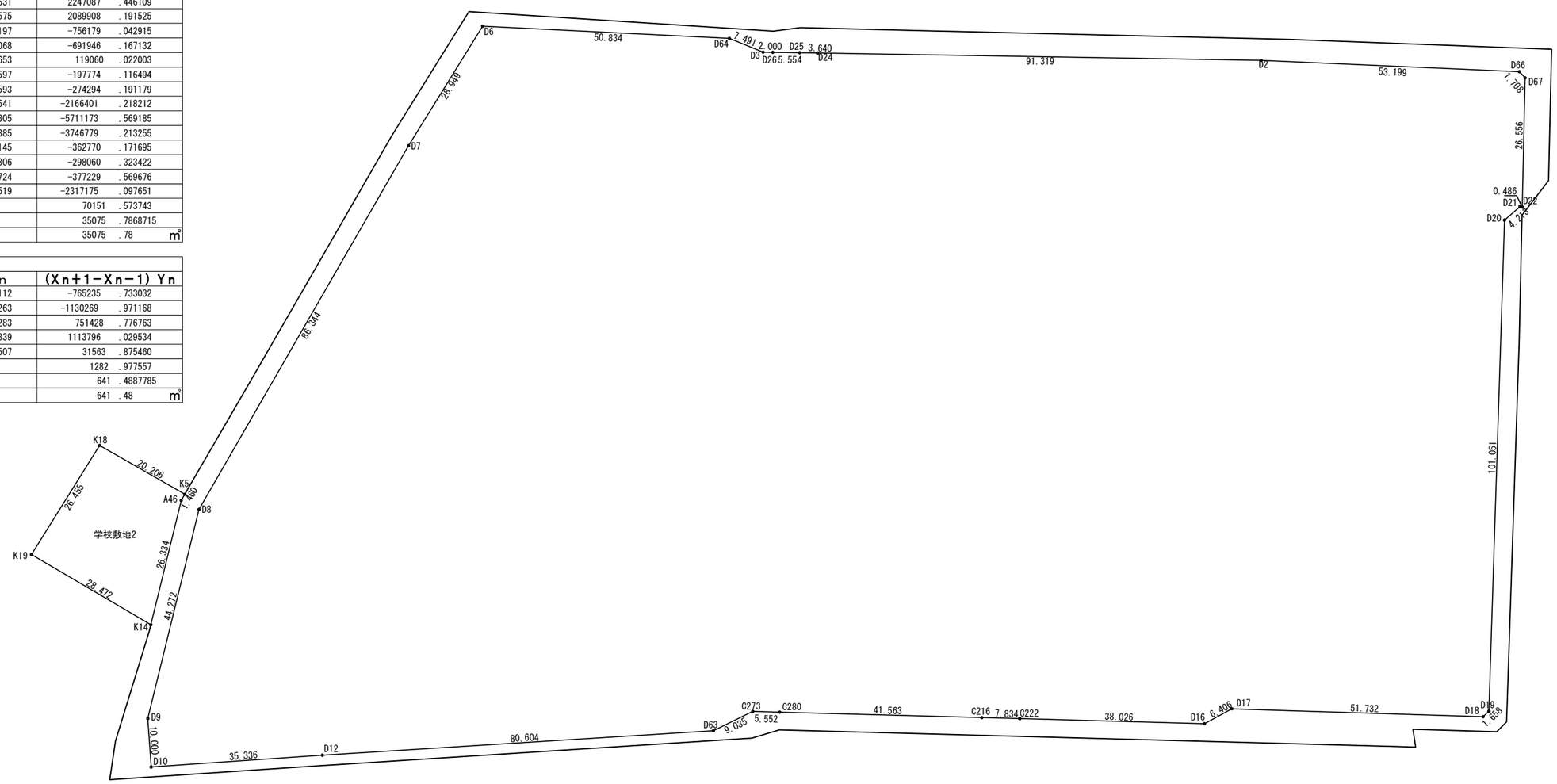
発注者 三条市	株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design	履歴 version.090527	完成図作成（施工者名） 日付 ○○.○○.○○ 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承諾 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 横川 和人 証交付番号 第1145号 本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 11.09.30	代表設計者 一級建築士 大臣登録第281536号 長野 豊 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 賀司 担当者 小野寺 伸一	業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事 業務契約コード 104859-02 図面名称 敷地現況図 縮尺 A1 S=1:500 A3 S=1:1000	図面番号 A-002	管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進

敷 地 求 積 図

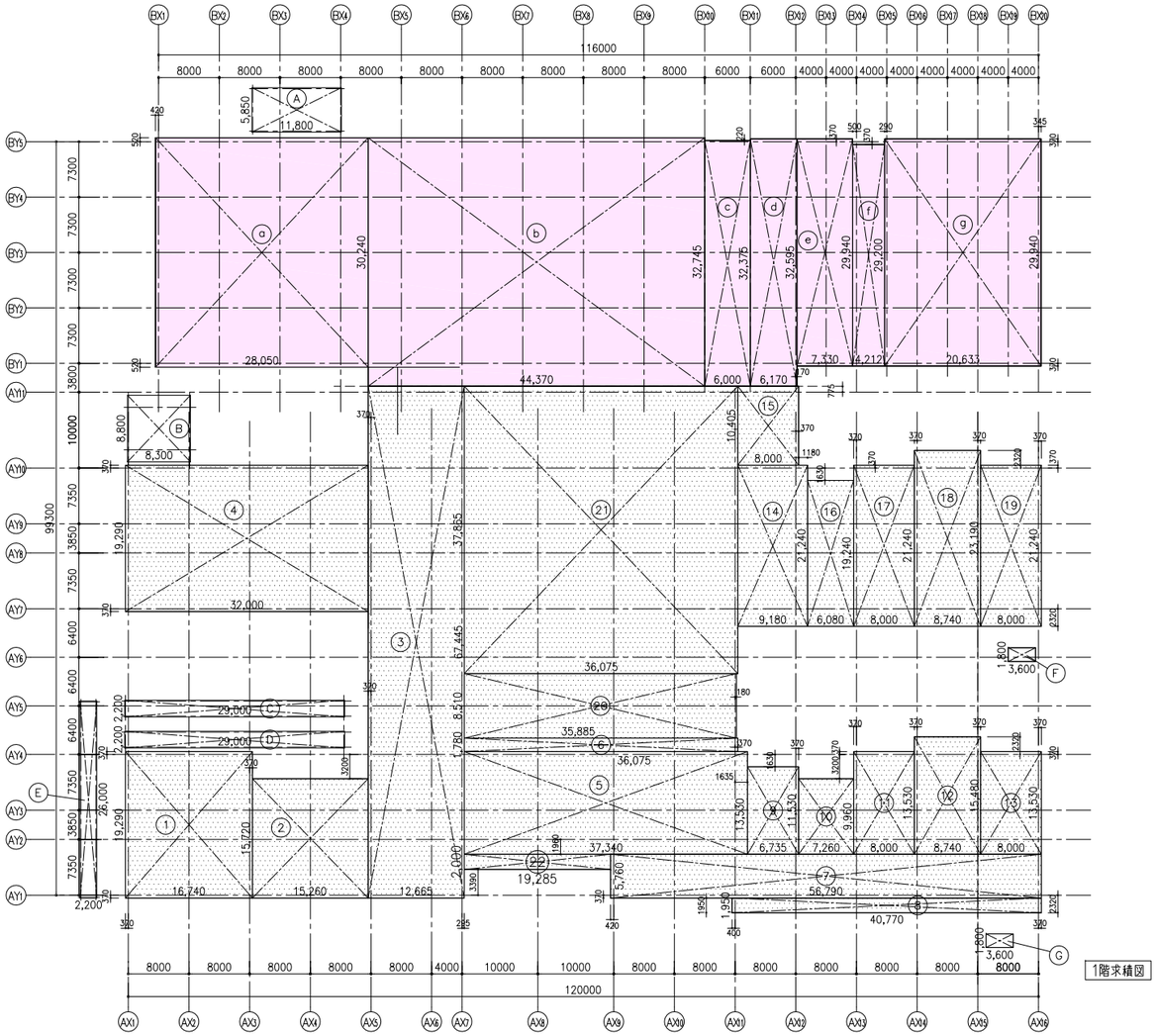
座標求積表

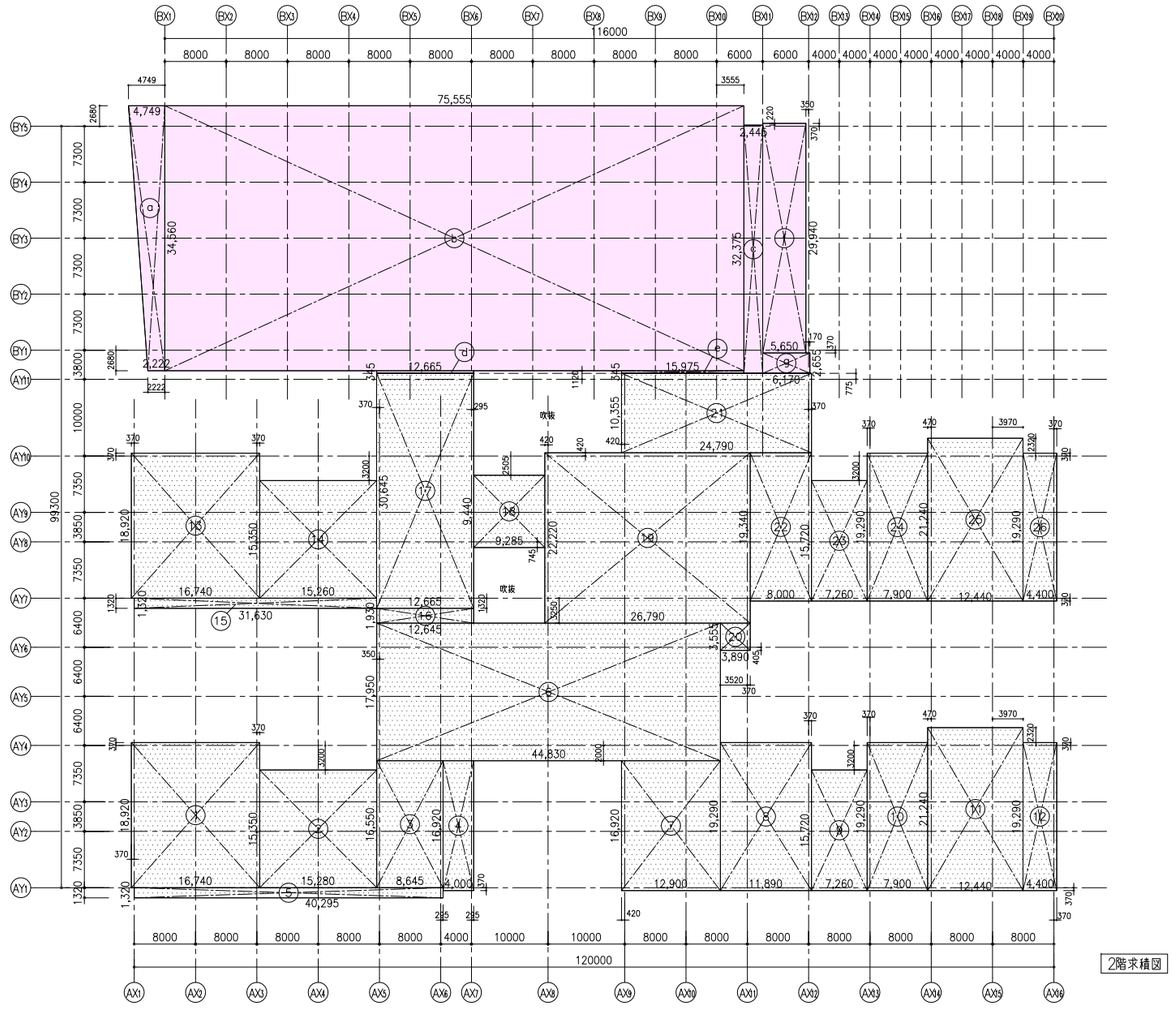
地番	学校敷地		
測点	Ｘｎ	Ｙｎ	(Ｘｎ＋1－Ｘｎ－1) Ｙｎ
D6	180096.047	40357.492	-2396145 .372516
D7	180086.710	40384.894	-1393803 .846622
D8	180061.534	40467.486	-1042604 .309304
D9	180060.946	40511.754	94108 .804542
D10	180063.857	40521.321	1487780 .821836
D12	180097.662	40511.034	4498952 .880870
D63	180174.912	40488.025	3411480 .498475
C273	180181.921	40482.324	504045 .416124
C280	180187.363	40481.222	1869382 .350738
C216	180228.100	40472.977	1959499 .181455
C222	180235.778	40471.423	1819109 .521004
D16	180273.048	40463.880	1702072 .648320
D17	180277.842	40459.631	2247087 .446109
D18	180328.587	40449.575	2089908 .191525
D19	180329.509	40448.197	-756179 .042915
D20	180309.892	40349.068	-691946 .167132
D21	180312.360	40345.653	119060 .022003
D22	180312.843	40345.597	-197774 .116494
D67	180307.458	40319.593	-274294 .191179
D66	180306.040	40318.641	-2166401 .218212
D2	180253.726	40328.305	-5711173 .569185
D24	180164.423	40347.385	-3746779 .213255
D25	180160.863	40348.145	-362770 .171695
D26	180155.432	40349.306	-298060 .323422
D3	180153.476	40349.724	-377229 .569676
D64	180146.083	40348.519	-2317175 .097651
		倍面積	70151 .573743
		面積	35075 .7868715
		地積	35075 .78 ㎡

地番	学校敷地2		
測点	Ｘｎ	Ｙｎ	(Ｘｎ＋1－Ｘｎ－1) Ｙｎ
K5	180057.977	40465.112	-765235 .733032
K18	180038.636	40459.263	-1130269 .971168
K19	180030.041	40484.283	751428 .776763
K14	180057.197	40492.839	1113796 .029534
A46	180057.547	40466.507	31563 .875460
		倍面積	1282 .977557
		面積	641 .4887785
		地積	641 .48 ㎡



発注者 三条市	株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design	履歴 version.090527	完成図作成（施工者名） 日付 ○○.○○.○○ 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 楠川 和人 証交付番号 第1145号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 11.09.30	代表設計者 一級建築士 大臣登録第281536号 長野 重 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司 担当者 小野寺 伸一	業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟　建築本体工事 業務契約コード 104859-02 図面名称 敷地求積図 縮尺 A1 S=1:500 A3 S=1:1000	図面番号 A-003	管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井　進

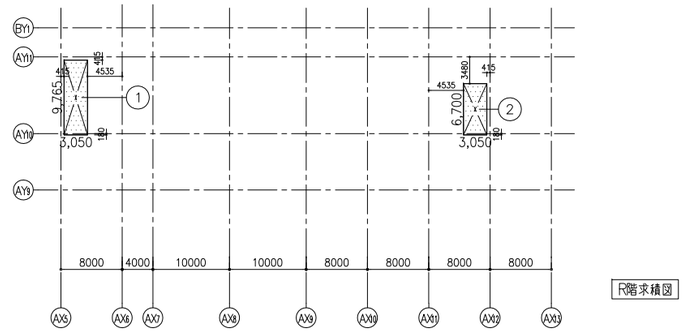




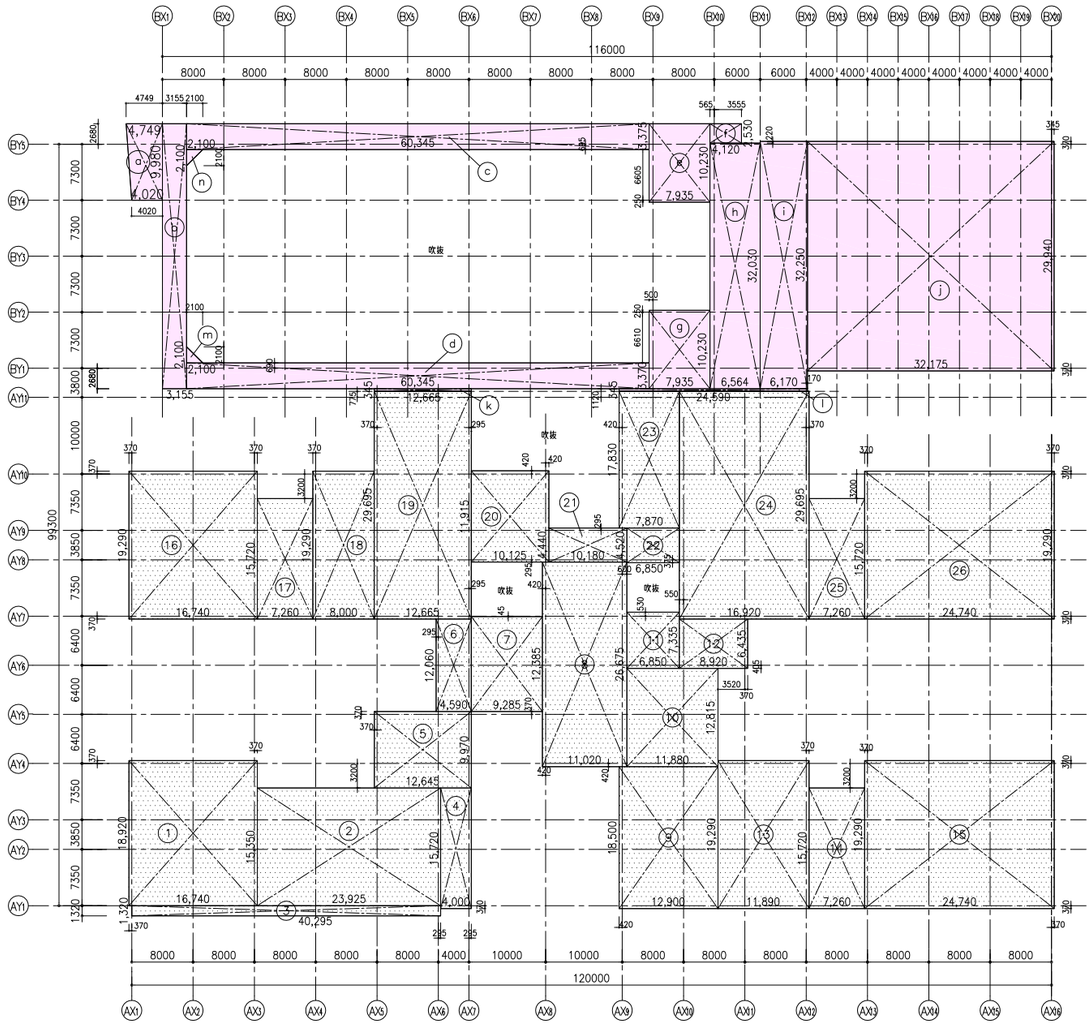
校舎棟

体育館棟

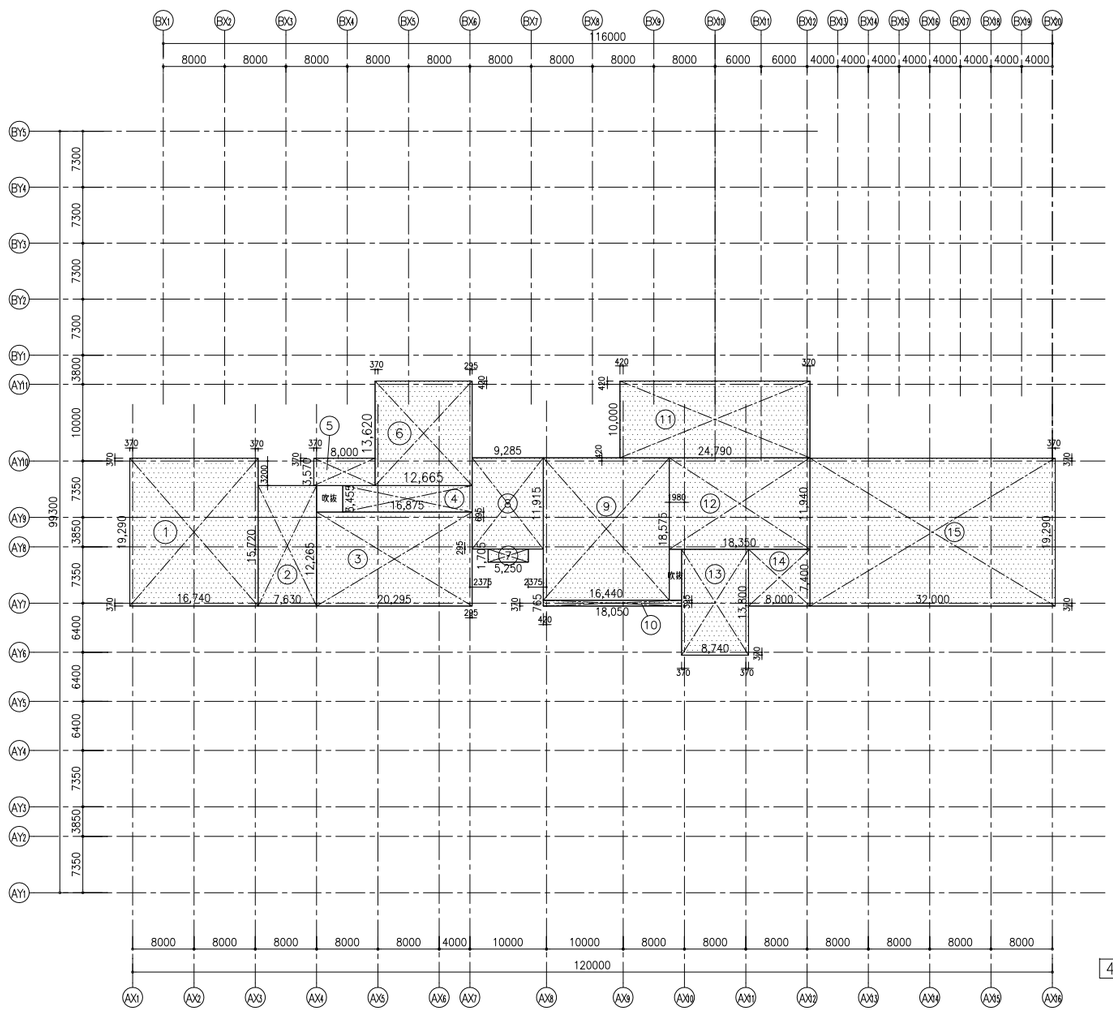
発注者 三条市	株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design	履歴 version.090527	完成図作成（施工者名） 日付 ○○.○○.○○ 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承諾 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 橋川 和人 証交付番号 第1145号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 11.09.30	代表設計者 一級建築士 大臣登録第28153号 長野 豊 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司 担当者 小野寺 伸一	業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事 業務契約コード 104859-02 図面名称 求積図・面積表－1 縮尺 A1 S=1:400 A3 S=1:800	図面番号 A-004	管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進



R階求積図



3階求積図



4階求積図

校舎棟

体育館棟

発注者 三条市	株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, inc. by Design	履歴 version.090527	完成図作成（施工者名） 日付 ○○.○○.○○ 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承認 日付 ○○.○○.○○ 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 楠川 和人 証交付番号 第1145号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 11.09.30	代表設計者 一級建築士 大臣登録第28536号 長野 豊 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司 担当者 小野寺 伸一	業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事 業務契約コード 104859-02 図面名称 求積図・面積表－2 縮尺 A1 S=1:400 A3 S=1:800	図面番号 A-005	管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進

1階ー校舎棟　求積表

記号	計算式	計(平米)
①	16.740 x 19.290	322.914
②	15.260 x 15.720	239.887
③	12.665 x 67.445	854.190
④	32.000 x 19.290	617.280
⑤	37.340 x 13.530	505.210
⑥	36.075 x 1.780	64.213
⑦	56.790 x 5.760	327.110
⑧	40.770 x 1.950	79.501
⑨	6.735 x 11.530	77.654
⑩	7.260 x 9.960	72.309
⑪	8.000 x 13.530	108.240
⑫	8.740 x 15.480	135.295
⑬	8.000 x 13.530	108.240
⑭	9.180 x 21.240	194.983
⑮	8.000 x 10.405	83.240
⑯	6.080 x 19.240	116.979
⑰	8.000 x 21.240	169.920
⑱	8.740 x 23.190	202.680
⑲	8.000 x 21.240	169.920
⑳	35.885 x 8.510	305.381
㉑	36.075 x 37.865	1,365.979
㉒	19.285 x 2.000	38.570
合計		6,159.695

2階ー校舎棟　求積表

記号	計算式	計(平米)
①	16.740 x 18.920	316.720
②	15.280 x 15.350	234.548
③	8.645 x 16.550	143.074
④	4.000 x 16.920	67.680
⑤	40.295 x 1.320	53.189
⑥	44.830 x 17.950	804.698
⑦	12.900 x 16.920	218.268
⑧	11.890 x 19.290	229.358
⑨	7.260 x 15.720	114.127
⑩	7.900 x 19.290	152.391
⑪	12.440 x 21.240	264.225
⑫	4.400 x 19.290	84.876
⑬	16.740 x 18.920	316.720
⑭	15.260 x 15.350	234.241
⑮	31.630 x 1.320	41.751
⑯	12.645 x 1.930	24.404
⑰	12.665 x 30.645	388.118
⑱	9.285 x 9.440	87.650
⑲	26.790 x 22.220	595.273
⑳	3.890 x 3.555	13.828
㉑	24.790 x 10.355	256.700
㉒	8.000 x 19.340	154.720
㉓	7.260 x 15.720	114.127
㉔	7.900 x 19.290	152.391
㉕	12.440 x 21.240	264.225
㉖	4.400 x 19.290	84.876
合計		5,412.178

3階ー校舎棟　求積表

記号	計算式	計(平米)
①	16.740 x 18.920	316.720
②	23.925 x 15.350	367.248
③	40.295 x 1.320	53.189
④	4.000 x 15.720	62.880
⑤	12.645 x 9.970	126.070
⑥	4.590 x 12.060	55.355
⑦	9.285 x 12.385	114.994
⑧	11.020 x 26.675	293.958
⑨	12.900 x 18.500	238.650
⑩	11.880 x 12.815	152.242
⑪	6.850 x 7.335	50.244
⑫	8.920 x 6.435	57.400
⑬	11.890 x 19.290	229.358
⑭	7.260 x 15.720	114.127
⑮	24.740 x 19.290	477.234
⑯	16.740 x 19.290	322.914
⑰	7.260 x 15.720	114.127
⑱	8.000 x 19.290	154.320
⑲	12.665 x 29.695	376.087
⑳	10.125 x 11.915	120.639
㉑	10.180 x 4.440	45.199
㉒	6.850 x 4.520	30.962
㉓	7.870 x 17.830	140.322
㉔	16.920 x 29.695	502.439
㉕	7.260 x 15.720	114.127
㉖	24.740 x 19.290	477.234
合計		5,108.039

4階ー校舎棟　求積表

記号	計算式	計(平米)
①	16.740 x 19.290	322.914
②	7.630 x 15.720	119.943
③	20.295 x 12.265	248.918
④	16.875 x 3.455	58.303
⑤	8.000 x 3.570	28.560
⑥	12.665 x 13.620	172.497
⑦	5.250 x 1.705	8.951
⑧	9.285 x 11.915	110.630
⑨	16.440 x 18.575	305.373
⑩	18.050 x 0.765	13.808
⑪	24.790 x 10.000	247.900
⑫	18.350 x 11.940	219.099
⑬	8.740 x 13.800	120.612
⑭	8.000 x 7.400	59.200
⑮	32.000 x 19.290	617.280
合計		2,653.988

R階ー校舎棟　求積表

記号	計算式	計(平米)
①	3.050 x 9.765	29.783
②	3.050 x 6.700	20.435
合計		50.218

駐車場1ー求積表

記号	計算式	計(平米)
Ⓐ	11.800 x 5.850	69.030
合計		69.030

駐車場2ー求積表

記号	計算式	計(平米)
Ⓑ	8.300 x 8.800	73.040
合計		73.040

駐輪場1ー求積表

記号	計算式	計(平米)
Ⓒ	29.000 x 2.200	63.800
合計		63.800

駐輪場2ー求積表

記号	計算式	計(平米)
Ⓓ	29.000 x 2.200	63.800
合計		63.800

駐輪場3ー求積表

記号	計算式	計(平米)
Ⓔ	2.200 x 26.000	57.200
合計		57.200

飼育小屋1ー求積表

記号	計算式	計(平米)
Ⓕ	3.600 x 1.800	6.480
合計		6.480

飼育小屋2ー求積表

記号	計算式	計(平米)
Ⓖ	3.600 x 1.800	6.480
合計		6.480

1階ー体育館棟　求積表

記号	計算式	計(平米)
ⓐ	28.050 x 30.240	848.232
ⓑ	44.370 x 32.745	1,452.895
ⓒ	6.000 x 32.375	194.250
ⓓ	6.170 x 32.595	201.111
ⓔ	7.330 x 29.940	219.460
ⓕ	4.212 x 29.200	122.990
ⓖ	20.633 x 29.940	617.752
合計		3,656.690

2階ー体育館棟　求積表

記号	計算式	計(平米)
ⓐ	(2.222 + 4.749) x 34.560 / 2	120.458
ⓑ	75.555 x 34.560	2,611.180
ⓒ	2.445 x 32.375	79.156
ⓓ	12.665 x 0.345	4.369
ⓔ	15.975 x 0.345	5.511
ⓕ	5.650 x 29.940	169.161
ⓖ	6.170 x 2.655	16.381
合計		3,006.216

3階ー体育館棟　求積表

記号	計算式	計(平米)
ⓐ	(4.020 + 4.749) x 9.980 / 2	43.757
ⓑ	3.155 x 34.560	109.036
ⓒ	60.345 x 3.375	203.664
ⓓ	60.345 x 3.370	203.362
ⓔ	7.935 x 10.230	81.175
ⓕ	4.120 x 2.530	10.423
ⓖ	7.935 x 10.230	81.175
ⓗ	6.564 x 32.030	210.244
ⓘ	6.170 x 32.250	198.982
ⓙ	32.175 x 29.940	963.319
ⓚ	12.665 x 0.345	4.369
ⓛ	24.590 x 0.345	8.483
ⓜ	2.100 x 2.100 / 2	2.205
ⓝ	2.100 x 2.100 / 2	2.205
合計		2,122.399

棟別床面積

階数	校舎棟	体育館棟	駐車場1	駐車場2	駐輪場1	駐輪場2	駐輪場3	飼育小屋1	飼育小屋2
1階	6,159.70 m2	3,656.69 m2	69.03 m2	73.04 m2	63.80 m2	63.80 m2	57.20 m2	6.48 m2	6.48 m2
2階	5,412.18 m2	3,006.22 m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
3階	5,108.04 m2	2,122.40 m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
4階	2,653.99 m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
R階	50.22 m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
延床面積	19,384.13 m2	8,785.31 m2	69.03 m2	73.04 m2	63.80 m2	63.80 m2	57.20 m2	6.48 m2	6.48 m2
延床面積計									28,509.27 m2

発注者　三条市

株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design

履歴

version.090527

完成図作成（施工者名）　日付 ○○.○○.○○　管理技術者 ○○ ○○　担当者 ○○ ○○

完成図承認　日付 ○○.○○.○○　監理者 ○○ ○○　担当者 ○○ ○○

法適合確認欄　構造設計一級建築士　橋川 和人　証交付番号 第1145号　本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄　設備設計一級建築士　松尾 和彦　証交付番号 第1394号　本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

製作日　11.09.30

代表設計者　一級建築士 大臣登録第28153(6)号 長野 豊　日付 11.09.30　設計者　一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司　担当者 小野寺 伸一

業務名称　三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設　校舎棟　建築本体工事

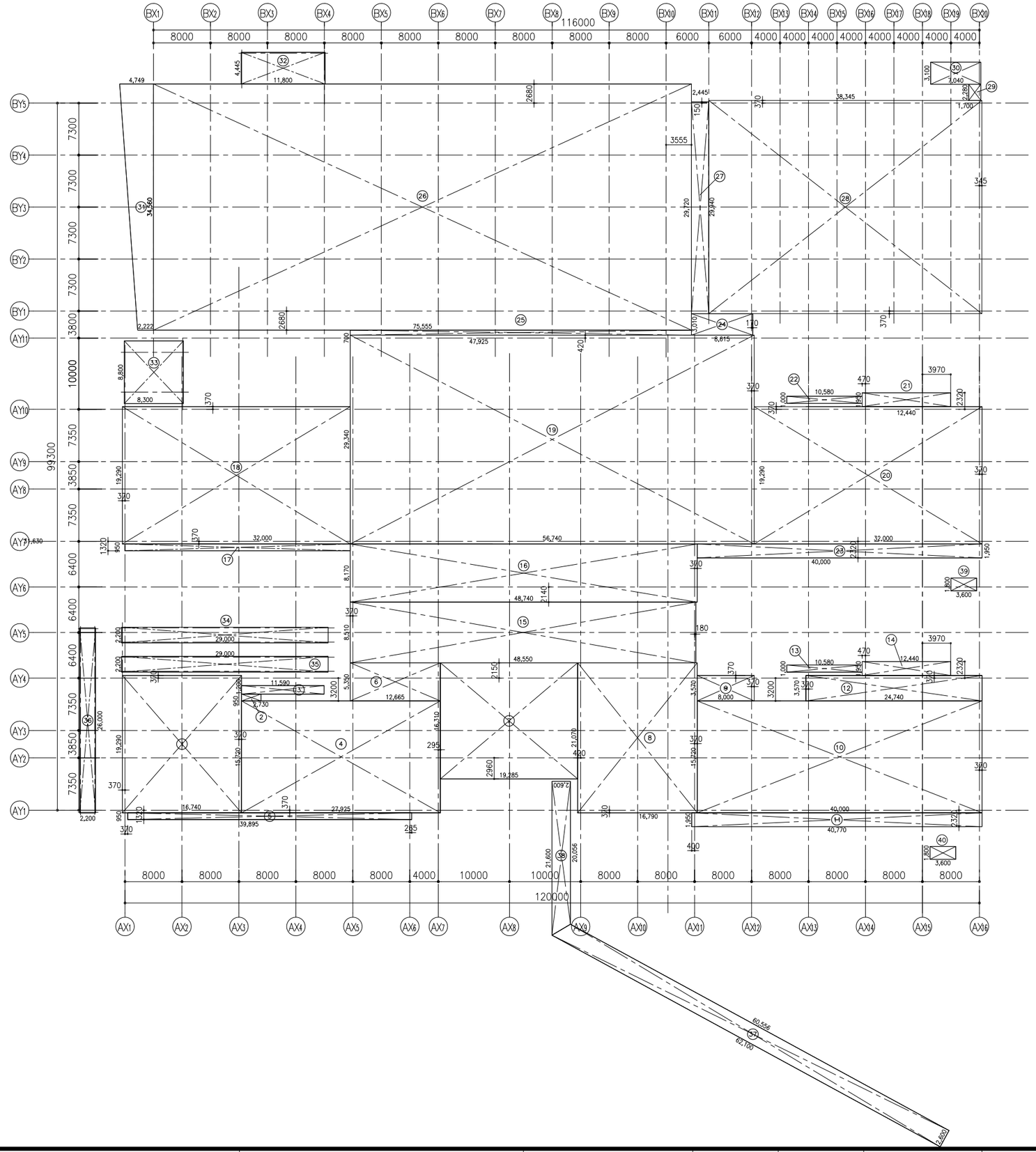
業務契約コード　104859-02

図面名称　求積図・面積表－3

縮尺　A1 S=1:400　A3 S=1:800

図面番号　A-006

管理建築士　一級建築士　登録第164447号　藤井 進



建築面積

記号	計算式	計(平米)
①	16.740 x 19.290	322.914
②	2.730 x 0.950	2.593
③	11.590 x 1.200	13.908
④	27.925 x 15.720	438.981
⑤	39.895 x 0.950	37.900
⑥	12.665 x 5.350	67.757
⑦	19.285 x 16.310	314.538
⑧	16.790 x 21.070	353.765
⑨	8.000 x 3.570	28.560
⑩	40.000 x 15.720	628.800
⑪	40.770 x 1.950	79.501
⑫	24.740 x 3.570	88.321
⑬	10.580 x 1.000	10.580
⑭	12.440 x 1.950	24.258
⑮	48.550 x 8.510	413.160
⑯	48.740 x 8.170	398.205
⑰	31.630 x 0.950	30.048
⑱	32.000 x 19.290	617.280
⑲	56.740 x 29.340	1,664.751
⑳	32.000 x 19.290	617.280
㉑	12.440 x 1.950	24.258
㉒	10.580 x 1.000	10.580
㉓	40.000 x 1.950	78.000
㉔	3.010 x 8.615	25.931
㉕	0.700 x 47.925	33.547
㉖	75.555 x 34.560	2,611.180
㉗	29.720 x 2.445	72.665
㉘	29.940 x 38.345	1,148.049
㉙	1.700 x 2.280	3.876
㉚	7.040 x 3.100	21.824
㉛	(4.749 + 2.222) x 34.560 / 2	120.458
合計		10,303.468

10,303.47平米

駐車場1

記号	計算式	計(平米)
㉜	11.800 x 4.445	52.451
合計		52.451

52.46平米

駐車場2

記号	計算式	計(平米)
㉝	8.300 x 8.800	73.040
合計		73.040

73.04平米

駐輪場1

記号	計算式	計(平米)
㉞	29.000 x 2.200	63.800
合計		63.800

63.80平米

駐輪場2

記号	計算式	計(平米)
㉟	29.000 x 2.200	63.800
合計		63.800

63.80平米

駐輪場3

記号	計算式	計(平米)
㊱	2.200 x 26.000	57.200
合計		57.200

57.20平米

アプローチ部

記号	計算式	計(平米)
㊲	(60.556 + 62.100) x 2.600 / 2	159.452
㊳	(20.056 + 21.600) x 2.600 / 2	54.152
合計		213.604

213.61平米

銅青小屋1

記号	計算式	計(平米)
㊴	3.600 x 1.800	6.480
合計		6.480

6.48平米

銅青小屋2

記号	計算式	計(平米)
㊵	3.600 x 1.800	6.480
合計		6.480

6.48平米

建築面積　合計　10,840.34平米

発注者　三条市

株式会社 石本建築事務所 by Design
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.

履歴

version.090527

完成図作成（施工者名）
日付 ○○.○○.○○
管理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士
横川 和人
証交付番号 第1145号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄
設備設計一級建築士
松尾 和彦
証交付番号 第1394号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

製作日 11.09.30

代表設計者
一級建築士 大臣登録第28153号
長野 亘
日付 11.09.30
設計者
一級建築士 大臣登録第260704号
野崎 寛司
担当者 小野寺 伸一

業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設
校舎棟　建築本体工事
業務契約コード 104859-02

図面名称 建築面積求積図・求積表
縮尺 A1 S=1:300 A3 S=1:600

図面番号 A-007

管理建築士
一級建築士
登録第164447号
藤井 進

図中の記号略号	特記事項（図中、特に表示が無くとも適用する。）
1.主に使用される記号・略号を下記に示す。	【躯体工事】
・ベンチマーク　BM	・特記無きｺﾝｸﾘｰﾄ打放しは、外壁増打 t20、内壁 t10とし、表面のｹﾚﾝ及びﾓﾙﾀﾙ補修を行う。また型枠緊結金物はｺｰﾝ状とし、既製ｾﾒﾝﾄ系充填用ｺｰﾝを充填する。
・基準地盤面(平均地盤面)　GL	・打放部分の見えがかり出隅はﾋﾟﾝ角とする。
・基準床面(仕上げ面)　FL	・防水押えのｺﾝｸﾘｰﾄには、溶接金網 φ6.0－100×100を打込む。
・基準床躯体面(スラブ上面)　SL	・梁にかかるﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ及び床見切・沓摺金物等を取付る場合には、図中指示が無くとも必要な高さまで梁を下げる。
・東京湾中等潮位(参考資料内) TP	【防水工事】
・大阪湾最低標準潮位　OP	・屋外において異なる材料の取合部分及びｼﾞｮｲﾝﾄ部分には、すべてｼｰﾘﾝｸﾞ(仕様書9.6.2)を充填する。図示
・幅表示の頭記号　W	【金属工事】
・高さ表示の頭記号　H	・屋外の鋼製部分は特記無き限り溶融亜鉛ﾒｯｷの上指定の仕上を行うものとする。
・長さ表示の頭記号　L	・異なる床仕上材の取合い部分には、ｽﾃﾝﾚｽ目地棒を取付ける。
・厚さ　t　・奥行き　D	・異なる金属が取合う部分で電食の恐れがある場合は、防触処理を行う。
・直径　φ　・半径　r	【左官工事】
・間隔　@　・中心線　C	・CB及びALC下地のﾓﾙﾀﾙ塗はｺﾝｸﾘｰﾄ下地ﾓﾙﾀﾙ塗との取合部分にt10の隠し目地を設ける。隠し目地は、ｼｰﾘﾝｸﾞ材充填の上無収縮ﾓﾙﾀﾙにて平滑に仕上げる。
・縮尺　S=1:＊＊＊	・CB等、亀裂の発生が予想される部分に、亀裂防止用ｶﾞﾗｸﾛｽ等の捨張を行う。
・天井高さ(平均天井高さ)　CH	【塗装工事】
2.記号・略号の室名・材料名等を下記に示す。	・壁面、天井面の塗装は特記無き限りﾛｰﾗｰ仕上とする。但しﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板に塗装を行う場合はｼｰﾗｰ処理の上吹付塗装とする。
・ダクトスペース　DS（ダクト配管を行う）	・特記無き限り、屋外の化粧ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面には特殊撥水性ｼﾘｺﾝ樹脂系ｸﾘｱｰ(ｱｸｱﾌﾟﾘｽﾞﾑ程度)塗装を行う。
・エアーダクト　AD（躯体ダクト）	・ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ下のｺﾝｸﾘｰﾄ床面には、防塵塗装を行う。
・電気配管スペース　EPS	【内装工事】
・パイプスペース　PS	・遮音が必要な間仕切は、下地及びﾎﾞｰﾄﾞをｽﾗﾌﾞ又は梁下端まで立上げ、躯体等取合部は気密を目的としたシーリング（PU-2)を行う。
・排煙ダクトスペース SMD	・遮音が必要な間仕切に設ける設備類の貫通部処理は壁同等の所要性能を確保（設備工事）する。
・エレベーター　ELV	・ｸﾛｽ下地のせっこうﾎﾞｰﾄﾞ及び繊維混入珪酸ｶﾙｼｳﾑ板は、ｼﾞｮｲﾝﾄ部分をﾊﾟﾃ等で段差の生じないように仕上げる。
・ダムウエーター　DW	・塗装下地のせっこうﾎﾞｰﾄﾞの下地処理は、継目処理工法とする。
・エスカレーター　ESC	・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張りの出隅・入隅ｺｰﾅｰ部分は、ｺｰﾅｰﾃｰﾌﾟ補強の上ﾊﾟﾃ処理を行う。
・ユニットバス　UB	・床のﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ、ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ、ｺﾞﾑﾀｲﾙ等は竣工引渡し時に再度樹脂ﾜｯｸｽ仕上を行う。
・掃除用流し　SK	・内装材料は、法的制限が無い場合においても、特記無き限り下記防火材料一覧表に指定されたものを使用する。
・ルーフドレイン　RD	・異種材料が同一平面で仕上がる場合には伸縮調整目地を設ける。(壁：石膏ﾎﾞｰﾄﾞ面と左官面等)
・エキスパンションジョイント　Expj	上記目地は特記が無い場合でも、床はｽﾃﾝﾚｽ目地棒（金属工事）とし、壁・天井は塩ﾋﾞ目地棒を使用するものとする。
・プレキャストコンクリート　PC	・ALC下地へのせっこうボード等GL工法は行なわない。
・コンクリートブロックCB	・異なる下地に、GL工法による同一仕上とする場合には、下地区分に応じて伸縮調整目地を設ける事。
・軽量気泡コンクリートパネル　ALC	・CH=2700以下の場合、壁面のせっこうﾎﾞｰﾄﾞは３×８又は３×９の１枚物を使用し、水平ｼﾞｮｲﾝﾄは設けない事。
・押出成形セメント板　ECP	・CH=2700を超える場合、水平ｼﾞｮｲﾝﾄは位置・仕様を監理者と協議をすること。
・配管用亜鉛メッキ鋼管　SGP	・原則として外部に面するｽﾗﾌﾞ及び壁、梁型には断熱材を施す。（外壁より水平1m以内）
・硬質塩化ビニル管　VP	断熱材は壁及び梁は吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材（ﾉﾝﾌﾛﾝ） t25とし、ｽﾗﾌﾞはﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材t25打込とする。
・構造用鋼管　STK	左官下地の場合はt25木毛ｾﾒﾝﾄ板打込とする。
・フラットバー　FB	・内部壁仕上に於て、RC下地砂壁状吹付等と記入されている場合でも、断熱材のある部分はt12.5せっこうﾎﾞｰﾄﾞGLの上全面寒冷沙張とする。
・スチール　S	・内装材料は、F-☆☆☆☆ものを使用する。
・プレート(鋼板)　PL	・告示1436号 第4項ハ(4)(表中④)に使用するせっこうﾎﾞｰﾄﾞt9.5は普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R-H)とする。
・ステンレススチール SUS	【その他】
・アルミニウム　AL	・遮音が必要とされる間仕切により区画した部屋では、完成検査前に要求される性能が有る事を請負者が確認し監督員に報告する。
・真チュウ　BR	・外構排水枡に接続する樋～排水管までを本体工事とする。(接続は外構工事)

防火材料一覧表

・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ t9.5	(GB-R t9.5)	QM-9828
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ t12.5	(GB-R t12.5)	NM-8612
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ t9.5	(GB-NC)	NM-0441
・普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	(GB-R-H)	NM-9645
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	(GB-S)	QM-9826
・不燃ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	(不GB-S)	NM-9639
・繊維強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	(GB-F)	NM-8615
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	(GB-D)	QM-9824
・不燃化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	(不GB-D)	NM-0441
・不燃化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(木目)	(不GB-DW)	QM-9827
・吸音用あなあきせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	(GB-P)	QM-9827
・繊維混入石膏板(ｴﾌｼﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ)	(FG)	NM-9028
・繊維強化ｾﾒﾝﾄ板(ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ)		NM-8576
・ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板		NM-8578
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	(DR)	NM-8599
・塗料（塗料塗装/不燃材料）		NM-8585
・複層模様吹付材		QM-9812
・複層模様吹付材（不燃）		NM-8572
・ﾛｯｸｳｰﾙ吹付		NM-8601
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ		NM-8605
・木毛ｾﾒﾝﾄ板		QM-9701
・木毛ﾊﾟｰﾗｲﾄｾﾒﾝﾄ板（不燃）		NM-234～237
・ビニルクロス　不燃認定品		
※ 壁装材料の認定番号は指定ﾒｰｶｰによる		
・天然木不燃化粧板		NM-9340

各種記号凡例

SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ	DP	耐候性塗料 （旧 2-FUE）	WP	木材保護塗料
CL	ｸﾘﾔﾗﾝｶｰ	EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	MEB	ｱﾐﾉｱﾙｷﾄﾞ樹脂(ﾒﾗﾐﾝ)ｴﾅﾒﾙ焼付
FE	ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	AEB	ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ焼付
NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料	EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料	FCC	ﾌｯ素樹脂ｶﾗｰｸﾘﾔｰ
UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ	OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ	VP	塩化樹脂ｴﾅﾒﾙ
C	ｺﾝｸﾘｰﾄ木ｺﾃ押え	C化粧	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(2)打放し型枠	LGS	軽量鉄骨壁下地
Cｺﾃ	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え	C塗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(2)打放し塗装型枠	CB	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ
Cﾏﾏ	ｺﾝｸﾘｰﾄ型枠外しのまま	M	ﾓﾙﾀﾙ木ｺﾃ下地		
C打放	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(1)普通型枠	M ｺﾃ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地		

耐火及び遮音材料等指定リスト

【外壁1時間耐火（非耐力壁）】・ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.6+ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑt30+硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板t25　FP060NE-0050	
【間仕切壁（1時間耐火），114条区画】	【耐火被覆材】
・GB-F t21(下張)+GB-F t21(上張) 片面張　FP060NP-0007	・校舎棟-低学年部鉄骨柱
・GB-Ft12.5(下張)+GB-R-H t9.5(上張) 両面張　FP060NP-0259	半湿式吹付ﾛｯｸｳｰﾙ　1時間・25mm　FP060CN-9460
・GB-Ft12.5(下張)+GB-R-H t9.5(上張) 両面張（遮音）　FP060NP-0200	・校舎棟-低学年部鉄骨梁、体育館棟-階段6鉄骨梁
・GB-Ft21(下張)+GB-R-H t9.5(上張) 両面張（遮音）　FP060NP-0198	半湿式吹付ﾛｯｸｳｰﾙ　1時間・25mm　FP060BM-9408
【30分耐火（屋根）】	（半湿式吹付ﾛｯｸｳｰﾙ：ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ・ﾌﾟﾛﾊﾟｽﾄR-S）
・ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.6+ﾙｰﾌｨﾝｸﾞﾟ+木片ｾﾒﾝﾄ板t15+15	・体育館棟-階段6鉄骨柱　外部用耐火塗料　1時間
+ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑt50　（平葺金属屋根）　FR030RF-0164	○-267.4×12 t=2.00　FP060CN-9472
・折板屋根A（無機質高充填ﾌｫｰﾑﾌﾟﾗｽﾁｯｸ貼）　FR030RF-9326	・体育館棟-階段6鉄骨梁　外部用耐火塗料　1時間
【耐火構造製品】	H-340x250x9x14 t=1.50　FP060BM-9419
・EXP-J　日本ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ工業会　耐火1時間仕様	H-350x175x7x11 t=1.75　FP060BM-9419
【特定防火設備等】	H-300x150x6.5x9 t=1.75　FP060BM-9419
ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ扉：　EV1：CAS 0520，EV2：CAS 0357	H-250x125x6x9 t=1.75　FP060BM-9419
ｼｬｯﾀｰ：　CAS0420(扉付鋼製ｼｬｯﾀｰ),EA0212（扉付ｼｰﾄﾞｼｬｯﾀｰ）	H-194x150x6x9 t=1.75　FP060BM-9419
【耐熱強化ガラス建具　EA0120	（耐火塗料:ｴｽｹｰ化研・ｴｽｹｰ耐火ｺｰﾄ）

仕上材料名表示凡例 （材料名は同等品とする）

	表示名	標準仕様・寸法等及び材料名
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	t7.0 500×500(ﾀｼﾞﾏ:ﾀﾋﾞｽﾃｯｾﾝ)
	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	t6.5 500×500(ﾀｼﾞﾏ:ﾀﾋﾞｽｾﾚｸﾄ)
	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	t2.8(ﾀｼﾞﾏ:ACﾌﾛｱ)
	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄB	t2.0(ﾀｼﾞﾏﾊﾞｰﾏﾘｭｰﾑｾﾐ)
	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	防滑性ｼｰﾄt2.9(ﾀｷﾛﾝ･ﾀｷｽﾄﾛﾝMT)
	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	t12,t15×303×1818 ﾅﾗ
	OAﾌﾛｱ	H100(ナカニ:IBﾌﾛｱｰ AN-SP)
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ	ﾌｸﾋﾞ:ﾌﾘｰﾌﾛｱCP
	合成樹脂塗床	ｴﾎﾟｷｼ系塗床(ABC商会：ｹﾐｸﾘｰﾄE)
	防塵塗床	ｳﾚﾀﾝ系塗床（関西ﾍﾟｲﾝﾄ:ｶﾝﾍﾟﾌﾛｱ400）
	ﾀｲﾙC	磁器質t9.0 144x144施釉（INAX：ｱﾙｽ）
	ﾀｲﾙD	磁器質t9.0 145x145施釉（INAX：ﾌｫｽｷｰ）
	ﾀｲﾙE	磁器質t9.0 295x295施釉（INAX：ｸﾛｽﾘｰﾈ）
	ﾀｲﾙF	磁器質t7.0 100x100施釉（INAX：ﾐﾙﾙﾌﾛｱ）
	畳	t55 ｽﾀｲﾛ畳
	洗出し床	空練ﾓﾙﾀﾙ1:3 種石30φ中級程度 ﾃﾞｯｷﾌﾞﾗｼ処理
	再生木ﾃﾞｯｷ床	樹脂製束立・鋼製根太下地 t30再生木ﾃﾞｯｷ床
		（日新工業:PFｽﾀﾝﾄﾞ・PFｳｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ）
防水	屋根露出防水絶縁断熱工法	（東西ｱｽ仕様：SX-920G）
	塗膜防水1	（ﾊﾟﾗﾃｯｸｽ:C-4工法）
	塗膜防水2	（ﾊﾟﾗﾃｯｸｽ:C-1工法）
	塗膜防水3	（ﾊﾟﾗﾃｯｸｽ:A-4工法）
	塗膜防水4	（ﾊﾟﾗﾃｯｸｽ:B-1工法）
	ｾﾒﾝﾄ系塗膜防水	（保土ヶ谷ﾊﾞﾝﾃﾞｯｸｽ:BE-6工法）
	超速硬化ｳﾚﾀﾝ複合防水t3	（ﾀﾞｲﾌﾚｯｸｽ：UPM-10工法）
巾木	PVC	ｿﾌﾄ巾木HB型(ﾀｼﾞﾏ)
	木	ナラ程度 UC
	石	御影石 G355 水磨き

	表示名	標準仕様・寸法等及び材料名
壁	内装壁ﾀｲﾙ	陶器質t5 100角施釉 接着張り
		（ﾀｲﾙA：INAX・ﾐｽﾃｨｷﾗﾐｯｸ ﾌﾞﾗｲﾄ釉）
	塗装ケイカル板	t6（DIC：ﾌｧﾝｼﾘｯﾄﾞｶﾗｰ）
	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ	t50 32kg/㎥ GC貼 断熱ピン押え
	天然木化粧ｼｰﾄ貼合板	ﾎｸｻﾝｻﾝﾌｯﾄﾜﾝﾎﾜｲﾄｵｰｸ同等
	高耐摩耗不燃化粧板	（ｱｲｶ:ﾏｰﾚｽ不燃）
	ｼﾅﾍﾞﾆﾔCL	ｼﾅﾍﾞﾆﾔt5.5 CL 接着張
	有孔ｼﾅﾍﾞﾆﾔCL	有孔ｼﾅﾍﾞﾆﾔt9.0 CL
	OSB合板	（ｸﾛﾊﾞｰﾙ社同等品）
外装	防水形複層仕上塗材E	ふっ素樹脂塗料仕上 平吹（ｽﾌﾟﾚｰ）
		（日本ﾍﾟｲﾝﾄ:ｵｰﾃﾞﾌﾚｯｼｭF-100Ⅲ）
	外壁複合ﾊﾟﾈﾙ	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.6 平葺仕上
		下地：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5+透湿防水ｼｰﾄ+高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板t25
		+ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑt30　（ｲｰﾙﾌ:ﾌﾞﾛﾑﾅｰﾙｰﾌT）
	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ材	t1.0・見込13・働き巾120（理研：RA44）
	再生木材	t20×w145 木材・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ再生複合材(WPC:SW-05)
屋根	金属平葺屋根	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.6 平葺仕上
		下葺材:ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞﾟt1.0 野地板:硬質木片セメント板t15+15
		断熱材:ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑt50 （ｲｰﾙﾌ:ﾌﾞﾛﾑﾅｰﾙｰﾌF）
	折板屋根A ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t1.0（三晃金属：丸馳折板1型）	
	折板屋根B ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t1.0（JFE日建板：日輪折板V-500）	
	折板屋根C ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t1.0（JFE日建板：日輪ルーフデッキ）	
	（ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板：塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板）	
	吊り屋根（屋根・天井一体型立はぜ葺） ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t1.0	
	（ｲｰﾙﾌ:ﾊｰﾊﾞｰｽﾞｽﾄﾛﾝｸﾞﾙｰﾌ300C）	

	表示名	標準仕様・寸法等及び材料名
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	t9.5（吉野石膏：ｼﾞｭﾄｰﾝ）
	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	t9.5（吉野石膏：ﾀｲｶﾞｰｽｸｴｱﾄｰﾝD）
	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞC	t9.5（吉野石膏：不燃ｼﾞｭﾄｰﾝ）
	岩綿吸音板A	t9 平物（大建工業：ﾀﾞｲﾛｰﾄﾝ）
	岩綿吸音板B	t15 ﾘﾌﾞ付（大建工業：ﾀﾞｲﾛｰﾄﾝﾎﾞｰﾀﾞｰ）
	ﾊﾟｽﾘﾌﾞ	耐食ｱﾙﾐ焼付塗装 裏面硬質発泡ｳﾚﾀﾝ
		（ﾌｸﾋﾞ化学工業:不燃ﾊﾟｽﾘﾌﾞﾊﾟﾈﾙ）
	ﾙｰﾊﾞｰ天井	ｱﾙﾐ製木目柄15×150@150（ABC商会：IL-S1510）
雑	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾒﾗﾐﾝ面材AL枠（ナカニ:ｸｲﾝﾌﾞｰｽﾈｵ同等）
	廊下手摺	樹脂製34φ（ｼﾝﾄﾞｳ工業：STR34-S5）
	階段手摺	樹脂製34φ（ｼﾝﾄﾞｳ工業：STR34-S5）
	ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞA	（UNION:PRT271-001-L1600）
	カーテン類	暗幕（PK3147-2）,間仕切ｶｰﾃﾝ(ｸﾘﾆｶﾙⅡ)
		ｼｬｰｶｰﾃﾝ（PK3299） 以上ｻﾝｹﾞﾂ同等品
	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ	（ﾀﾁｶﾜﾌﾟﾚｰﾝﾍﾞｰｼｯｸ）
	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ	（TOTO:JSV0808、0812ﾀｲﾌﾟ）
	流し台(既製)	（ｻﾝｳｪｰﾌﾞ:TIO+ W1350）
	洗濯機ﾊﾟﾝ	（TOTO:PWP 740W）
	床下点検口	内部：SUS 600角 薄貼物用
		外部：600角 ﾀｲﾙ用 簡易密閉T-14
	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	鋳鉄製600φT6簡易密閉用
	流し廻りﾀｲﾙ	磁器質t7.0 50角施釉（ﾀｲﾙB：INAX・ﾌﾞﾚｲﾝ50）
	階段鼻先ﾀｲﾙ	磁器質ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ（INAX：新階段ﾀｲﾙ）
	押出セメント成形板ルーバー（外壁C）	ふっ素樹脂工場塗装t60w600
		（ﾉｻﾞｳﾑｱｽﾛｯｸﾙｰﾊﾞｰﾏｸﾘｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ止・溶接工法）
	目隠し壁ルーバー	嵌合固定式ｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ（ABC商会:ﾌﾚｸｻﾗﾑV-5）
	ｻｲｸﾙキーパー	S製固定型（東洋ｴｸｽﾃﾘｱ:FZ型）
	避難器具	垂直式救助袋（ﾍﾙﾊﾟｰⅡ：三津浜工業）
	ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ	ｱﾙﾐ製（ABC商会：ｱｰｷﾊﾟﾝｼｮﾝ）
	室外機置場ﾌｪﾝｽ	H1.5mﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ（三協立山・ｱﾙﾐﾒｯｼｭZﾌｪﾝｽ）

省エネルギー基準　※主要部分の仕様については、監督員の許諾を得ること。

		基準	基準値	設計値	部分の仕様			
✓		性能基準	300.0MJ/㎡	260.0MJ/㎡	外壁	RC150＋硬質ウレタン発泡板25mm	窓	ペアガラス
		仕様基準			屋根	RC150＋硬質ウレタン発泡板50mm		高反射ガラス＋明色ブラインド

外部仕上表

部位	仕上・仕様	部位	仕上・仕様
屋根1，2	屋根露出防水絶縁断熱工法 断熱材t50 立上り：砂付ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ ｱﾙﾐ水切押え金物	外壁	一般部：RC打放し補修の上、防水形複層仕上塗材E（ﾌｯ素、ｽﾌﾟﾚｰ平吹）
	笠木：アルミ既製品、W=350 RD:鋳鉄製、呼径φ60 縦樋：アルミ製ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽφ60		一部：RCの上S下地、外壁複合ﾊﾟﾈﾙ
屋根8・9，	屋根保護防水絶縁断熱工法（BI－1）		一部：RCの上S下地、ふっ素樹脂焼付塗装ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ材横張
16，18，20	断熱材t50、保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t80、伸縮目地＝成形材W25@3000		一部：RCの上S下地、t20再生木材横張
	立上り：乾式保護板（屋根7のみ同材上部ｱﾙﾐ水切笠木止），防水押え金物：ｱﾙﾐ既製材	（関連項目）	縦樋：アルミ製ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ φ150 定礎：御影石450×350（文字彫込）
	排水溝：防水ﾓﾙﾀﾙw300 RD:鋳鉄製、呼径φ150 ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管：SUSφ50、各2箇所		ﾀﾗｯﾌﾟ：ｽﾃﾝﾚｽ製W400打込用（塔屋、屋根段差部）
	笠木：塗膜防水3 丸環：SUSφ120、1スパンあたり2カ所		Exp-J：アルミ製 B－1種 犬走り：コンクリート金コテ、目地@3000
	壁際防水層立上りのアゴ及び天端：塗膜防水1 配管取出口、機械基礎：図示	屋外作業ｽﾍﾟｰｽ	床：コンクリート床金コテ仕上、壁：防水形複層仕上塗材E
	屋外機ｽﾍﾟｰｽ2・3：鉄骨下地，ｱﾙﾐ製塗装目隠し壁ﾙｰﾊﾞｰ（屋根8）		
屋根10～12	鉄骨下地組、折板屋根A（山高：165,山@333,t4裏打断熱材）の上SUS製トップライト	建具	ｱﾙﾐ製：着色陽極酸化塗装複合皮膜(B-2)
屋根13～15，19	金属平葺屋根（RCﾓﾙﾀﾙ下地，ｹﾗﾊﾞ・壁取合・軒先共屋根同材），SUS雪止め金具付	ﾌﾟﾚｲｶﾞｰﾃﾞﾝ	床：RC床増打ちt100金コテ仕上及び洗出し仕上（W平面図参照）
屋根17	RCコテ押え塗膜防水3，排水溝：w100防水ﾓﾙﾀﾙt10～20 落しﾛ:SUS防塵ﾈｯﾄ	及び通路	一部S下地t30再生木ﾃﾞｯｷ張及び植栽枡(客土：地被類h300、低中木h700)
	縦樋：SUS t1.5φ60，鼻先水切板：SUS PL-5 w150，軒天：薄付け仕上塗材E		各植栽，RC製ﾍﾞﾝﾁ，門扉
屋根21.22	金属平葺屋根（S造・母屋掛下地，ｹﾗﾊﾞ・壁取合・軒先共屋根同材），SUS雪止め金具付	室外機置場	床：RC機械基礎、ﾌｪﾝｽ：ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ（扉付）
テラス1.3.4	屋根保護防水絶縁断熱工法（BI-1）の上，タイルC貼	他設備関連	ｵｲﾙﾀﾝｸ躯体（埋設）、受水槽基礎、ｷｭｰﾋﾟｸﾙ基礎
	断熱材t50、保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t80、伸縮目地＝成形材W25@3000		
	排水溝：防水ﾓﾙﾀﾙw300 RD：鋳鉄製呼径φ100 手摺：S製 溶融亜鉛めっき	アプローチ庇	鉄骨柱・梁：溶融亜鉛めっきの上リン酸処理仕上
テラス2	超速硬化ｳﾚﾀﾝ複合防水t3の上，鋼製根太・樹脂製束立下地 再生木t30ﾃﾞｯｷ床		S下地 吊り屋根（天井一体型立はぜ葺），軒樋：ｽﾃﾝﾚｽt1.5曲げ加工 W=250
	ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管：SUS管φ50，手摺：S製 溶融亜鉛めっき		縦樋：ｽﾃﾝﾚｽ100φ 床：RC床金ｺﾞﾃ ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ RC製ﾍﾞﾝﾁ
テラス5	塗膜防水1の上，鋼製根太・樹脂製束立下地 t30再生木ﾃﾞｯｷ床 排水口：SUS管φ30	駐車場2	鉄骨柱・梁：溶融亜鉛めっき 折板屋根B（山高：250,山@250）
	手摺：S製 溶融亜鉛めっき		軒樋：塩ビ半割り W=100φ，縦樋：塩ビ75φ
テラス6	屋根保護防水絶縁断熱工法（BI-1）の上，鋼製根太・樹脂製束立下地 再生木t30ﾃﾞｯｷ床	駐輪場1.2.3	鉄骨柱・梁：溶融亜鉛めっき 折板屋根C（山高：88,山@200）
	断熱材t50，保護ｺﾝｸﾘｰﾄ t80，伸縮目地：成形材W25@3000，手摺：S製 溶融亜鉛めっき		軒樋：塩ビ半割り W=100φ，縦樋：塩ビ75φ 床：RC床金ｺﾞﾃ ﾄﾗﾌｨｯｸﾍﾟｲﾝﾄ
バルコニー1.2	屋根保護防水絶縁断熱工法（BI－1） の上ビニル床シートC		S製ｻｲｸﾙｷｰﾊﾟｰ230台（本棟ﾋﾞﾛﾃﾞｨ部を含む）
	手摺：S製 溶融亜鉛めっき	飼育小屋	
屋外階段1,2	超速硬化ｳﾚﾀﾝ複合防水t3の上，鋼製根太・樹脂製束立下地 再生木t30ﾃﾞｯｷ床	屋根	塗膜防水2 RD：鋳鉄製φ75 笠木：塗膜防水2 ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管：SUSφ50
屋外階段3.4.5	鉄骨階段 手摺：S製 溶融亜鉛めっき	外壁	（一般部）：コンクリート打放し補修の上、フッ素カラークリア
	ささら仕上：溶融亜鉛めっき、踏面：Stｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ溶融亜鉛めっき		（特殊部）：コンクリート打放し（目地型枠）補修の上、フッ素カラークリア
軒天（各部）	ケイカル板 t8.0 EP		縦樋 アルミ製ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ 75φ

発注者　三条市

株式会社 石本建築事務所
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.　by Design

履歴	完成図作成	完成図承認	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	業務名称	図面番号	管理建築士
ver.100401	日付	日付	構造設計一級建築士 横川 和人	設備設計一級建築士 松尾 和彦	11.09.30	一級建築士 大臣登録第28153号 長野 豊 日付 11.09.30	三条市立(仮称)第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事	A－ 8	一級建築士 登録第164447号 藤井 進
	管理技術者	監理者	証交付番号 第1145号	証交付番号 第1394号		設計者 一級建築士 大臣登録第290704号 野崎 寛司	業務契約ｺｰﾄﾞ 104859-02		
	担当者	担当者	本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。		担当者 小野寺 伸一	図面名称 仕上特記・外部仕上表（校舎棟） 縮尺 No Scale		

内部仕上表(1)

※法規制等の凡例は以下の通り
不:令112条 第9項 第1号等
一:令126条の2 第1項 第1号
三:令126条の2 第1項 第3号
①:告示1436号 第4項ハ(1)
②:告示1436号 第4項ハ(2)
③:告示1436号 第4項ハ(3)
④:告示1436号 第4項ハ(4)
※ﾚﾍﾞﾙ欄:上段は仕上ﾚﾍﾞﾙ、下段は躯体ﾚﾍﾞﾙを示す
※( )内記号は、ｴﾚﾒﾝﾄ図番号を示す。

階	室名	法規制等	床 レベル	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
1	小学校昇降口 来客玄関		0 -100	(F4)	ﾀｲﾙ質ﾀｲﾙE	石 100 (H2)	(W11) (W2)	EP(低汚染型) EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	下足棚
1	中学校昇降口		0 -100	(F4)	ﾀｲﾙ質ﾀｲﾙE	石 100 (H2)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	下足棚
1	校歴コーナー		0 -100	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10) (W6)	EP(低汚染型) EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	展示ケース
1	カウンセリング室(小)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
1	カウンセリング室(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
1	保健室(小)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄB	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	流し台、洗濯パン、ライニング 収納棚、吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ 足洗い場、ユニットシャワー
1	保健室(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄB	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	流し台、洗濯パン、ライニング 収納棚、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ ユニットシャワー
1	多目的教室兼プレイルーム(小1)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11) (W6)	EP(低汚染型) EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板、流し台 児童・清掃ロッカー ベンチ
1	同 出入口		0 -100	(F4)	ﾀｲﾙ質ﾀｲﾙD	石 30 (H2)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	下足棚
1	普通教室(小1)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板、流し台 児童・清掃ロッカー 小上がり
1	同 出入口		0 -100	(F4)	ﾀｲﾙ質ﾀｲﾙD	石 30 (H2)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	下足棚
1	ワークラウンジ(小1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚、黒板
1	読書コーナー(小1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚
1	教師ステーション(小1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚
1	教材室(小1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
1	多目的教室兼プレイルーム(小2)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー ライニング
1	同 出入口		0 -100	(F4)	ﾀｲﾙ質ﾀｲﾙD	石 30 (H2)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	下足棚、傘立て
1	普通教室(小2)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板、流し台 児童・清掃ロッカー 小上がり
1	同 出入口		0 -100	(F4)	ﾀｲﾙ質ﾀｲﾙD	石 30 (H2)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	下足棚
1	ワークラウンジ(小2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚、黒板
1	読書コーナー(小2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚
1	教師ステーション(小2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚
1	教材室(小2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
1	特別支援学級教室(小)1～6		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 流し台、可動間仕切り
1	特別支援学級教室(中)1～3		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 流し台 可動間仕切り
1	特別支援学級交流室(小中)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 流し台
1	特別支援学級教材室		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)		化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	直天	

内部仕上表(2)

※法規制等の凡例は以下の通り
不:令112条 第9項 第1号等
一:令126条の2 第1項 第1号
三:令126条の2 第1項 第3号
①:告示1436号 第4項ハ(1)
②:告示1436号 第4項ハ(2)
③:告示1436号 第4項ハ(3)
④:告示1436号 第4項ハ(4)
※ﾚﾍﾞﾙ欄:上段は仕上ﾚﾍﾞﾙ、下段は躯体ﾚﾍﾞﾙを示す
※( )内記号は、ｴﾚﾒﾝﾄ図番号を示す。

階	室名	法規制等	床 レベル	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
1	作業室(中)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	流し台
1	西側昇降口		0 -100	(F4) (F7)	磁器質ﾀｲﾙD ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	石 100 (H2)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	下足棚
1	教師ステーション(特別支援)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA OAﾌﾛｱ	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	白板
1	相談室(特別支援)1,2		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
1	教育・進路相談室		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
1	会議室		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11) (W10)	EP(低汚染型) EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	白板
1	生徒会室(中)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	白板 掲示板
1	倉庫1		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	
1	倉庫2		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)		化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,200	
1	倉庫3.4.5		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	
1	廊下4		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
1	廊下5		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
1	廊下6		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
1	廊下7		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
1	廊下8		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
1	廊下9		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
1	WC(A1)(B1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9) (W13)	塗装ｹｲｶﾙ板 内装壁ﾀｲﾙ	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 汚垂石(男子)、手摺
1	WC(E1)(特)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W15) (W13)	塗装ｹｲｶﾙ板 内装壁ﾀｲﾙ	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 汚垂石(男子)、手摺
1	多目的WC(E1)(B1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W15)	塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡、手摺 ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ・折畳ベッド ベビーキープ
1	多目的WC(特)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	同材 100 (H6)	(W15)	塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡、手摺 ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ ベビーキープ
1	オイルタンク室		0 -10	(F7)	防塵塗床	PVC 60 (H4)	(W9)	GB-R素地	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞC	2,500	
1	ケアルーム		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 洗濯機パン
1	配膳室		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C7)	塗装ｹｲｶﾙ板	2,800	ﾗｲﾆﾝｸﾞ 鏡(杉田ｴｰｽKGN3545k)
1	職員更衣室(女)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡
1	職員更衣室(男)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡

発注者
三条市

株式会社 石本建築事務所
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design

履歴
ver.100401

完成図作成 日付 管理技術者 担当者

完成図承諾 日付 監理者 担当者

法適合確認欄
構造設計一級建築士
横川 和人
証交付番号 第1145号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄
設備設計一級建築士
松尾 和彦
証交付番号 第1394号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

製作日 11.09.30

代表設計者
一級建築士 大臣登録第281536号
長野 豊
日付 11.09.30
設計者
一級建築士 大臣登録第260704号
野﨑 寛司
担当者 小野寺 伸一

業務名称 三条市立(仮称)第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事
業務契約ｺｰﾄﾞ 104859-02
図面名称 内部仕上表-1(校舎棟)
縮尺 No Scale
図面番号 A一 9

管理建築士
一級建築士
登録第164447号
藤井 進

内部仕上表(3)

※法規制等の凡例は以下の通り　三:令126条の2 第1項 第3号　③:告示1436号 第4項ハ(3)　※ﾚﾍﾞﾙ欄:上段は仕上ﾚﾍﾞﾙ、下段は躯体ﾚﾍﾞﾙを示す
不:令112条 第9項 第1号等　①:告示1436号 第4項ハ(1)　④:告示1436号 第4項ハ(4)　※(　)内記号は、ｴﾚﾒﾝﾄ図番号を示す。
一:令126条の2 第1項 第1号　②:告示1436号 第4項ハ(2)

階	室名	法規制等	床 レベル	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
1	職員休憩室(女)		150 -10	(F14)	畳敷(スタイロ畳)	ﾀﾀﾐ寄 15 (H9)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	
1	職員休憩室(男)		150 -10	(F14)	畳敷(スタイロ畳)	ﾀﾀﾐ寄 15 (H9)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	
1	管理士室・屋内作業スペース		0 -10	(F7) (F13)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA 畳敷(スタイロ畳)	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	流し台　洗濯機パン 仮眠室 押入　ユニットシャワー
1	消火ポンプ室		0 -10	(F1)	防塵塗床	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞC	2,500	機械基礎
1	外部トイレ		-450 -490	(F13)	磁器質タイルC	タイル 100 (H12)	(W7)	内装壁ﾀｲﾙ	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡、手摺 ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ
1	器具庫(学校用)		-450 -460	(F2)	合成樹脂塗床	PVC 60 (H4)	(W2)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
1	器具庫(地域用)		-450 -460	(F2)	合成樹脂塗床	PVC 60 (H4)	(W2)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
2	校長室(小)		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	木 60 (H8)	(W17)	天然木化粧ｼｰﾄ	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板B	2,800	壁面収納棚(手洗、ロッカー付) 白板
2	校長室(中)		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	木 60 (H8)	(W17)	天然木化粧ｼｰﾄ	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板B	2,800	壁面収納棚(手洗、ロッカー付) 白板
2	校務センター: ミーティングコーナー		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	流し台
2	校務センター: 印刷コーナー		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	校務センター: 学校事務職員コーナー		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	校務センター: 職員室(小)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	カウンター 白板(行事予定、時間割) 掲示板
2	校務センター: 職員室(中)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	カウンター 白板(行事予定、時間割) 掲示板
2	校務センター: 給湯コーナー		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	PVC 60 (H4)	(W8)	塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	流し台
2	応接室兼会議室		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	
2	職員玄関		0 -100	(F4) (F7)	磁器質タイルE ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	石 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	床見切り 下足棚
2	多目的教室(予備教室)(小4)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー
2	普通教室(小4)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー
2	少人数教室(小4)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 壁面棚
2	読書コーナー(小4)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	窓下ベンチ書架
2	教師ステーション(小4)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面棚、掲示板
2	教材室(小4)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
2	多目的教室(予備教室)(小3)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー
2	普通教室(小3)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー
2	少人数教室(小3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 壁面棚
2	読書コーナー(小3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	窓下ベンチ書架

内部仕上表(4)

※法規制等の凡例は以下の通り　三:令126条の2 第1項 第3号　③:告示1436号 第4項ハ(3)　※ﾚﾍﾞﾙ欄:上段は仕上ﾚﾍﾞﾙ、下段は躯体ﾚﾍﾞﾙを示す
不:令112条 第9項 第1号等　①:告示1436号 第4項ハ(1)　④:告示1436号 第4項ハ(4)　※(　)内記号は、ｴﾚﾒﾝﾄ図番号を示す。
一:令126条の2 第1項 第1号　②:告示1436号 第4項ハ(2)

階	室名	法規制等	床 レベル	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
2	教師ステーション(小3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚
2	教材室(小3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
2	配膳室(小)(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄB	PVC 60 (H4)	(W10)	塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C7)	塗装ｹｲｶﾙ板	2,800	ﾗｲﾆﾝｸﾞ 鏡(杉田ｴｰｽKGN3545k)
2	PC教室(小)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	白板、掲示板
2	メディアセンター(開架書架)(小)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C24)	ルーバー天井	2,800	書架、閲覧机・椅子 カウンター、掲示板
2	PC教室準備室(小)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
2	情報ラウンジ		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	掲示板
2	多目的教室(予備教室)(中2)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 生徒・清掃ロッカー
2	普通教室(中2)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 生徒・清掃ロッカー
2	少人数教室(中2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 壁面棚
2	調べ学習コーナー(中2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面棚
2	教師ステーション(中2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面棚
2	相談室(中2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	壁面棚
2	多目的教室(予備教室)(中3)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 生徒・清掃ロッカー
2	普通教室(中3)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 生徒・清掃ロッカー
2	少人数教室(中3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 壁面棚
2	調べ学習コーナー(中3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面棚
2	教師ステーション(中3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面棚
2	相談室(中3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	壁面棚
2	廊下3		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	廊下4		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	廊下5		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	廊下6		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	廊下7		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	廊下8		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	廊下9		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
2	廊下10		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	

発注者
三条市

株式会社 石本建築事務所
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.
by Design

履歴	完成図作成	完成図承諾	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	業務名称	図面番号	管理建築士
	日付	日付	構造設計一級建築士 横川 和人	設備設計一級建築士 松尾 和彦	11.09.30	一級建築士 大臣登録第281536号 長野 豊 日付 11.09.30	三条市立(仮称)第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事	A— 10	一級建築士 登録第164447号 藤井 進
	管理技術者	監理者	証交付番号 第1145号	証交付番号 第1394号		設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野﨑 寛司	業務契約ｺｰﾄﾞ 104859-02		
ver.100401	担当者	担当者	本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。		担当者 小野寺 伸一	図面名称 内部仕上表-2(校舎棟)	縮尺 No Scale	

内部仕上表(5)

※法規制等の凡例は以下の通り　三:令126条の2 第1項 第3号　③:告示1436号 第4項ハ(3)　※ﾚﾍﾞﾙ欄:上段は仕上ﾚﾍﾞﾙ、下段は躯体ﾚﾍﾞﾙを示す
不:令112条 第9項 第1号等　①:告示1436号 第4項ハ(1)　④:告示1436号 第4項ハ(4)　※(　)内記号は、ｴﾚﾒﾝﾄ図番号を示す。
一:令126条の2 第1項 第1号　②:告示1436号 第4項ハ(2)

階	室名	法規制等	床 ﾚﾍﾞﾙ	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
2	WC(A2)(B2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10) (W13)	塗装ｹｲｶﾙ板 内装壁ﾀｲﾙ	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 汚垂石(男子)、手摺
2	職員WC		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10) (W13)	塗装ｹｲｶﾙ板 内装壁ﾀｲﾙ	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 汚垂石(男子)、手摺
2	WC(D2)(E2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10) (W13)	塗装ｹｲｶﾙ板 内装壁ﾀｲﾙ	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 汚垂石(男子)、手摺
2	多目的WC(B2)(E2)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W13)	塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 手摺、ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ
3	理科教室(小)1		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 実験台 収納棚、清掃用具入
3	理科教室(小)2		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 実験台 収納棚、清掃用具入
3	理科教室準備室		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	流し台
3	理科メディア(小)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	展示棚、掲示板
3	理科教室(化学)(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 実験台 収納棚、清掃用具入
3	理科教室(生物・地学)(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 実験台 収納棚、清掃用具入
3	理科教室(物理)(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 実験台 収納棚、清掃用具入
3	理科教室準備室(中)1		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	流し台
3	理科教室準備室(中)2		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	流し台
3	理科教室準備室(中)3		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄC	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	流し台
3	理科メディア(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	展示棚、掲示板
3	放送室(小)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	木 60 (H4)	(W19)	有孔ｼﾅﾍﾞﾆｱCL	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	
3	放送室(中)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	木 60 (H4)	(W19)	有孔ｼﾅﾍﾞﾆｱCL	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	
3	多目的教室(予備教室)(小5)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー
3	普通教室(小5)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー
3	少人数教室(小5)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 壁面棚
3	調べ学習コーナー(小5)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚
3	教師ステーション(小5)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面収納棚
3	教材室(小5)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
3	多目的教室(予備教室)(小6)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー

内部仕上表(6)

※法規制等の凡例は以下の通り　三:令126条の2 第1項 第3号　③:告示1436号 第4項ハ(3)　※ﾚﾍﾞﾙ欄:上段は仕上ﾚﾍﾞﾙ、下段は躯体ﾚﾍﾞﾙを示す
不:令112条 第9項 第1号等　①:告示1436号 第4項ハ(1)　④:告示1436号 第4項ハ(4)　※(　)内記号は、ｴﾚﾒﾝﾄ図番号を示す。
一:令126条の2 第1項 第1号　②:告示1436号 第4項ハ(2)

階	室名	法規制等	床 ﾚﾍﾞﾙ	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
3	普通教室(小6)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 児童・清掃ロッカー
3	少人数教室(小6)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板 壁面棚
3	調べ学習コーナー(小6)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面棚
3	教師ステーション(小6)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面棚
3	教材室(小6)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
3	多目的教室(予備教室)(中1)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11) (W30)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 生徒・清掃ロッカー
3	普通教室(中1)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11) (W30)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 生徒・清掃ロッカー
3	少人数教室(中1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板
3	調べ学習コーナー(中1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
3	教師ステーション(中1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	壁面棚
3	相談室(中1)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	壁面棚
3	配膳室(小)(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄB	PVC 60 (H4)	(W10)	塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C7)	塗装ｹｲｶﾙ板	2,800	ﾗｲﾆﾝｸﾞ 鏡(杉田ｴｰｽKGN3545k)
3	PC教室(中)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	白板、掲示板
3	PC教室準備室(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
3	メディアセンター(開架書庫)(中)		0 -100	(F19)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB OAﾌﾛｱ	PVC 60 (H4)	(W2) (W9)	EP(低汚染型) EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C24)	ルーバー天井	2,800	書架、閲覧机・椅子 カウンター、掲示板
3	閉架書庫		0 -50	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	集密ラック 作業用机
3	情報ラウンジ		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	掲示板 端末台
3	児童会室		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W4)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	白板
3	倉庫3		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	
3	廊下1		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	SOP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
3	廊下3		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
3	廊下4		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
3	廊下5		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
3	廊下6		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
3	廊下7		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	

発注者
三条市

株式会社 石本建築事務所
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.
by Design

履歴	完成図作成	完成図承諾	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	業務名称	図面番号	管理建築士
	日付	日付	構造設計一級建築士 横川 和人	設備設計一級建築士 松尾 和彦	11.09.30	一級建築士 大臣登録第281536号 長野 豊 日付 11.09.30	三条市立(仮称)第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事 業務契約ｺｰﾄﾞ 104859-02	A一 11	一級建築士 登録第164447号 藤井 進
	管理技術者	監理者	証交付番号 第1145号	証交付番号 第1394号		設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司	図面名称 内部仕上表-3(校舎棟)	縮尺 No Scale	
ver.100401	担当者	担当者	本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。		担当者 小野寺 伸一			

内部仕上表(7)

※法規制等の凡例は以下の通り
不:令112条 第9項 第1号等
一:令126条の2 第1項 第1号
三:令126条の2 第1項 第3号
①:告示1436号 第4項ハ(1)
②:告示1436号 第4項ハ(2)
③:告示1436号 第4項ハ(3)
④:告示1436号 第4項ハ(4)
※レベル欄:上段は仕上レベル、下段は躯体レベルを示す
※( )内記号は、エレメント図番号を示す。

階	室名	法規制等	床 レベル	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
3	廊下8		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
3	廊下8		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
3	WC(A3)(B3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W13) (W9)	内装壁ﾀｲﾙ 塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 汚垂石(男子)、手摺
3	WC(D3)(E3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W13) (W9)	内装壁ﾀｲﾙ 塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 汚垂石(男子)、手摺
3	多目的WC(B3)(E3)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W13)	内装壁ﾀｲﾙ	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 手摺、ﾍﾟﾋﾟｰｼｰﾄ
4	社会科教室(中)1		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 収納
4	社会科教室(中)2		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 収納
4	社会科メディア		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	展示棚
4	英語教室(小中)		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W11) (W6)	EP(低汚染型) EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板
4	英語教室(中)1		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W11) (W6)	EP(低汚染型) EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板
4	英語教室(中)2		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W11) (W6)	EP(低汚染型) EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板
4	英語メディア		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
4	図工教室(小)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板、流し台 師範台、木工・金工兼用台 窓際作業台
4	図工教室準備室(小)		0 -25	(F11)	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	木 60 (H8)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	
4	図工メディア		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	展示棚
4	美術教室(中)		0 -10	(F2)	合成樹脂塗床	PVC 150 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板、流し台 師範台、作業台 窓際作業台、清掃用具入
4	美術教室準備室(中)		0 -10	(F2)	合成樹脂塗床	PVC 150 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	壁面収納棚
4	美術メディア		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	展示棚
4	音楽教室(小)準備室1		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W11)	有孔ｼﾅﾍﾞﾆｱCL	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	
4	音楽教室(小)1		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W19)	有孔ｼﾅﾍﾞﾆｱCL	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	黒板、掲示板
4	音楽教室(小)準備室2		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W10)	有孔ｼﾅﾍﾞﾆｱCL	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	
4	音楽教室(小)2		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W19)	有孔ｼﾅﾍﾞﾆｱCL	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	3,500	黒板、掲示板
4	音楽教室(中)		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W19)	有孔ｼﾅﾍﾞﾆｱCL	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	3,500	黒板、掲示板

内部仕上表(8)

※法規制等の凡例は以下の通り
不:令112条 第9項 第1号等
一:令126条の2 第1項 第1号
三:令126条の2 第1項 第3号
①:告示1436号 第4項ハ(1)
②:告示1436号 第4項ハ(2)
③:告示1436号 第4項ハ(3)
④:告示1436号 第4項ハ(4)
※レベル欄:上段は仕上レベル、下段は躯体レベルを示す
※( )内記号は、エレメント図番号を示す。

階	室名	法規制等	床 レベル	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	廻縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
4	音楽教室準備室(中)		0 -10	(F9)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄB	木 60 (H8)	(W10)	有孔ｼﾅﾍﾞﾆｱCL	PVC (M2)	(C13)	岩綿吸音板A	2,800	
4	音楽メディア(小)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	展示棚
4	楽器庫(小)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W20)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	岩綿吸音板A	2,800	壁面収納棚
4	前室(音楽メディア)(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C13)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	展示棚
4	楽器庫(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	岩綿吸音板A	2,800	壁面収納棚
4	被服教室(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	黒板、掲示板 師範台、被服台 壁面収納棚
4	調理メディア 被服メディア		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W10)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	展示棚、掲示板
4	被服教室準備室(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	収納棚
4	調理教室(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄB	PVC 60 (H4)	(W6)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C7)	塗装ｹｲｶﾙ板	2,800	白板、師範台 調理台、洗濯機パン 壁面収納棚
4	調理教室準備室(中)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄB	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,800	流し台
4	倉庫1		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	
4	倉庫2		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	
4	廊下1		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA 模様張り	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
4	廊下2		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA 模様張り	PVC 60 (H4)	(W11)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
4	廊下3、4		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA 模様張り	PVC 60 (H4)	(W9)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,800	
4	WC(B4)(E4)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W13) (W10)	内装壁ﾀｲﾙ 塗装ｹｲｶﾙ板	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞB	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 汚垂石(男子)、手摺
4	多目的WC(B4)(E4)		0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 60 (H4)	(W13)	内装壁ﾀｲﾙ	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ、鏡 手摺、ﾍﾟﾋﾟｰｼｰﾄ
共	PS、EPS		0 -10	(F1)	防塵塗床	-	(W15)	GB-R素地	-	(C1)	RCｽﾗﾌﾞ表し	直天	
共	屋内階段	三	0 -10	(F7)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄA	PVC 300 (H4)	(W15)	EP(低汚染型)	-		SOP(低汚染型)	直天	手摺
共	個別タンク置場		0 -10	(F1)	防塵塗床	PVC 60 (H4)	(W15)	EP(低汚染型)	PVC (M2)	(C5)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞA	2,500	機械基礎、防油堤
共	飼育小屋			(F1)	防塵塗床	-	(W2)	フッ素カラークリア	-	(C4)	フッ素カラークリア	直天	
ﾋﾟｯﾄ	設備配管(土間コン)ピット		図示	(F1)	RC金コテ	-	(W1)	RC表し	-	(C3)	断熱材表し(t25)	直天	釜場
ﾋﾟｯﾄ	雨水貯留槽		図示	(F3)	ｾﾒﾝﾄ系塗膜防水	-	(W2)	ｾﾒﾝﾄ系塗膜防水	-	(C3)	断熱材表し(t25)	直天	釜場
ﾋﾟｯﾄ	再利用水槽		図示	(F3)	ｾﾒﾝﾄ系塗膜防水	-	(W2)	ｾﾒﾝﾄ系塗膜防水	-	(C3)	断熱材表し(t25)	直天	

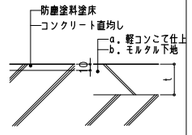
発注者
三条市

株式会社 石本建築事務所
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.
by Design

履歴	完成図作成	完成図承諾	法適合確認欄	法適合確認欄	製作日	代表設計者	業務名称	図面番号	管理建築士
	日付	日付	構造設計一級建築士 横川 和人 証交付番号 第1145号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	11.09.30	一級建築士 大臣登録第281536号 長野 豊 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司 担当者 小野寺 伸一	三条市立(仮称)第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事 業務契約ｺｰﾄﾞ 104859-02 図面名称 内部仕上表-4(校舎棟) 縮尺 No Scale	A一 12	一級建築士 登録第164447号 藤井 進
ver.100401	管理技術者 担当者	監理者 担当者							

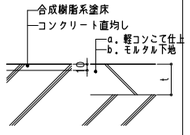
床 F

1 防塵塗料塗床



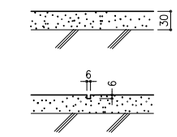
a：t=仕上表
b：t= 30

2 合成樹脂系塗床



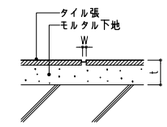
a：t=仕上表
b：t= 30

3 モルタル,防水モルタル



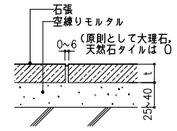
目地割は@1200以内とする

4 タイル張



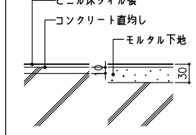
モザイクタイル	t= 30	W=3～5
A磁器質	35～ 40,	8～12
B炻器質	35～ 40,	8～12
C陶器質	35～ 40,	5～12

5 石張



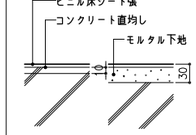
t	磨き	バーナー	たたき
A 大理石	20～25		
B 花崗石	20～25	25～30	35以上
C 天然石タイル	10～ 20		

6 ビニル床タイル張



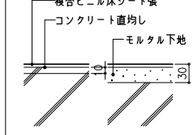
（グレード別記号：特記）

7 ビニル床シート張

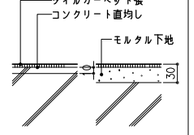


（グレード別記号：特記）

8 複合ビニル床シート張

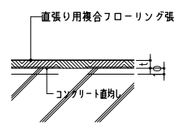


9 タイルカーペット張



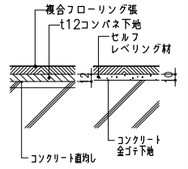
注：厚みは特記による
（グレード別記号：特記）

11 複合フローリング張（直張り工法）



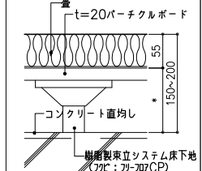
注：厚みは特記による

12 複合フローリング張（接着工法）



注：厚みは特記による

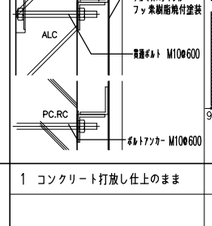
13 畳敷き（束立システム）



注：高さは仕上表による
：畳の仕様は特記による

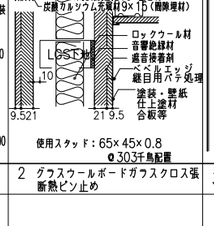
14 畳敷き（木床組）

注：湿気の多い場合は下地材及び合板裏側に防腐材を塗布する



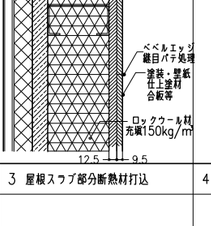
注：高さは仕上表による
：畳の仕様は特記による

15 複合フローリング張（束立システム）



注：高さは仕上表による
：仕上材の仕様は特記による

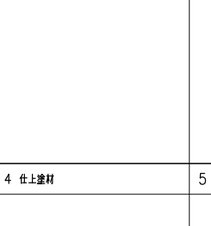
16 ビニル床タイル・ビニル床シート・カーペット（木床組）



注：高さは仕上表による
：仕上げ材の種類は仕上表による

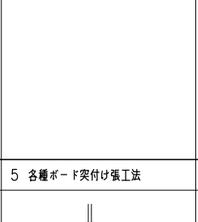
17 緑甲板（木床組）

注：湿気の多い場合は下地材及び合板裏側に防腐材を塗布する



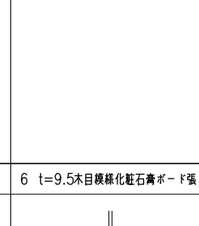
注：高さは仕上表による
：仕上げ材の種類は仕上表による

18 OAフロアー（高さ調整可能）



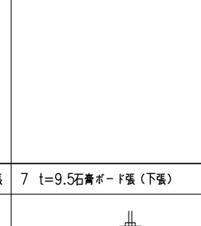
OAフロアーの仕様は
特記無き限りスチール製モルタル等充填

19 OAフロアー（置き敷き）



OAフロアーの仕様は
特記無き限り樹脂製置き敷き型

20 塗膜防水

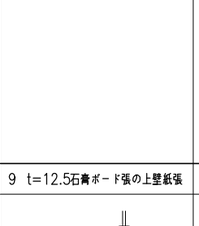


21 室内アスファルト防水

アスファルト防水	F-1
アスファルト防水	F-2

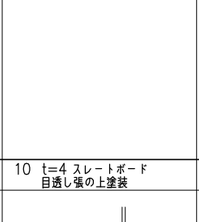
22 鋼製床組A（体育館・柔剣道場用）

体育館床用鋼製下地（盛砂タイプ）



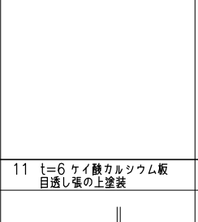
※JIS A6519 品とする。

柔剣道場床用鋼製下地



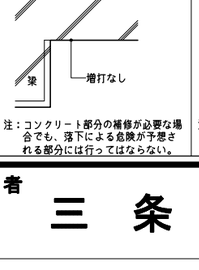
※JIS A6519 品とする。

23 鋼製床組B（体育館ステージ用）



※JIS A6519 品とする。

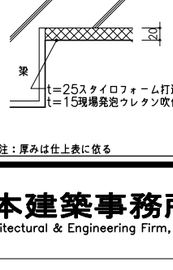
1 コンクリート打放しのまま



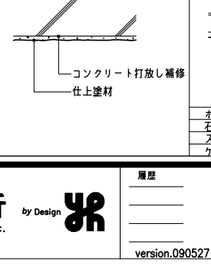
2 コンクリート打放補修の上塗装等の仕上

注：打放し仕上面は原則として上記

3 コンクリートブロック化粧積

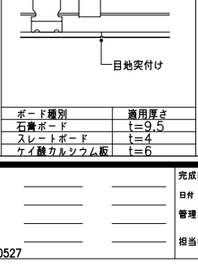


4 モルタル下地塗装・仕上塗材・壁紙



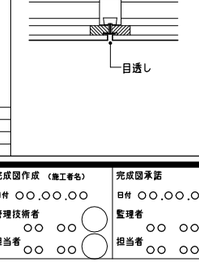
共通：異種材料にまたがる仕上部分は EXPJ用目地を入れること

5 RC・CBT地塗装・仕上塗材・壁紙



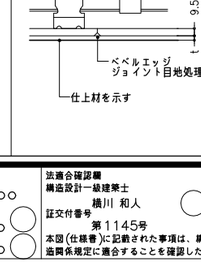
共通：異種材料にまたがる仕上部分は EXPJ用目地を入れること

6 GB-F t12.5+GB-R-H t9.5 GL・JT法の上仕上げ材



注：接着材の使用箇所はメーカー仕様による基準を守る事

7 GB-F t12.5 GL・JT法の上仕上げ材

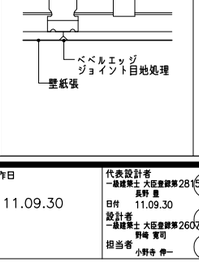


注：接着材の使用箇所はメーカー仕様による基準を守る事

8 GB-F t12.5JT法の上仕上げ材

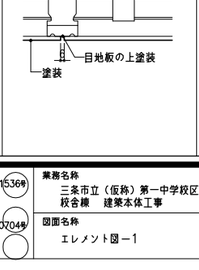
スタッド	高さ	縦張
65x45x0.8	3.7m以下	
90x45x0.8	3.7 ～ 4.5m	
100x45x0.8	4.5 ～ 5.0m	

9 GB-F t12.5+GB-R-H t9.5 JT法の上仕上げ材



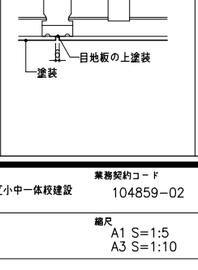
スタッド	高さ	縦張
65x45x0.8	3.7m以下	
90x45x0.8	3.7 ～ 4.5m	
100x45x0.8	4.5 ～ 5.0m	

10 GB-F t12.5+GB-R-H t9.5 JT法の上仕上げ材



スタッド	高さ	縦張
65x45x0.8	3.7m以下	
90x45x0.8	3.7 ～ 4.5m	
100x45x0.8	4.5 ～ 5.0m	

11 耐火壁 GB-F t12.5+GB-R-H t9.5 JT法の上仕上げ材



スタッド	高さ	縦張
65x45x0.8	3.7m以下	
90x45x0.8	3.7 ～ 4.5m	
100x45x0.8	4.5 ～ 5.0m	

11G 遮音耐火壁 GB-F t12.5+GB-R-H t9.5 JT法の上仕上げ材

スタッド	高さ	縦張
65x45x0.8	3.7m以下	
90x45x0.8	3.7 ～ 4.5m	
100x45x0.8	4.5 ～ 5.0m	

12 耐火壁 GB-F t21 2枚貼（片面） JT法の上塗装・仕上塗材・壁紙

13 タイル張

モザイクタイル	t=25, 30	w=3
A磁器質	30	3～12
B炻器質	35	8～12
C陶器質	35～40,	3

14 タイル張 （屋内・防水あり）

モザイクタイル	t=25, 30	w=3
A磁器質	30	3～12
B炻器質	35	8～12
C陶器質	35～40,	3

15 簡易防水＋化粧ケイカル板

注1：アスファルト防水シートは非透湿性とする。
注2：W15G表記の場合LGS内にグラスウール材を充填する。（t50 32kg/m³）

16 グラスウールボードガラスクロス張 断熱ピン止め

17 天然木化粧シート張

内装制限の無い場合、t=6板は本合板とし、ある場合はケイカル板とする。

18 合板貼り

※体育アリーナはC-100x50x20x1.6@303とする。

19 有孔合板貼り

※体育アリーナはC-100x50x20x1.6@303とする。

20 パーティション・建具入間仕切壁

注：スラブまで

21 パーティション・建具入間仕切壁

注：天井まで

22 パーティション・建具入間仕切壁

防火上主要な間仕切壁部分に適用

23 SUS LGST地GB-St12.5 ケイカル板t8.0

※ボード継目は6mm透かし目地とし、目地板貼とする。

24 アルミスパンドレル張

25 遮音耐火壁2 GB-F t21+GB-R-H t9.5 JT法の上仕上げ材

注：スラブまで到達する遮音開仕切
FP060NP-0198

使用スタッド：65×45×0.8
@303千鳥配置

26 耐火壁 GB-F t12.5+GB-R-H t9.5 JT法の上仕上げ材 RW充填

外壁と区画壁が直交する部分に適応

壁 W

天井 C

1 コンクリート打放し仕上のまま

注：コンクリート部分の補修が必要な場合でも、落下による危険が予想される部分には行ってはならない。

2 グラスウールボードガラスクロス張 断熱ピン止め

注：コンクリート部分の補修が必要な場合でも、落下による危険が予想される部分には行ってはならない。

3 屋根スラブ部分断熱材打込

注：厚みは仕上表に依る

4 仕上塗材

5 各種ボード突付け張工法

ボード種別	適用厚さ
石膏ボード	t=9.5
スレートボード	t=4
ケイ酸カルシウム板	t=6

6 t=9.5木目模様化粧石膏ボード張

7 t=9.5石膏ボード張（下張）

8 t=12.5石膏ボード JT法張の上塗装

9 t=12.5石膏ボード張の上壁紙張

10 t=4 スレートボード目透し張の上塗装

11 t=6 ケイ酸カルシウム板目透し張の上塗装

12 t=9.5石膏ボード捨て張りの上t=6無石綿繊維混入石膏板

発注者 三条市

株式会社 石本建築事務所 by Design
Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.

履歴

version.090527

完成図作成（施工者名）
日付 ○○.○○.○○
管理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承認
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認欄
構造設計一級建築士
証交付番号 第1145号
横川 和人
本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄
設備設計一級建築士
証交付番号 第1394号
松尾 和彦
本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

製作日 11.09.30

代表設計者 一級建築士 大臣登録第28153号 長野 豊 日付 11.09.30
設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 野崎 寛司
担当者 小野寺 伸一

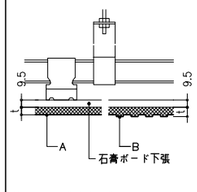
業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事
業務契約コード 104859-02
図面名称 エレメント図－1
縮尺 A1 S=1:5 A3 S=1:10

図面番号 A-016

管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進

天井 C

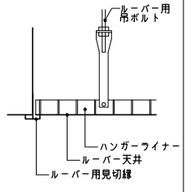
13 岩綿吸音板張（t=9.5石膏ボード下張）



注：厚みは仕上表に依る

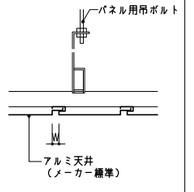
A 平 物
B キューブタイプ（特記による）

14 アルミルーバー天井



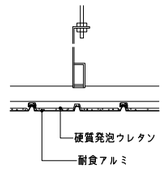
注：寸法は仕上表に依る

15 アルミスパンドレル天井

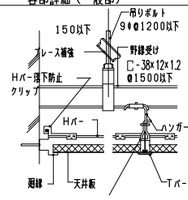


注：仕様は特記に依る

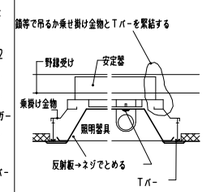
16 バスリブ（アルミ製）



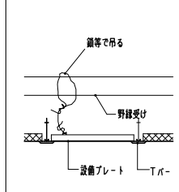
17 システム天井 各部詳細（一般部）



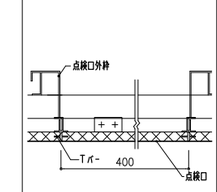
18 システム天井 各部詳細（照明器具）



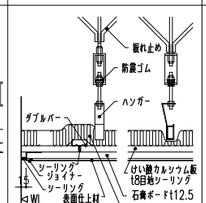
19 システム天井 各部詳細（設備プレート）



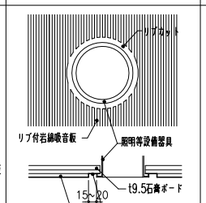
20 システム天井 各部詳細（点検口）



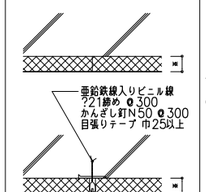
21 防震吊遮音天井



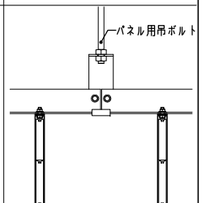
22 リブ付岩綿吸音板リブカット



23 ポリスチレンフォーム打込

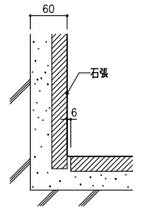


24 ルーバー天井

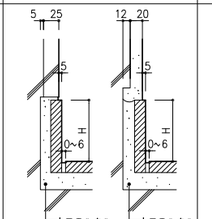


巾木

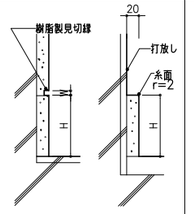
1 石張り壁同仕様



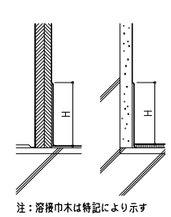
2 石巾木 （タイル巾木も準ずる）



3 モルタル金ゴテ

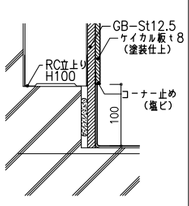


4 ソフト巾木



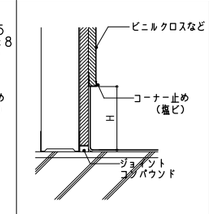
注：溶接巾木は特記により示す

5 ビニール床シート巻上げ—A

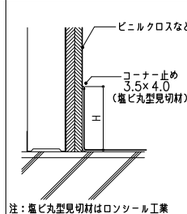


3F一屋内プールに適用

6 ビニール床シート巻上げ—B

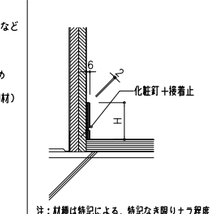


7 ビニール床シート巻上げ—C



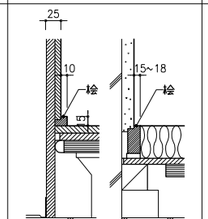
注：塩ビ丸型見切材はロンシール工業
リトルエッジ工法又は同等品

8 木製巾木



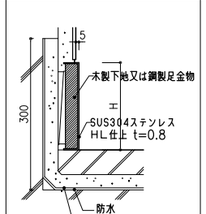
注：材種は特記による．特記なき限りナラ程度

9 雑巾踏，畳寄せ

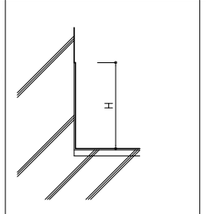


注：材種は特記による．特記なき限りラワン程度

10 ステンレス巾木 HL

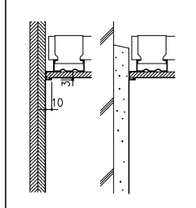


11 塗膜防水立上げ

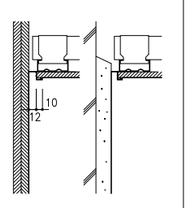


廻り縁

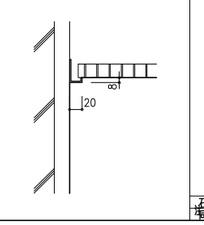
1 塩ビ製（目地なし）



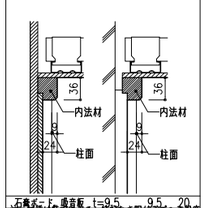
2 塩ビ製（天井付目地）



3 アルミ製（ルーバー用）

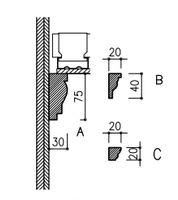


4 木製（和室）



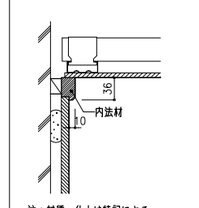
石膏ボード 吸音板 t=9.5 9.5 20
注：材種は特記による．特記なき限りスプルス程度

5 木製（刳り型）



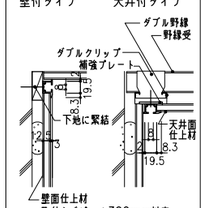
注：仕上は特記による

6 木製



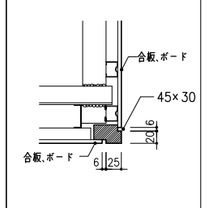
注：材種、仕上は特記による

7 ピクチャーレール

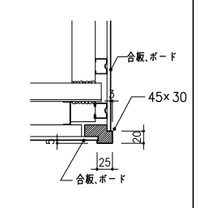


下り天井

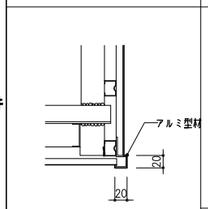
1 木製見切縁（目透かし）



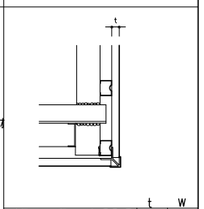
2 木製見切縁（一般）



3 金属製見切縁

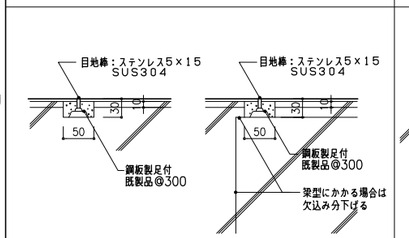


4 塩ビ製見切縁

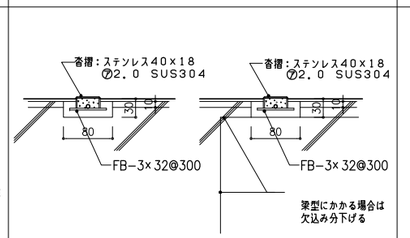


床見切り

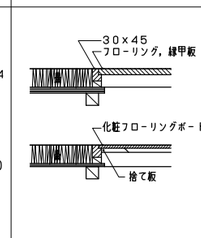
1 ステンレス目地棒



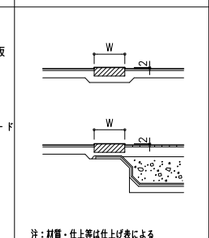
2 ステンレス沓摺



3 タタミ寄せ（和室）

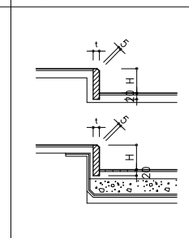


4 石，テラゾーブロック沓摺

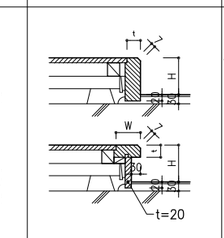


注：材質・仕上等は仕上げ表による

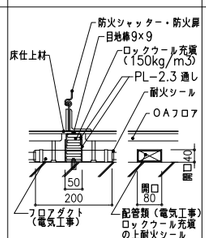
5 石，テラゾーブロック上り框



6 木製上がり框

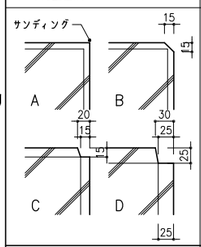


7 OAフロア下部防火区画

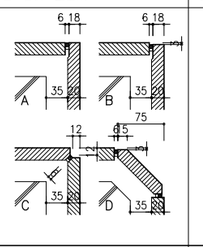


壁見切り

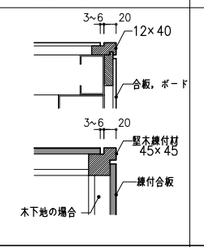
1 RC壁出隅



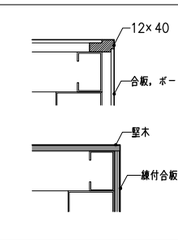
2 石張り壁出隅



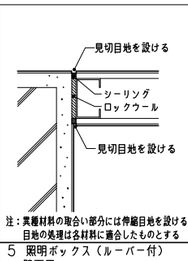
3 木製出隅（目地分かれ）



4 木製出隅（突付張）

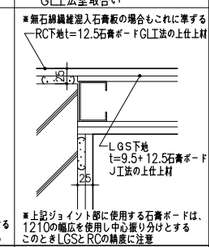


5 ボード張りと他の壁の取合い



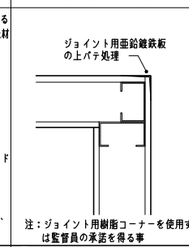
注：異種材料の取合い部分には伸縮目地を設ける
目地の処理は各材料に適合したものとする

6 t=12.5+9.5石膏ボードとGL工法壁取合い



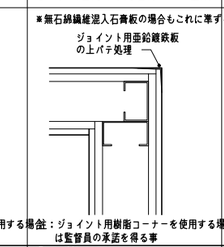
※上記ジョイント部に使用する石膏ボードは、
12.5+9.5の幅広を使用し中心振り分けとする
このときLGSとRCの錣底に注意

7 t=12.5石膏ボード出隅



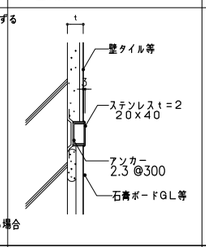
注：ジョイント用樹脂コーナーを使用する場合は監督員の承諾を得る事

8 t=12.5+9.5石膏ボード出隅

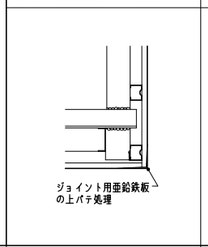


金属：ジョイント用樹脂コーナーを使用する場合は監督員の承諾を得る事

9 金属見切縁



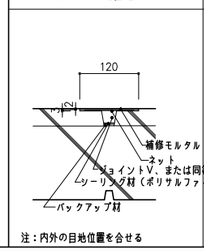
5 t=12.5石膏ボード突付け



6 t=9.5+9.5石膏ボード突付け

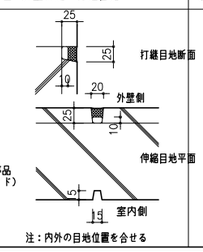
その他

1 シームレス伸縮目地



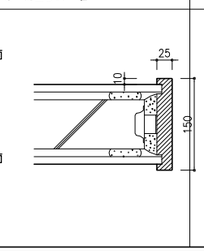
注：内外の目地位置を合せる

2 外壁伸縮・打継目地

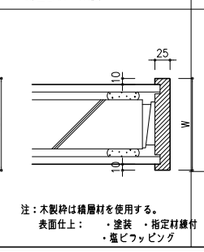


注：内外の目地位置を合せる

3 開口部枠 石

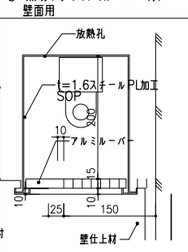


4 開口部枠 木製

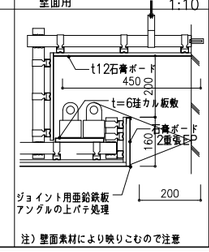


注：木製枠は積層材を使用する。
表面仕上： ・塗装 ・指定材錣付
・塩ビラッピング

5 照明ボックス（ルーバー付）壁面用

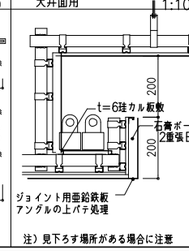


6 間接照明ボックス 壁面用 1:10



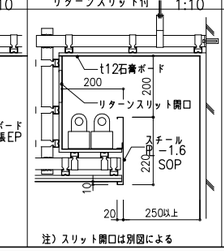
注）壁面素材により映りこむので注意

7 間接照明ボックス 天井面用 1:10



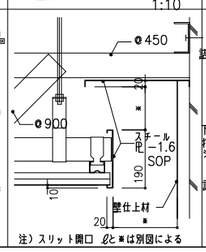
注）見下ろす場所がある場合に注意

8 間接照明ボックス リターンスリット付 1:10



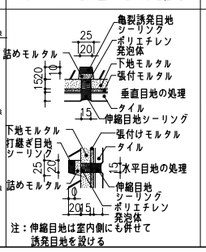
注）スリット開口は別図による

9 空調リターンスリット 1:10



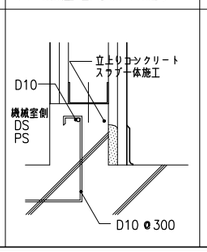
注）スリット開口 ℓと※は別図による

10 タイル貼外壁伸縮・打継目地



注：伸縮目地は室内側にも併せて
誘発目地を設ける

11 機械室・EPS・床・巾木周り



発注者 三条市

株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design

履歴
version.090527

完成図作成（施工者名）
日付 ○○.○○.○○
管理技術者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

完成図承諾
日付 ○○.○○.○○
監理者 ○○ ○○
担当者 ○○ ○○

法適合確認書
構造設計一級建築士
横川 和人
証交付番号 第1145号
本図（仕様書）に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認書
設備設計一級建築士
松尾 和彦
証交付番号 第1394号
本図（仕様書）に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

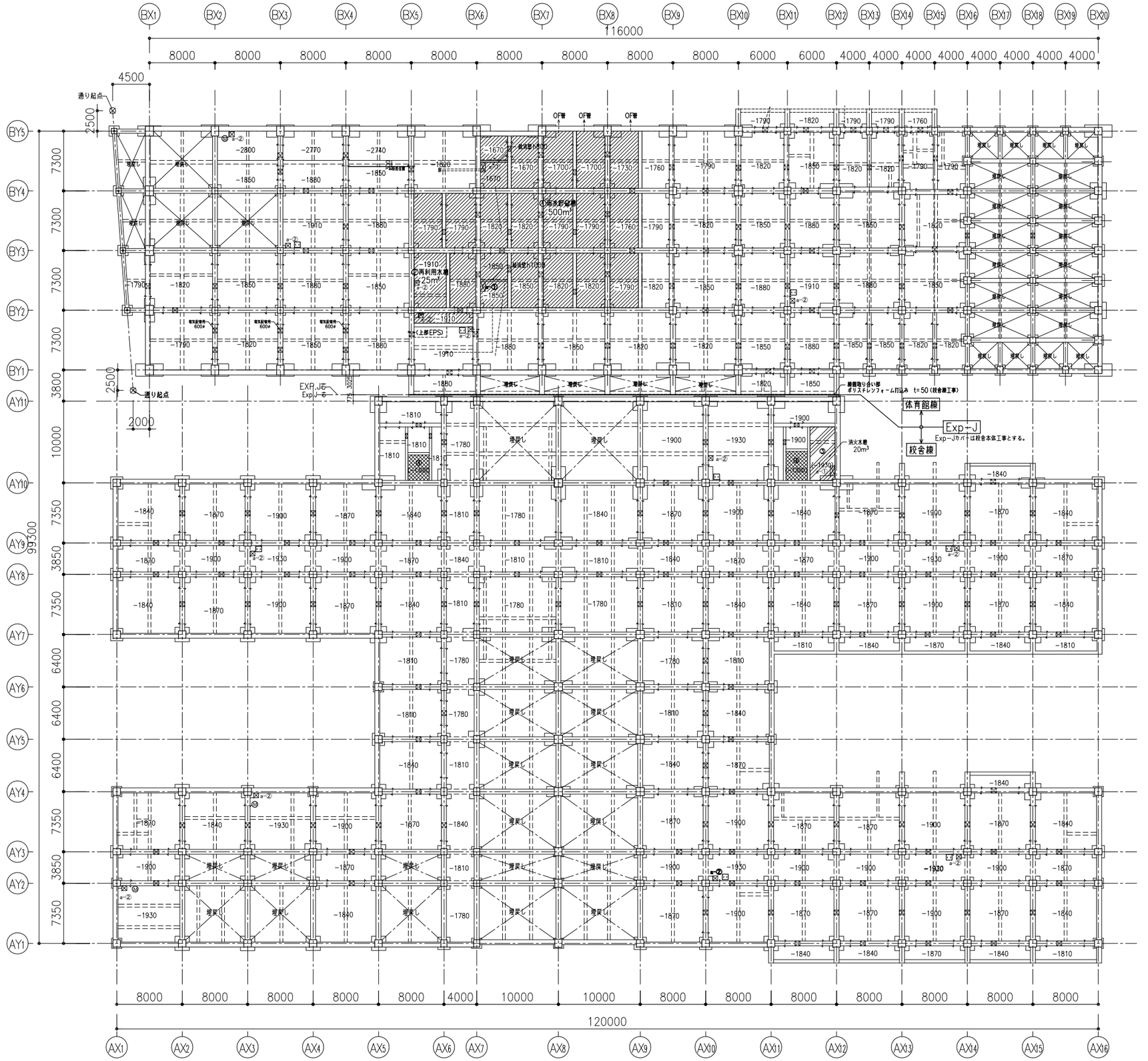
製作日 11.09.30

代表設計者 一級建築士 大臣登録第28153号 長野 豊 日付 11.09.30
設計者 一級建築士 大臣登録第26070号 野崎 寛司
担当者 小野寺 伸一

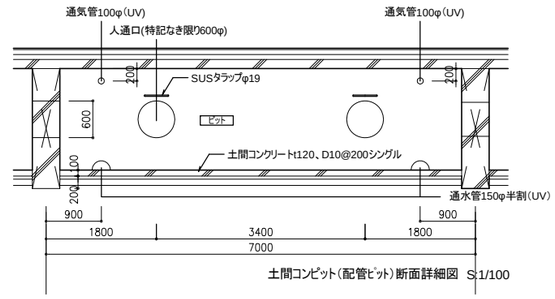
業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事
業務契約コード 104859-02
図面名称 エレメント図-2
縮尺 A1 S=1:5 A3 S=1:10

図面番号 A-017

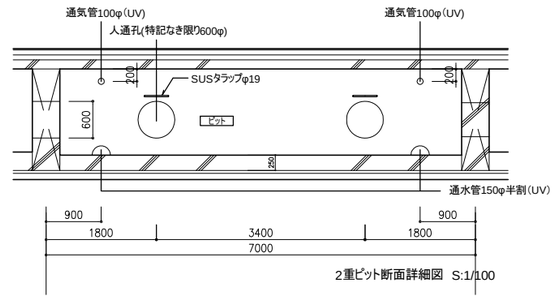
管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進



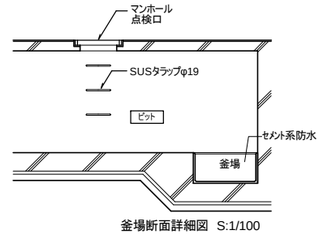
	①	： 雨水貯留槽	（セメント系塗膜防水）
	②	： 再利用水槽	（セメント系塗膜防水）
	③	： 消火水槽	（セメント系塗膜防水）
	④	： ELVピット 1、2	（セメント系塗膜防水）
a	釜場	： 釜場① 600X1200XH600、釜場② 600X600XH600	
	人通孔 ＋ SUSタラップ		
	通気管 ＋ 通水管		
Ⓜ	マンホール(1階)	： 防臭型 600φ SUSタラップ19φ@400	
	点検口(1階)	： 化粧蓋600角 SUSタラップ19φ@400	
OF管	オーバーフロー管	： 200φ+600角桝+グレーチング蓋	
	※特記なきピットは土間コンピット.埋戻しスラブ面は断熱材+防湿フィルム0.15mmを施す.		



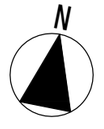
土間コンピット(配管ピット)断面詳細図 S:1/100



2重ピット断面詳細図 S:1/100



釜場断面詳細図 S:1/100



発注者 三条市	株式会社 石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc. by Design	履歴 version.090527	完成図作成（施工者名） 日付 00.00.00 管理技術者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	完成図承諾 日付 00.00.00 監理者 ○○ ○○ 担当者 ○○ ○○	法適合確認欄 構造設計一級建築士 横川 和人 証交付番号 第1145号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認欄 設備設計一級建築士 松尾 和彦 証交付番号 第1394号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 11.09.30	代表設計者 一級建築士 大臣登録第281536号 長野 豊 日付 11.09.30 設計者 一級建築士 大臣登録第260704号 丹俺 賀司 担当者 小野寺 伸一	業務名称 三条市立（仮称）第一中学校区小中一体校建設 校舎棟 建築本体工事 業務契約コード 104859-02 図面名称 ピット平面図 縮尺 A1 S=1:250 A3 S=1:500	図面番号 A-018	管理建築士 一級建築士 登録第164447号 藤井 進